

第3次横芝光町総合計画策定のための 住民アンケート結果報告書

令和7年3月

■調査の概要.....	1
1. 目的.....	1
2. 調査方法.....	1
3. 回収結果.....	1
4. 集計上の注意事項.....	1
■調査の結果.....	2
1. あなたご自身について.....	2
2. 横芝光町での暮らしについて.....	6
問1. 住みやすさ.....	9
問2. 定住意向.....	8
問3. 住み続けたいまちとは.....	10
3. 横芝光町のあるべき姿について.....	13
問4. 将来のまち.....	13
問5. 横芝光町の強み.....	16
4. まちづくりへの参加・協働について.....	18
問6. まちづくりへの参加意向.....	18
問7. 参加したい活動.....	20
問8. 参加したくない理由.....	22
問9. 協働のまちづくり.....	24
5. 町の取り組みへの評価について.....	26
問10. 現在の満足度・重要度.....	26
問11. 未来の優先度.....	38
6. これからのまちづくりについて.....	40
問12. 人口減少対策.....	40
問13. 雇用環境.....	42
問14. 確保されていない理由.....	44
問15. 行政情報.....	46
問16. デジタル化の推進.....	48
問17. 持続可能なまちづくり.....	50
問18. 空港機能強化と圏央道開通.....	52
問19. 外国人住民との共生.....	54
問20. 新たな社会課題.....	56
問21. コミュニティ.....	58
7. 横芝光インターチェンジ周辺開発について.....	60
問22. (1) 期待する項目.....	60
問22. (2) 必要だと思われる施設.....	62
8. 地域医療について.....	65
問23. 受診したい医療機関.....	65
問24. 地方の病院に期待すること.....	67

9. 横芝光町のまちづくりへの提案について.....	70
----------------------------	----

■調査の概要

1. 目的

横芝光町では、人口減少や少子高齢化などによる社会・経済情勢の変化に対応し、長期的視点に立ったまちづくりを進めるため、「第3次横芝光町総合計画」の策定を行っています。

この調査は、計画策定にあたり、横芝光町の取り組みに対する評価と今後のまちづくりについて、住民の意向を伺うため実施しました。

2. 調査方法

(1) 調査期間	令和6年12月23日～令和7年1月31日
(2) 調査対象	町内在住の16歳以上の男女
(3) 対象者数	5,000人
(4) 抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
(5) 調査方法	郵送による配布・回収またはWebフォームへの入力

3. 回収結果

(1) 配布数	5,000票
(2) 回収数	1,548票（用紙1,330票、Web218票）
(3) 回収率	31.0%

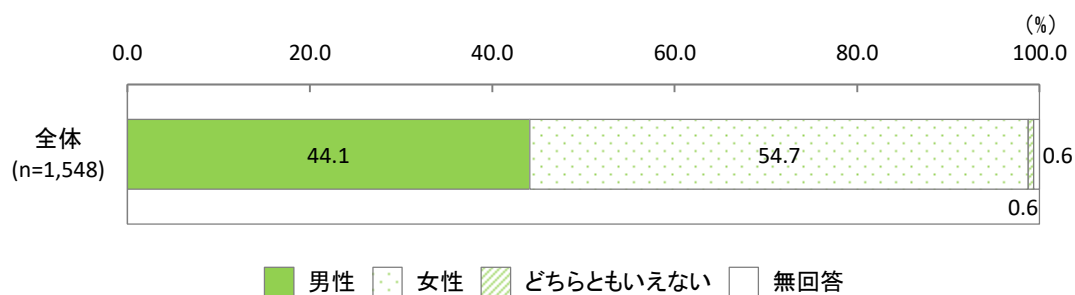
4. 集計上の注意事項

- ・図表中の（n＝＊）の数値は、集計母数を表しています。
- ・回答の比率（％）は、その設問の回答者数を母数として算出しています。そのため、複数回答の場合、選択肢ごとの割合を合計すると100％を超えることがあります。
- ・回答の比率（％）は、小数点以下第2位を四捨五入しています。そのため、属性ごとの回答比率の合計が100％にならないことがあります。

■調査の結果

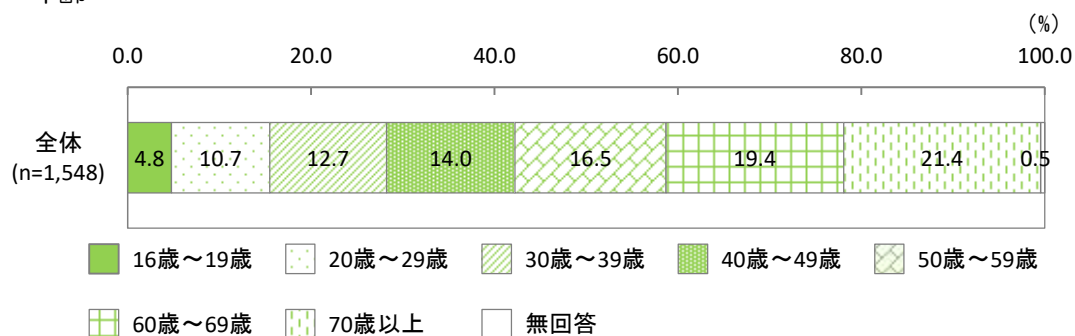
1. あなたご自身について

ア. 性別



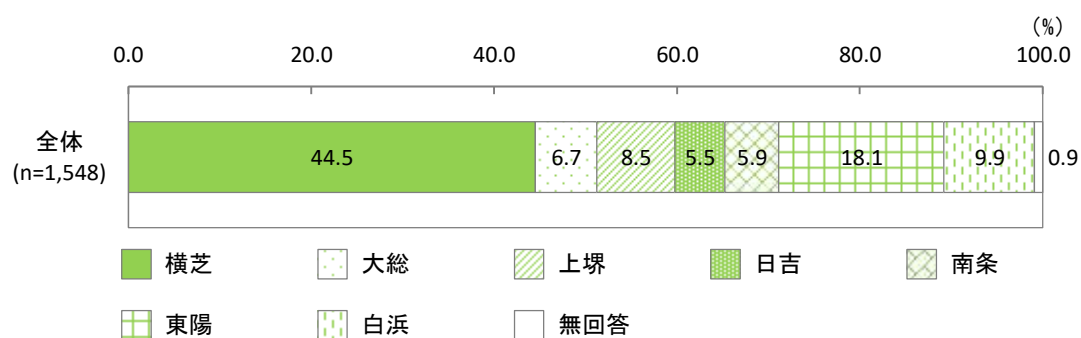
性別については、「女性」(54.7%)が「男性」(44.1%)より多くなっています。

イ. 年齢



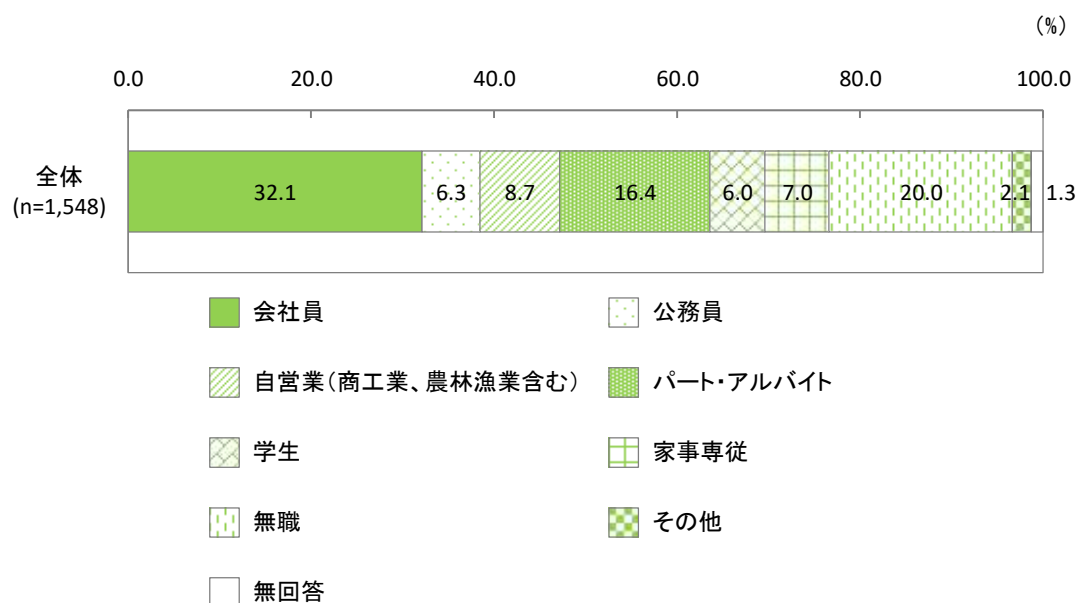
年齢については、「70歳以上」(21.4%)と「60歳～69歳」(19.4%)が20%程度で多く、「50歳～59歳」(16.5%)、「40歳～49歳」(14.0%)と続きます。また、最少は「16歳～19歳」(4.8%)となっています。

ウ. 居住地区



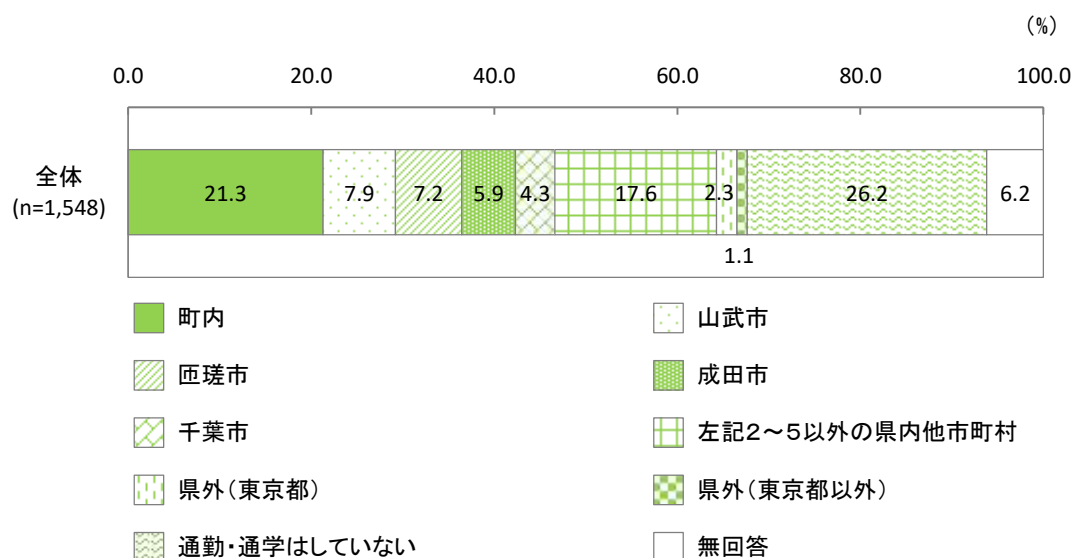
居住地区については、「横芝」が44.5%で最も多く、次いで「東陽」(18.1%)となっており、このほかの地区は10%未満となっています。

エ. 職業



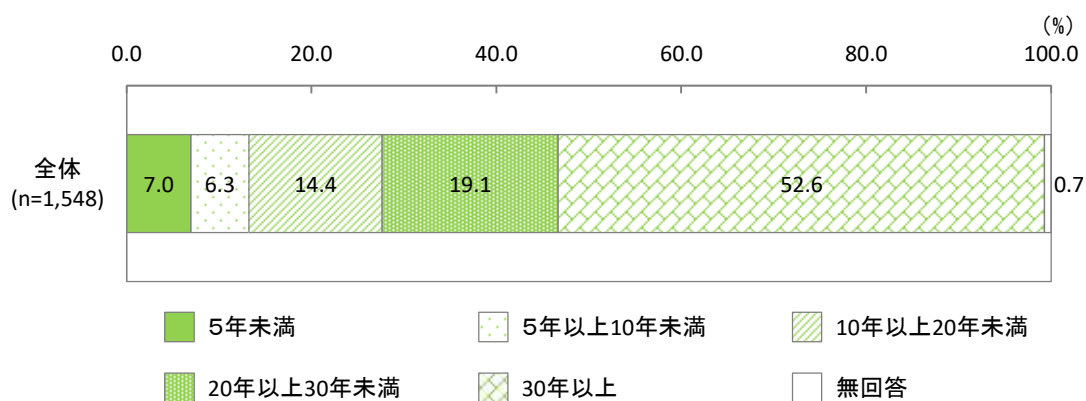
職業については、「会社員」が32.1%で最も多く、「無職」(20.0%)、「パート・アルバイト」(16.4%)、「自営業(商工業、農林漁業含む)」(8.7%)と続きます。

才. 通勤・通学地



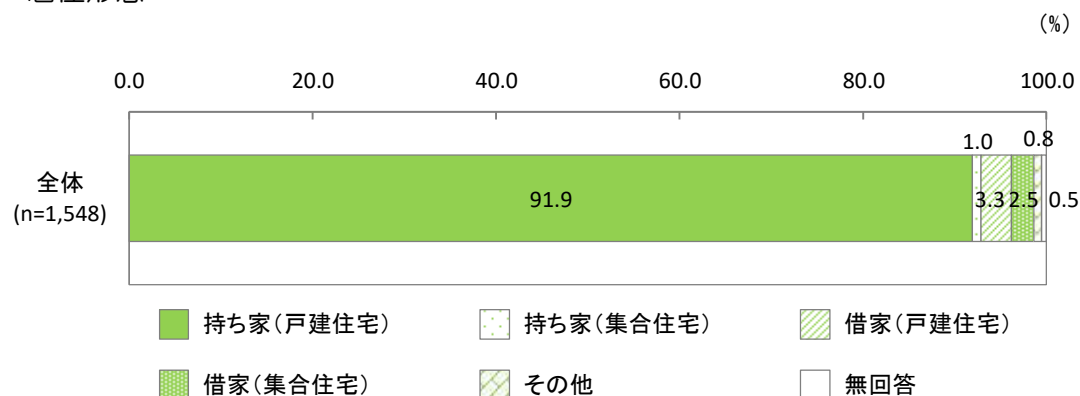
通勤・通学地については、「通勤・通学はしていない」(26.2%)を除くと、「町内」(21.3%)と「左記2～5以外の県内各市町村」(17.6%)が20%程度で多く、「山武市」(7.9%)、「匝瑳市」(7.2%)と続きます。「県外(東京都)」(2.3%)と「県外(東京都以外)」(1.1%)を合わせても3.4%であり、県内への通勤・通学が大半を占めているのが現状です。

力. 町内の居住年数



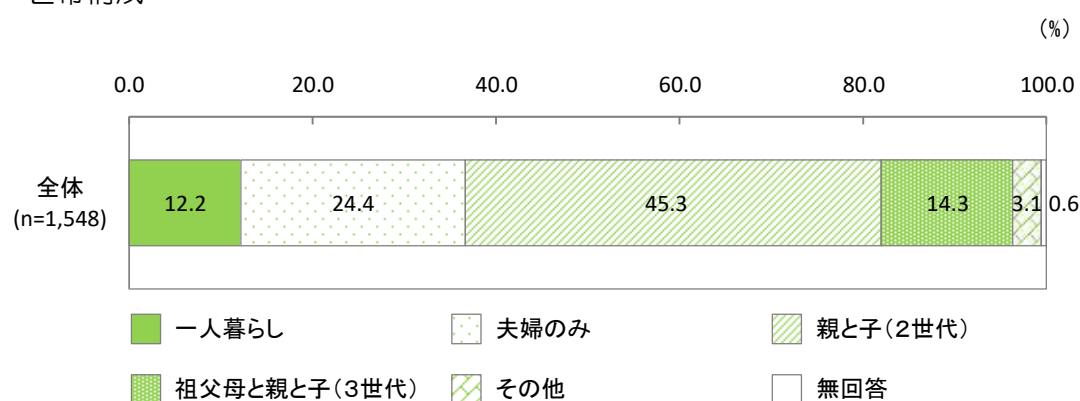
居住年数に関しては、「30年以上」が52.6%で最も多く、「20年以上30年未満」(19.1%)、「10年以上20年未満」(14.4%)、「5年未満」(7.0%)と続きます。全体的に居住年数の長い住民が多くなっています。

キ. 居住形態



居住形態に関しては、「持ち家（戸建住宅）」が 91.9%と突出して多く、「借家（戸建住宅）」（3.3%）、「借家（集合住宅）」（2.5%）、「持ち家（集合住宅）」（1.0%）と続きます。

ク. 世帯構成

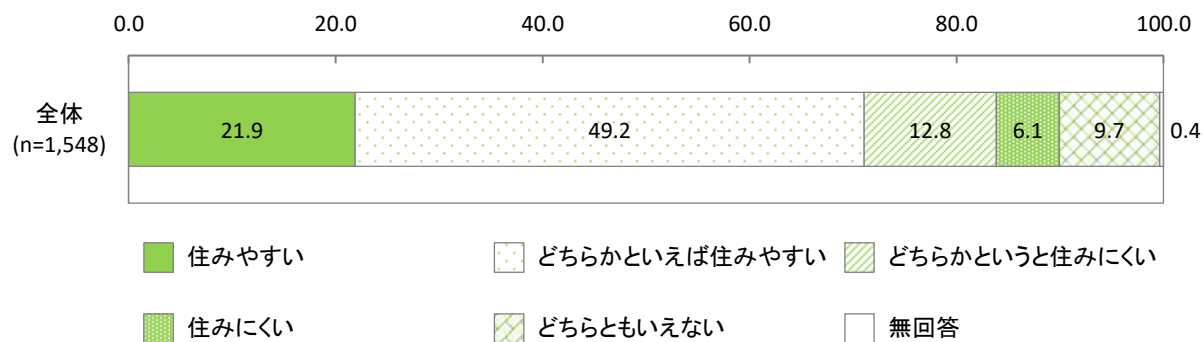


世帯構成に関しては、「親と子（2世代）」が 45.3%で最も多く、「夫婦のみ」（24.4%）、「祖父母と親と子（3世代）」（14.3%）、「一人暮らし」（12.2%）と続きます。

2. 横芝光町での暮らしについて

問1. **住みやすさ** あなたは、横芝光町は住みやすいまちだと思いますか。(○印は1つ)

(%)



「住みやすい」(21.9%)と「どちらかといえば住みやすい」(49.2%)を合わせて70%以上が住みやすいと感じています。他方、「どちらかというに住みにくい」(12.8%)と「住みにくい」(6.1%)を合わせて18.9%が住みにくいと感じています。

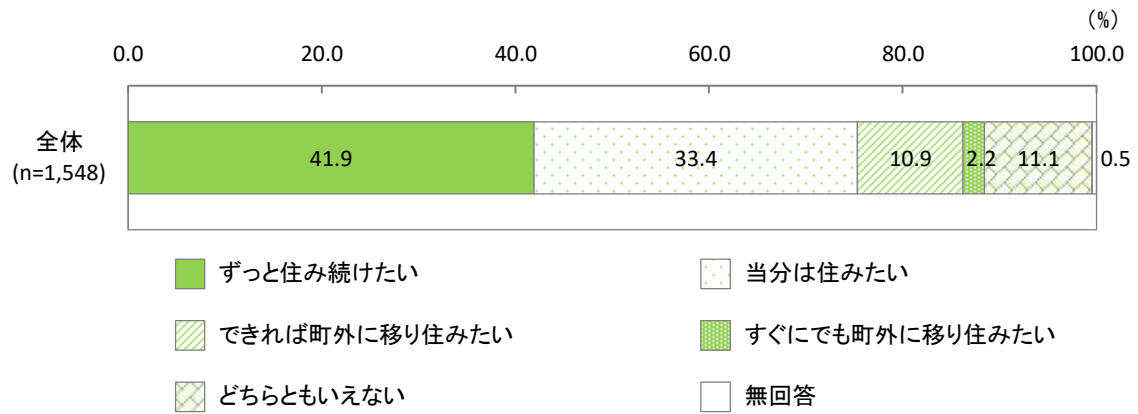
<属性別> ※網掛けは各属性での最上位を表す

		住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらかというに住みにくい	住みにくい	どちらともいえない	無回答
全体 (n=1,548)		21.9	49.2	12.8	6.1	9.7	0.4
年齢	16～19 歳 (n=74)	16.2	51.4	17.6	4.1	10.8	0.0
	20～29 歳 (n=166)	14.5	44.6	22.3	11.4	7.2	0.0
	30～39 歳 (n=197)	18.3	54.8	13.7	4.6	7.6	1.0
	40～49 歳 (n=217)	23.0	55.8	8.3	6.0	6.5	0.5
	50～59 歳 (n=255)	23.5	45.5	15.7	7.1	8.2	0.0
	60～69 歳 (n=300)	22.3	48.3	12.0	5.7	11.7	0.0
	70 歳以上 (n=332)	26.8	47.9	7.8	3.9	13.6	0.0
居住地区	横芝 (n=689)	28.0	48.3	10.2	4.8	8.6	0.1
	大総 (n=104)	10.6	50.0	11.5	16.3	11.5	0.0
	上堺 (n=132)	17.4	46.2	16.7	4.5	15.2	0.0
	日吉 (n=85)	18.8	45.9	18.8	5.9	10.6	0.0
	南条 (n=91)	14.3	60.4	12.1	3.3	9.9	0.0
	東陽 (n=280)	21.1	47.5	15.0	6.8	9.3	0.4
	白浜 (n=153)	15.7	54.9	13.1	6.5	9.2	0.7

年齢別にみると、住みやすい（「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）と回答した割合は、20 歳代で最も低く 59.1%、40 歳代で最も高く 78.8%と世代によって大きな差があります。

居住地区別にみると、住みやすいと回答した割合は、全ての地区で 60%を超えており、最も高い横芝地区で、76.3%となっています。

問2. **定住意向** あなたは、これからも横芝光町に住み続けたいと思いますか。(○印は1つ)



「ずっと住み続けたい」(41.9%)と「当分は住みたい」(33.4%)を合わせて75%以上が住み続けたいと考えており、横芝光町での定住を望む意見が多数であると言えます。

<属性別> ※網掛けは各属性での最上位を表す

		ずっと住み続けたい	当分は住みたい	できれば町外に移り住みたい	すぐにも町外に移り住みたい	どちらともいえない	無回答
	全体 (n=1,548)	41.9	33.4	10.9	2.2	11.1	0.5
年齢	16～19 歳 (n=74)	5.4	37.8	33.8	4.1	18.9	0.0
	20～29 歳 (n=166)	18.7	43.4	21.7	3.0	12.7	0.6
	30～39 歳 (n=197)	30.5	45.2	11.7	3.6	8.1	1.0
	40～49 歳 (n=217)	37.8	36.9	12.9	2.8	9.2	0.5
	50～59 歳 (n=255)	43.1	35.7	9.0	2.4	9.8	0.0
	60～69 歳 (n=300)	51.7	29.0	6.3	1.0	12.0	0.0
	70 歳以上 (n=332)	62.0	21.1	3.9	0.9	12.0	0.0
居住地区	横芝 (n=689)	44.7	32.4	9.9	2.5	10.4	0.1
	大総 (n=104)	39.4	27.9	12.5	3.8	16.3	0.0
	上堺 (n=132)	43.2	31.8	9.1	2.3	13.6	0.0
	日吉 (n=85)	40.0	34.1	11.8	1.2	12.9	0.0
	南条 (n=91)	44.0	36.3	6.6	0.0	13.2	0.0
	東陽 (n=280)	38.2	36.8	13.2	1.1	10.0	0.7
	白浜 (n=153)	40.5	34.6	13.1	3.9	7.2	0.7

年齢別にみると、40 歳以上の世代で、「ずっと住み続けたい」と答えた割合が最も高いのに対し、10～30 歳代では、「当分は住みたい」という割合が最も高くなっています。また、「できれば町外に移り住みたい」という割合が、16～19 歳で 33.8%、20 歳代で 21.7%と比較的高いことが読み取れます。

居住地区別にみると、いずれの地区においても「ずっと住み続けたい」という割合が、最も高くなっています。

問3. **住み続けたいまちとは** あなたは、どのようなまちに住み続けたいと思いますか。
(〇印は3つまで)



住み続けたいまちとして、「買い物や飲食に不便がない」(52.8%)と「医療や介護が充実している」(48.5%)が50%程度で多く、次いで「公共交通で移動しやすい」(27.7%)、「治安がよく、道路が安全」(26.9%)と続きます。その他、「緑や海・川などの自然に恵まれている」(15.1%)、「子育て環境が充実している」(13.6%)、「行政サービスが整っている」(10.7%)、「防災対策がしっかりしている」(10.1%)のいずれも10%を超えています。全体として、豊かな自然とともに、生活の利便性や行政サービスの充実、安心・安全であることが住み続けたいまちの要因として、挙げられています。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		買い物や飲食に不便がない	医療や介護が充実している	公共交通で移動しやすい	治安がよく、道路が安全	緑や海・川などの自然に恵まれている	子育て環境が充実している	行政サービスが整っている	防災対策がしっかりしている	雇用機会や働く場がある	近所付き合いなど、地域とのつながりがある	自然の風景がよい	娯楽施設がある	街なかや公園など公共空間が利用しやすい
	全体 (n=1,548)	52.8	48.5	27.7	26.9	15.1	13.6	10.7	10.1	9.7	9.2	8.9	5.3	4.7
年齢	16～19 歳 (n=74)	44.6	27.0	47.3	28.4	8.1	13.5	8.1	6.8	9.5	2.7	9.5	23.0	6.8
	20～29 歳 (n=166)	51.2	25.9	36.7	30.1	10.8	19.9	4.8	8.4	11.4	3.6	6.6	12.7	8.4
	30～39 歳 (n=197)	52.8	42.6	21.3	33.0	8.6	36.0	7.1	8.6	11.7	2.5	4.6	7.6	8.1
	40～49 歳 (n=217)	53.5	44.2	24.0	30.0	12.9	24.0	7.4	10.1	10.1	6.0	7.4	6.9	4.1
	50～59 歳 (n=255)	53.7	50.6	34.9	31.0	14.5	8.6	11.0	8.6	14.9	7.8	9.0	2.7	4.3
	60～69 歳 (n=300)	55.7	63.3	25.7	27.0	13.7	4.3	17.3	11.7	7.7	10.7	9.7	1.3	2.7
	70 歳以上 (n=332)	52.1	56.6	21.4	16.6	25.9	2.7	12.7	12.7	5.4	19.3	13.0	0.9	3.0
居住地区	横芝 (n=689)	54.9	46.4	24.7	27.1	13.9	14.5	10.2	9.3	7.8	8.9	7.5	6.7	5.1
	大総 (n=104)	50.0	53.8	31.7	20.2	14.4	12.5	15.4	12.5	9.6	13.5	10.6	1.9	2.9
	上堺 (n=132)	50.8	47.0	28.8	31.1	19.7	15.9	13.6	12.1	7.6	6.8	8.3	6.8	2.3
	日吉 (n=85)	56.5	51.8	31.8	29.4	12.9	8.2	11.8	9.4	5.9	10.6	15.3	1.2	3.5
	南条 (n=91)	45.1	49.5	23.1	36.3	9.9	9.9	13.2	13.2	15.4	9.9	12.1	5.5	6.6
	東陽 (n=280)	57.1	56.1	28.9	26.4	14.6	13.2	9.3	10.0	12.5	7.5	7.9	5.0	6.1
	白浜 (n=153)	44.4	40.5	34.6	22.9	21.6	13.7	7.8	9.8	13.7	12.4	11.8	2.6	3.9

年齢別にみると、全世代で「買い物や飲食に不便がない」が上位となっています。このほか、30 歳代以上では、「医療や介護が充実している」が上位である一方、10～20 歳代では「公共交通で移動しやすい」が上位を占めています。また、10～20 歳代、40 歳代、60 歳代の世代で「治安がよく、道路が安全」が第3位を占めています。

居住地区別にみると、いずれの地区も「買い物や飲食に不便がない」と「医療や介護が充実している」が40%を超える高い割合で、第1位、第2位を占めています。また、「公共交通で移動しやすい」又は「治安がよく、道路が安全」が各地区の第3位となっており、全地区において、概ね類似の傾向にあります。

<属性別>つづき

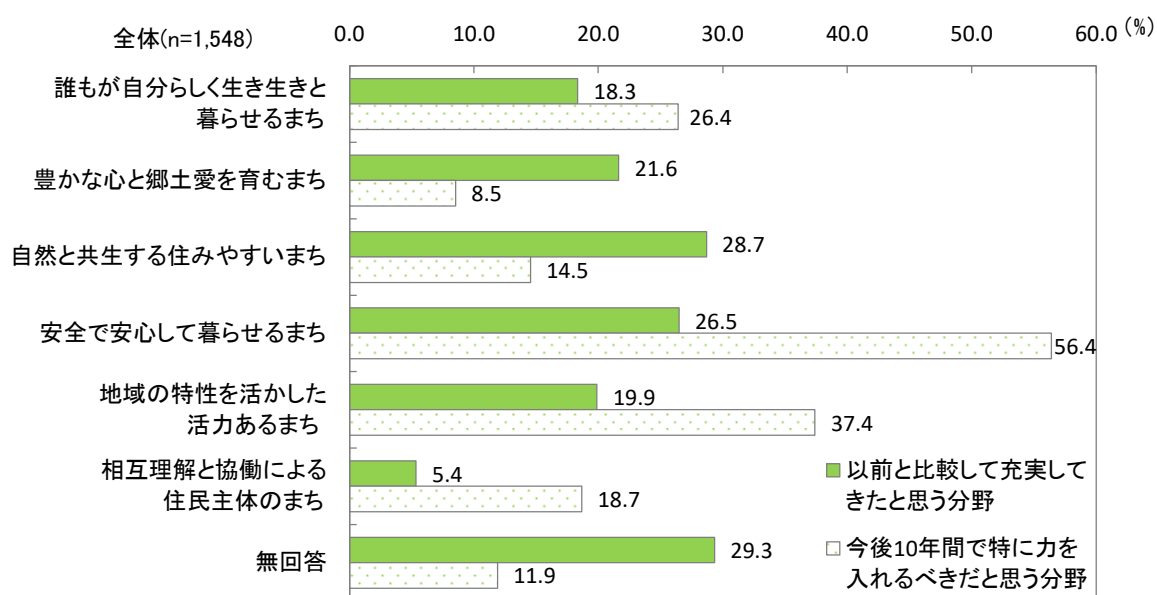
		住宅の価格や家賃が手頃	住民が心身ともに健康である	リサイクルなど環境への取組が充実している	義務教育の環境が整っている	教育や生涯学習の機会が豊富である	街並みがよい	多様性や寛容性がある	文化・芸術が充実している	ものごとに挑戦し、成長できる環境がある	デジタル化が進んでいる	住民は自分を信じ、行動に移すことができる	その他	無回答
	全体 (n=1,548)	4.3	3.5	3.0	2.6	2.6	2.4	1.6	1.2	1.1	0.9	0.5	2.9	4.4
年齢	16～19 歳 (n=74)	10.8	4.1	0.0	1.4	6.8	5.4	2.7	0.0	1.4	2.7	1.4	1.4	1.4
	20～29 歳 (n=166)	12.0	3.0	1.2	4.8	4.2	3.6	2.4	0.6	1.2	1.8	0.6	3.0	6.0
	30～39 歳 (n=197)	6.1	1.5	0.5	5.6	1.5	6.1	1.0	1.0	3.0	1.5	0.0	1.5	4.6
	40～49 歳 (n=217)	5.1	3.2	1.4	4.6	2.3	2.3	2.8	1.4	0.5	0.5	0.5	4.6	5.5
	50～59 歳 (n=255)	3.5	1.6	3.9	1.6	1.6	1.6	2.0	1.2	0.8	0.8	0.4	2.7	4.7
	60～69 歳 (n=300)	1.7	4.3	3.3	1.0	2.7	1.3	1.0	2.3	1.0	0.7	0.7	4.3	3.3
	70 歳以上 (n=332)	0.3	5.7	6.3	1.2	2.4	0.6	0.6	0.6	0.6	0.3	0.6	1.8	2.7
居住地区	横芝 (n=689)	4.8	3.9	3.6	3.0	2.8	3.6	2.5	1.0	0.6	1.0	0.3	3.0	4.9
	大総 (n=104)	4.8	1.9	1.9	3.8	1.9	1.9	0.0	0.0	1.0	1.9	1.9	0.0	3.8
	上堺 (n=132)	4.5	2.3	2.3	2.3	1.5	1.5	1.5	1.5	3.8	1.5	0.8	2.3	3.8
	日吉 (n=85)	1.2	3.5	2.4	1.2	0.0	0.0	0.0	2.4	2.4	0.0	1.2	2.4	5.9
	南条 (n=91)	3.3	4.4	4.4	2.2	2.2	3.3	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	4.4	2.2
	東陽 (n=280)	4.6	3.9	2.1	1.4	2.9	1.4	0.7	0.7	0.7	0.4	0.7	3.6	3.2
	白浜 (n=153)	3.3	2.6	3.3	3.3	3.9	0.7	2.0	2.6	2.0	1.3	0.0	2.6	3.3

3. 横芝光町のあるべき姿について

問4. **将来のまち** あなたは、以前の横芝光町と比較して充実してきたと思うまちづくり分野は何ですか。また、今後10年間で横芝光町が特に力を入れるべきだと思うまちづくりの分野は何ですか。(1)と(2)について、あなたのイメージに近いものを、それぞれ2つまで選んでください。

(1) 以前と比較して充実してきたと思う分野

(2) 今後10年間で特に力を入れるべきだと思う分野



(1) 以前と比較して充実してきたと思う分野として、「自然と共生する住みやすいまち」(28.7%)、「安全で安心して暮らせるまち」(26.5%)、「豊かな心と郷土愛を育むまち」(21.6%)が20%を超えています。

他方、(2) 今後10年間で特に力を入れるべきだと思う分野では、「安全で安心して暮らせるまち」が56.4%と突出して高く、以前と比較して充実はしてきているものの、より充実していく必要があるという住民のニーズが読み取れます。このほか、「地域の特性を活かした活力あるまち」(37.4%)と、「誰もが自分らしく生き生きと暮らせるまち」(26.4%)も、今後10年間で特に力を入れるべきだと思う分野だと、多くの方が考えていることがわかります。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

将来のまち（１）以前と比較して充実してきたと思う分野

		暮らせるまち	誰もが自分らしく生き生きと暮らせるまち	豊かな心と郷土愛を育むまち	ち 自然と共生する住みやすいまち	安全で安心して暮らせるまち	地域の特性を活かした活力あるまち	相互理解と協働による住民主体のまち	無回答
全体 (n=1,548)		18.3	21.6	28.7	26.5	19.9	5.4	29.3	
年齢	16～19 歳 (n=74)	16.2	20.3	25.7	40.5	31.1	10.8	17.6	
	20～29 歳 (n=166)	18.1	28.9	31.9	30.7	26.5	5.4	16.9	
	30～39 歳 (n=197)	18.8	24.4	26.9	32.0	23.4	5.6	20.8	
	40～49 歳 (n=217)	15.7	27.2	25.8	29.5	26.7	4.6	22.1	
	50～59 歳 (n=255)	21.2	20.0	33.3	19.2	21.2	4.3	31.0	
	60～69 歳 (n=300)	16.7	20.0	28.7	24.3	14.3	6.0	35.7	
	70 歳以上 (n=332)	20.2	16.0	27.1	23.2	12.0	4.5	40.7	
居住地区	横芝 (n=689)	19.9	22.1	29.9	27.6	19.4	6.8	27.7	
	大総 (n=104)	18.3	24.0	23.1	22.1	19.2	3.8	32.7	
	上堺 (n=132)	19.7	24.2	28.0	23.5	15.2	2.3	30.3	
	日吉 (n=85)	14.1	27.1	28.2	27.1	15.3	8.2	27.1	
	南条 (n=91)	15.4	20.9	36.3	20.9	25.3	3.3	30.8	
	東陽 (n=280)	19.3	20.0	27.5	26.8	23.2	4.6	30.7	
	白浜 (n=153)	13.7	17.0	26.8	27.5	19.6	3.3	31.4	

年齢別にみると、無回答を除き、「自然と共生する住みやすいまち」が40歳代以外のすべての世代で上位を占め、「安全で安心して暮らせるまち」は50歳代以外のすべての世代で上位を占めています。

居住地区別にみると、無回答を除き、全地区で「自然と共生する住みやすいまち」が上位に挙げられています。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

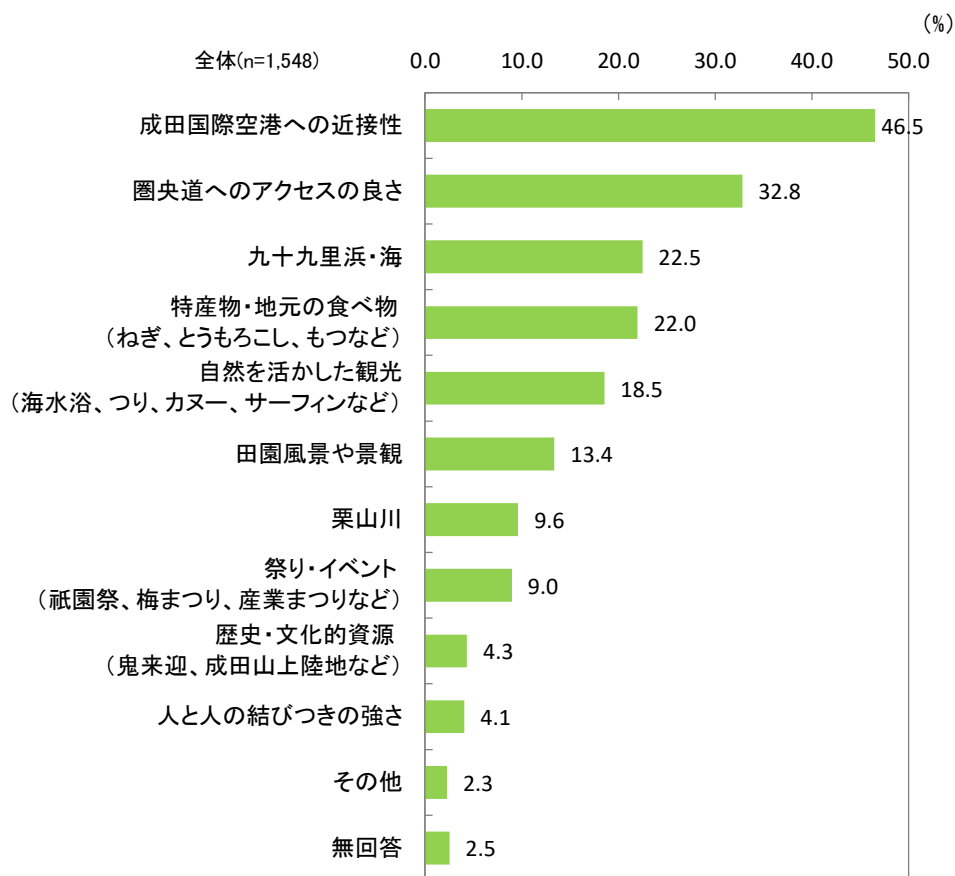
将来のまち（２）今後10年間で特に力を入れるべきだと思う分野

		誰もが自分らしく生き生きと暮らせるまち	豊かな心と郷土愛を育むまち	自然と共生する住みやすいまち	安全で安心して暮らせるまち	地域の特性を活かした活力あるまち	相互理解と協働による住民主体のまち	無回答
全体 (n=1,548)		26.4	8.5	14.5	56.4	37.4	18.7	11.9
年齢	16～19 歳 (n=74)	39.2	9.5	10.8	45.9	32.4	23.0	9.5
	20～29 歳 (n=166)	36.1	12.0	12.0	50.6	34.9	19.9	9.6
	30～39 歳 (n=197)	25.4	8.6	18.8	65.0	36.0	17.8	7.1
	40～49 歳 (n=217)	22.6	10.6	16.1	61.3	42.4	15.2	6.5
	50～59 歳 (n=255)	23.5	7.1	16.5	62.0	39.6	17.6	11.0
	60～69 歳 (n=300)	29.3	5.0	12.7	55.3	39.7	20.3	13.3
	70 歳以上 (n=332)	20.8	9.3	13.3	50.0	34.0	19.6	19.3
居住地区	横芝 (n=689)	26.3	8.0	13.1	59.5	38.0	19.0	11.8
	大総 (n=104)	34.6	14.4	15.4	52.9	34.6	16.3	6.7
	上堺 (n=132)	24.2	6.8	17.4	57.6	39.4	18.9	9.1
	日吉 (n=85)	23.5	7.1	16.5	48.2	35.3	20.0	15.3
	南条 (n=91)	19.8	5.5	14.3	52.7	45.1	19.8	15.4
	東陽 (n=280)	25.4	10.7	15.4	56.8	37.5	19.6	11.8
	白浜 (n=153)	30.1	7.2	14.4	50.3	32.7	15.0	15.0

年齢別にみると、全世代で「安全で安心して暮らせるまち」が最も高い割合となっており、次いで、30歳以上は「地域の特性を活かした活力あるまち」、10～20歳代は「誰もが自分らしく生き生きと暮らせるまち」が挙げられています。

居住地区別にみると、年齢別と同様に、全地区で「安全で安心して暮らせるまち」が最多となっています。次いで、大総地区を除き、「地域の特性を活かした活力あるまち」が第2位となっています。

問5. **横芝光町の強み** あなたは、未来に活かしたい横芝光町の強みは何だと思いますか。
(○印は2つまで)



未来に活かしたい横芝光町の強みについては、「成田国際空港への近接性」が46.5%で最も多く、「圏央道へのアクセスの良さ」(32.8%)、「九十九里浜・海」(22.5%)、「特産物・地元の食べ物(ねぎ、とうもろこし、もつなど)」(22.0%)と続きます。全体として、成田国際空港への近さと圏央道へのアクセスの良さを活かしつつ、恵まれた自然環境が育む資源を横芝光町の強みとしていきたいという住民の意向が読み取れます。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

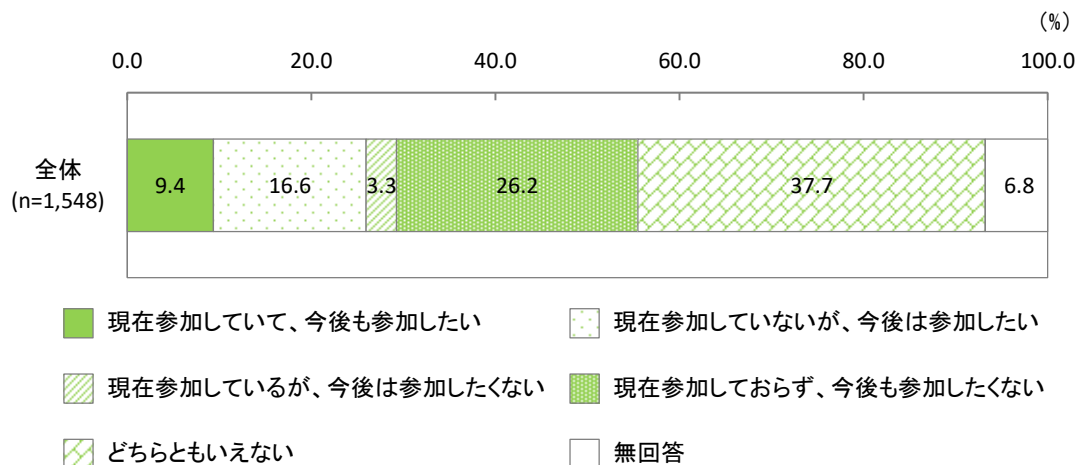
		成田国際空港への近接性	圏央道へのアクセスの良さ	九十九里浜・海	特産物・地元の食べ物（ねぎ、とうもろこし、もつなど）	自然を活かした観光（海水浴、つり、カヌー、サーフィンなど）	田園風景や景観	栗山川	産業まつりなど	祭り・イベント（祇園祭、梅まつり、産まつりなど）	歴史・文化的資源（鬼来迎、成田山上陸地など）	人と人の結びつきの強さ	その他	無回答
全体 (n=1, 548)		46. 5	32. 8	22. 5	22. 0	18. 5	13. 4	9. 6	9. 0	4. 3	4. 1	2. 3	2. 5	
年齢	16～19 歳 (n=74)	52. 7	24. 3	16. 2	21. 6	17. 6	14. 9	6. 8	14. 9	5. 4	2. 7	2. 7	2. 7	
	20～29 歳 (n=166)	45. 2	27. 1	27. 1	21. 7	25. 9	12. 0	4. 2	13. 9	6. 6	3. 6	3. 0	0. 6	
	30～39 歳 (n=197)	48. 7	33. 5	22. 8	20. 3	20. 8	14. 7	8. 1	7. 6	3. 6	2. 5	3. 0	3. 0	
	40～49 歳 (n=217)	46. 1	37. 3	23. 0	23. 0	19. 4	10. 1	8. 8	11. 5	2. 8	3. 7	1. 8	1. 8	
	50～59 歳 (n=255)	42. 7	33. 7	22. 4	23. 1	19. 6	14. 1	9. 8	10. 2	2. 7	3. 1	1. 6	2. 7	
	60～69 歳 (n=300)	46. 0	36. 3	19. 7	20. 0	17. 0	14. 3	10. 3	5. 7	4. 0	4. 3	4. 0	3. 7	
	70 歳以上 (n=332)	47. 9	30. 7	23. 2	22. 9	13. 9	13. 9	13. 9	6. 6	6. 0	6. 3	0. 6	2. 4	
居住地区	横芝 (n=689)	47. 0	30. 0	21. 6	21. 5	19. 0	13. 5	11. 0	10. 7	3. 3	4. 6	2. 3	3. 0	
	大総 (n=104)	54. 8	48. 1	14. 4	10. 6	11. 5	17. 3	7. 7	5. 8	6. 7	6. 7	2. 9	0. 0	
	上堺 (n=132)	42. 4	26. 5	34. 8	24. 2	28. 0	8. 3	9. 1	9. 1	4. 5	2. 3	0. 8	0. 8	
	日吉 (n=85)	48. 2	27. 1	21. 2	25. 9	12. 9	18. 8	9. 4	8. 2	5. 9	3. 5	2. 4	1. 2	
	南条 (n=91)	49. 5	39. 6	19. 8	22. 0	16. 5	8. 8	7. 7	11. 0	7. 7	3. 3	2. 2	1. 1	
	東陽 (n=280)	46. 8	40. 4	17. 9	24. 6	16. 1	12. 9	8. 6	8. 6	2. 9	2. 9	2. 1	3. 6	
	白浜 (n=153)	39. 2	27. 5	31. 4	22. 2	20. 9	15. 7	7. 8	3. 9	6. 5	3. 9	2. 6	3. 3	

年齢別にみると、全世代で最多の選択肢は 40%を超え「成田国際空港への近接性」であり、次いで「圏央道へのアクセスの良さ」となっています。このほか、20～40 歳代と 70 歳以上では「九十九里浜・海」が、10 歳代と 40～60 歳代では「特産物・地元の食べ物（ねぎ、とうもろこし、もつなど）」が 20%前後で比較的多くなっています。

居住地区別にみると、全地区で「成田国際空港への近接性」が最多となっており、大総地区では 50%を超えています。次いで、上堺と白浜地区では「九十九里浜・海」が 30%を超えて高くなっていますが、その他の地区では「圏央道へのアクセスの良さ」が第 2 位となっています。また、日吉、南条、東陽地区では、「特産物・地元の食べ物（ねぎ、とうもろこし、もつなど）」が第 3 位となっています。

4. まちづくりへの参加・協働について

問6. まちづくりへの参加意向 あなたは、町政やまちづくり活動への参加についてどう思いますか。(〇印は1つ)



まちづくりへの参加意向については、「現在参加していて、今後も参加したい」(9.4%)と「現在参加していないが、今後は参加したい」(16.6%)を合計した、参加に前向きな回答が26.0%を占めています。他方、「現在参加しているが、今後は参加したくない」(3.3%)と「現在参加しておらず、今後も参加したくない」(26.2%)を合計した、参加に消極的な回答は29.5%となっています。まちづくりへの参加に消極的な回答者数の方がやや多い傾向にあります。

<属性別> ※網掛けは各属性での最上位を表す

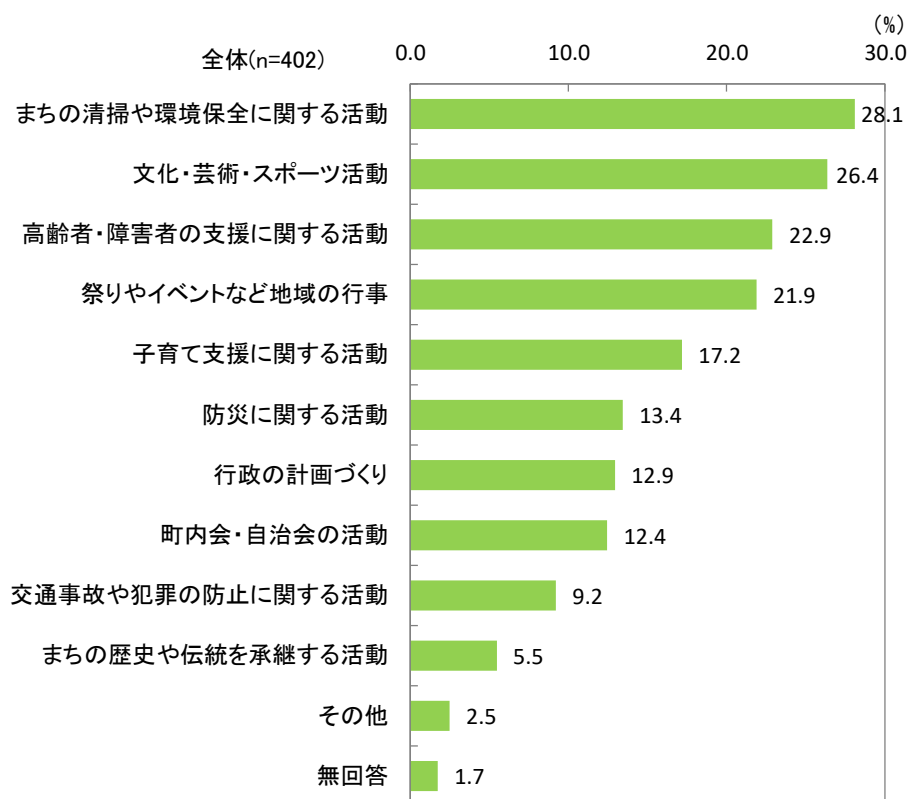
		現在参加していて、 今後も参加したい	現在参加していないが、 今後は参加したい	現在参加しているが、 今後は参加したくない	現在参加しておらず、 今後も参加したくない	どちらともいえない	無回答
全体 (n=1,548)		9.4	16.6	3.3	26.2	37.7	6.8
年齢	16～19 歳 (n=74)	5.4	21.6	0.0	33.8	37.8	1.4
	20～29 歳 (n=166)	4.8	20.5	1.2	34.9	35.5	3.0
	30～39 歳 (n=197)	6.1	18.3	1.5	34.0	34.5	5.6
	40～49 歳 (n=217)	7.8	18.4	3.2	19.4	45.2	6.0
	50～59 歳 (n=255)	7.8	16.5	3.9	21.6	42.7	7.5
	60～69 歳 (n=300)	14.0	15.7	7.0	22.3	34.3	6.7
	70 歳以上 (n=332)	12.3	11.7	2.4	26.8	35.8	10.8
居住地区	横芝 (n=689)	10.0	17.4	3.2	25.8	36.6	7.0
	大総 (n=104)	12.5	9.6	2.9	32.7	33.7	8.7
	上堺 (n=132)	9.1	15.2	3.0	31.8	37.1	3.8
	日吉 (n=85)	9.4	5.9	10.6	25.9	40.0	8.2
	南条 (n=91)	12.1	18.7	3.3	18.7	38.5	8.8
	東陽 (n=280)	6.4	19.6	2.5	22.9	41.8	6.8
	白浜 (n=153)	7.8	17.6	2.0	28.1	38.6	5.9

年齢別にみると、全世代で「どちらともいえない」が最多となっています。次いで、「現在参加しておらず、今後も参加したくない」が全世代で高い割合を占めています。一方で、「現在参加していないが、今後は参加したい」は概ね年齢が若くなるほど割合が高くなり、10 歳代では 21.6%、20 歳代では 20.5%となっており、「現在参加していて、今後も参加したい」との差が 15 ポイント以上あります。まちづくりへの参加に対し、若者に潜在的なニーズがあることが読み取れます。

居住地区別にみると、参加したい（「現在参加していて、今後も参加したい」と「現在参加していないが、今後は参加したい」の合計）と回答した割合は、南条地区で 30%を超え、他の地区と比べ割合が高くなっています。

問6.で「現在参加していて、今後も参加したい」または「現在参加していないが、今後は参加したい」と回答した方

問7. 参加したい活動 どのような活動に参加したいと思いますか。(〇印は2つまで)



参加したい活動については、「まちの清掃や環境保全に関する活動」が28.1%で最も多く、「文化・芸術・スポーツ活動」(26.4%)、「高齢者・障害者の支援に関する活動」(22.9%)、「祭りやイベントなど地域の行事」(21.9%)が続き、いずれも20%を超えています。他方、「交通事故や犯罪の防止に関する活動」(9.2%)と「まちの歴史や伝統を伝承する活動」(5.5%)は10%を下回っています。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

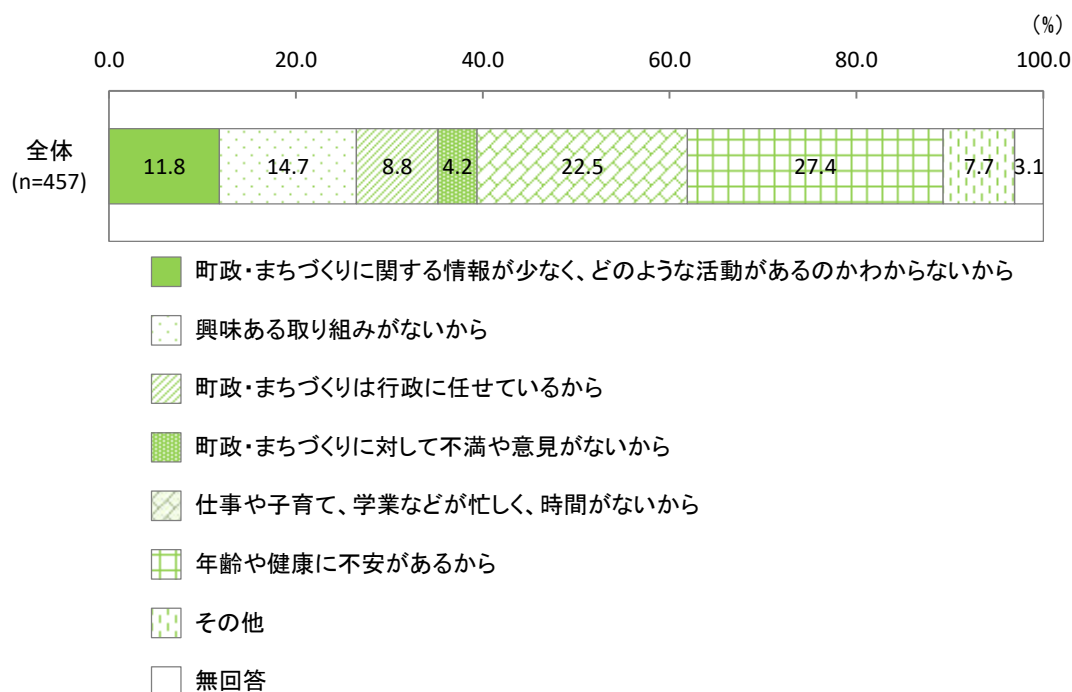
		まちの清掃や環境保全に関する活動	文化・芸術・スポーツ活動	高齢者・障害者の支援に関する活動	祭りやイベントなど地域の行事	子育て支援に関する活動	防災に関する活動	行政の計画づくり	町内会・自治会の活動	交通事故や犯罪の防止に関する活動	まちの歴史や伝統を承継する活動	その他	無回答
全体 (n=402)		28.1	26.4	22.9	21.9	17.2	13.4	12.9	12.4	9.2	5.5	2.5	1.7
年齢	16～19 歳 (n=20)	25.0	55.0	15.0	35.0	0.0	5.0	10.0	0.0	10.0	5.0	5.0	0.0
	20～29 歳 (n=42)	16.7	31.0	9.5	35.7	26.2	14.3	19.0	4.8	9.5	4.8	0.0	0.0
	30～39 歳 (n=48)	27.1	27.1	16.7	39.6	33.3	6.3	12.5	4.2	6.3	4.2	0.0	4.2
	40～49 歳 (n=57)	29.8	24.6	8.8	22.8	35.1	12.3	14.0	7.0	14.0	7.0	1.8	3.5
	50～59 歳 (n=62)	24.2	21.0	27.4	17.7	19.4	9.7	16.1	17.7	11.3	4.8	3.2	3.2
	60～69 歳 (n=89)	32.6	25.8	30.3	13.5	6.7	18.0	14.6	18.0	3.4	6.7	4.5	0.0
	70 歳以上 (n=80)	32.5	23.8	35.0	12.5	3.8	17.5	5.0	17.5	11.3	5.0	1.3	1.3
居住地区	横芝 (n=189)	25.4	28.6	22.2	21.7	17.5	14.8	15.9	14.3	9.5	5.3	2.6	1.1
	大総 (n=23)	26.1	30.4	13.0	13.0	21.7	13.0	21.7	21.7	13.0	8.7	0.0	0.0
	上堺 (n=32)	31.3	18.8	25.0	25.0	15.6	15.6	3.1	3.1	18.8	3.1	3.1	3.1
	日吉 (n=13)	38.5	30.8	30.8	38.5	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	7.7	7.7	0.0
	南条 (n=28)	14.3	32.1	17.9	14.3	17.9	14.3	14.3	14.3	3.6	21.4	0.0	3.6
	東陽 (n=73)	31.5	19.2	32.9	26.0	15.1	12.3	6.8	9.6	9.6	2.7	1.4	1.4
	白浜 (n=39)	41.0	30.8	15.4	17.9	20.5	12.8	12.8	7.7	5.1	0.0	2.6	5.1

年齢別にみると、各世代で回答傾向に違いがみられ、最多の選択肢として、16～19 歳では「文化・芸術・スポーツ活動」、20～30 歳代では「祭りやイベントなど地域の行事」、40 歳代では、「子育て支援に関する活動」、50 歳代と 70 歳以上では「高齢者・障害者の支援に関する活動」、60 歳代では「まちの清掃や環境保全に関する活動」となっています。年齢別に、比較的まんべんなく回答が分かれています。

居住地区別にみると、各地区で第 1 位、第 2 位の選択肢は異なるものの、概ね「まちの清掃や環境保全に関する活動」、「文化・芸術・スポーツ活動」、「高齢者・障害者の支援に関する活動」、「祭りやイベントなど地域の行事」の 4 つの選択肢のいずれかに該当しています。南条地区においては、「まちの歴史や伝統を承継する活動」が 21.4%と他の地区の一桁台と比較して高い割合を占めています。

問6.で「現在参加しているが、今後は参加したくない」または「現在参加しておらず、今後も参加したくない」と回答した方

問8. 参加したくない理由 町政やまちづくり活動に参加したくない理由は何ですか。
(○印は1つ)



参加したくない理由に関しては、「年齢や健康に不安があるから」が27.4%で最も多く、「仕事や子育て、学業などが忙しく、時間がないから」(22.5%)と続きます。全体として、健康面の不安や時間的な制約から、活動に参加することができないとの回答が多数を占めています。一方で、「興味ある取り組みがないから」(14.7%)、「町政・まちづくりに関する情報が少なく、どのような活動があるのかわからないから」(11.8%)と、適切な情報発信がなされていないことが、参加したくないと思う要因になっているとも考えられます。

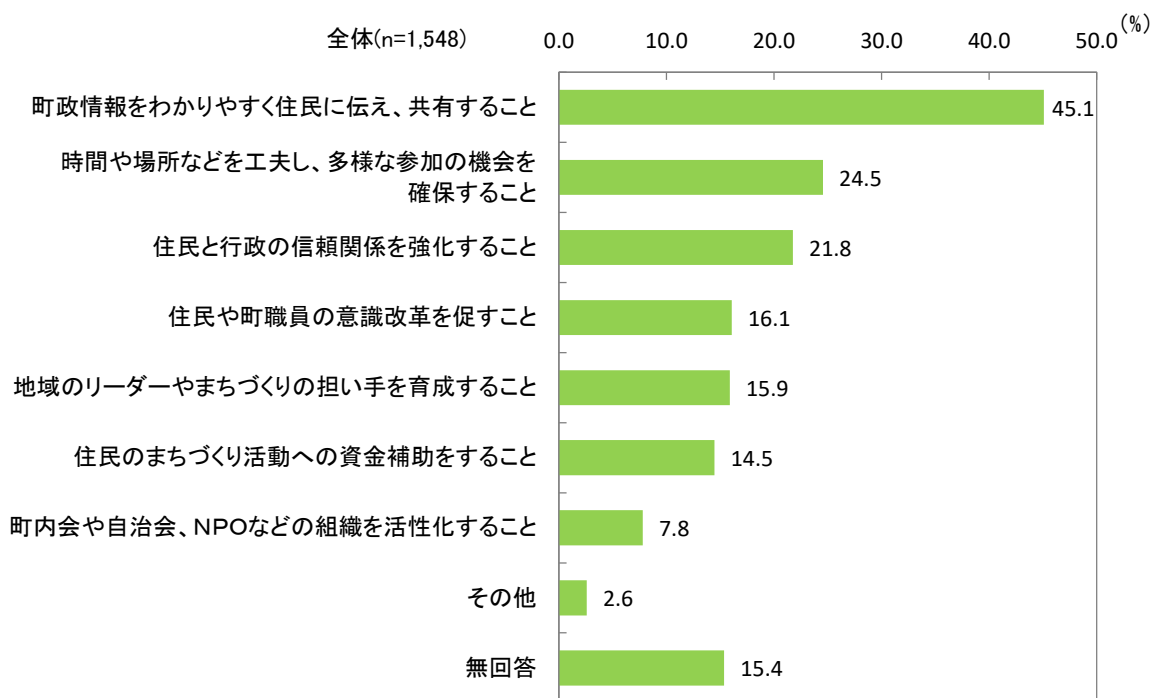
<居性別> ※網掛けは各属性での最上位を表す

		町政・まちづくりに関する情報 が少なく、どのような活動 があるのかわからないから	興味ある取り組みがないから	町政・まちづくりは行政に任 せているから	町政・まちづくりに対して不 満や意見がないから	仕事や子育て、学業などが忙 しく、時間がないから	年齢や健康に不安があるから	その他	無回答
全体 (n=457)		11.8	14.7	8.8	4.2	22.5	27.4	7.7	3.1
年齢	16～19 歳 (n=25)	8.0	28.0	0.0	4.0	52.0	0.0	8.0	0.0
	20～29 歳 (n=60)	11.7	33.3	8.3	3.3	28.3	3.3	8.3	3.3
	30～39 歳 (n=70)	8.6	25.7	11.4	0.0	40.0	2.9	7.1	4.3
	40～49 歳 (n=49)	14.3	6.1	8.2	2.0	49.0	10.2	10.2	0.0
	50～59 歳 (n=65)	21.5	6.2	7.7	6.2	26.2	13.8	9.2	9.2
	60～69 歳 (n=88)	12.5	11.4	11.4	5.7	2.3	45.5	8.0	3.4
	70 歳以上 (n=97)	7.2	4.1	8.2	6.2	1.0	68.0	5.2	0.0
居住地区	横芝 (n=200)	7.5	12.0	10.0	4.0	23.5	32.0	7.5	3.5
	大総 (n=37)	13.5	27.0	8.1	2.7	18.9	16.2	13.5	0.0
	上堺 (n=46)	17.4	8.7	8.7	6.5	21.7	19.6	15.2	2.2
	日吉 (n=31)	19.4	16.1	12.9	3.2	29.0	12.9	3.2	3.2
	南条 (n=20)	5.0	20.0	15.0	5.0	20.0	30.0	5.0	0.0
	東陽 (n=71)	16.9	7.0	5.6	1.4	22.5	35.2	7.0	4.2
	白浜 (n=46)	15.2	28.3	4.3	6.5	15.2	23.9	2.2	4.3

年齢別にみると、16～19 歳および 30～50 歳代は「仕事や子育て、学業などが忙しく、時間がないから」が最多である一方、60 歳以上では「年齢や健康に不安があるから」が最多となっています。20 歳代では「興味ある取り組みがないから」が他の世代に比べ最も多くなっています。

居住地区別にみると、横芝、南条、東陽地区は「年齢や健康に不安があるから」、大総、白浜地区は「興味ある取り組みがないから」、上堺・日吉地区は「仕事や子育て、学業などが忙しく、時間がないから」がそれぞれ最多となっています。

問9. **協働のまちづくり** あなたは、まちづくり活動に参加しやすくし、住民と行政による協働のまちづくりをより一層進めるために、どのようなことが必要だと思いますか。
(○印は2つまで)



協働のまちづくりを推進していくために必要なこととして、「町政情報をわかりやすく住民に伝え、共有すること」が45.1%で最も多く、「時間や場所などを工夫し、多様な参加の機会を確保すること」(24.5%)、「住民と行政の信頼関係を強化すること」(21.8%)と続き、それぞれ20%を超えています。町職員と住民が情報を共有するとともに、信頼関係を高めること、まちづくりへの参加層を広げていくことが重視されています。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		無回答	その他	町内会や自治会、NPOなどの組織を活性化すること	住民のまちづくり活動への資金補助をすること	地域のリーダーやまちづくりの担い手を育成すること	住民や町職員の意識改革を促すこと	住民と行政の信頼関係を強化すること	時間や場所などを工夫し、多様な参加の機会を確保すること	町政情報を分かりやすく住民に伝え、共有すること
全体 (n=1, 548)		15.4	2.6	7.8	14.5	15.9	16.1	21.8	24.5	45.1
年齢	16～19 歳 (n=74)	13.5	1.4	8.1	17.6	5.4	17.6	21.6	29.7	41.9
	20～29 歳 (n=166)	16.3	4.8	6.6	15.7	12.0	16.3	15.7	27.7	48.8
	30～39 歳 (n=197)	11.7	1.0	9.1	19.3	14.2	14.7	15.7	26.9	51.8
	40～49 歳 (n=217)	13.4	1.8	5.1	19.4	14.3	11.1	23.0	31.8	44.2
	50～59 歳 (n=255)	18.4	3.5	11.0	10.2	11.4	18.4	22.7	27.1	40.0
	60～69 歳 (n=300)	16.3	3.7	7.3	14.7	21.7	17.3	20.7	18.3	44.3
	70 歳以上 (n=332)	15.7	1.5	7.5	10.5	20.2	16.9	27.4	19.3	45.2
居住地区	横芝 (n=689)	15.8	2.2	9.4	13.8	16.8	14.9	22.9	22.9	44.6
	大総 (n=104)	15.4	1.9	7.7	12.5	16.3	24.0	20.2	17.3	41.3
	上堺 (n=132)	12.1	4.5	11.4	20.5	15.9	17.4	22.0	19.7	43.2
	日吉 (n=85)	16.5	2.4	5.9	15.3	10.6	21.2	16.5	23.5	49.4
	南条 (n=91)	13.2	1.1	7.7	19.8	12.1	15.4	20.9	28.6	45.1
	東陽 (n=280)	16.1	2.9	5.4	13.6	16.4	16.8	20.0	31.4	45.0
	白浜 (n=153)	15.7	3.3	3.9	11.8	15.7	11.8	24.2	26.1	49.7

年齢別にみると、全世代において40%を超えて「町政情報を分かりやすく住民に伝え、共有すること」が最多となっています。次いで、10歳代～50歳代までは、「時間や場所などを工夫し、多様な参加の機会を確保すること」が高くなっており、60歳代では「地域のリーダーやまちづくりの担い手を育成すること」が21.7%と、70歳代では「住民と行政の信頼関係を強化すること」が27.4%と比較的高くなっています。

居住地区別にみると、全地区において40%を超えて「町政情報を分かりやすく住民に伝え、共有すること」が最多となっています。次いで、横芝、日吉、南条、東陽、白浜では、「時間や場所などを工夫し、多様な参加の機会を確保すること」が高くなっており、横芝、上堺地区で「住民と行政の信頼関係を強化すること」、大総で「住民や町職員の意識改革を促すこと」が他の地区と比べ多い傾向があります。

5. 町の取り組みへの評価について

問10. **現在の満足度・重要度** あなたは、次のような町の取り組みに、現在どの程度満足していますか。 また、それぞれの取り組みについて、どの程度重要と考えていますか。

《評価点の算出方法とグラフ（散布図 P35～P37）の見方》

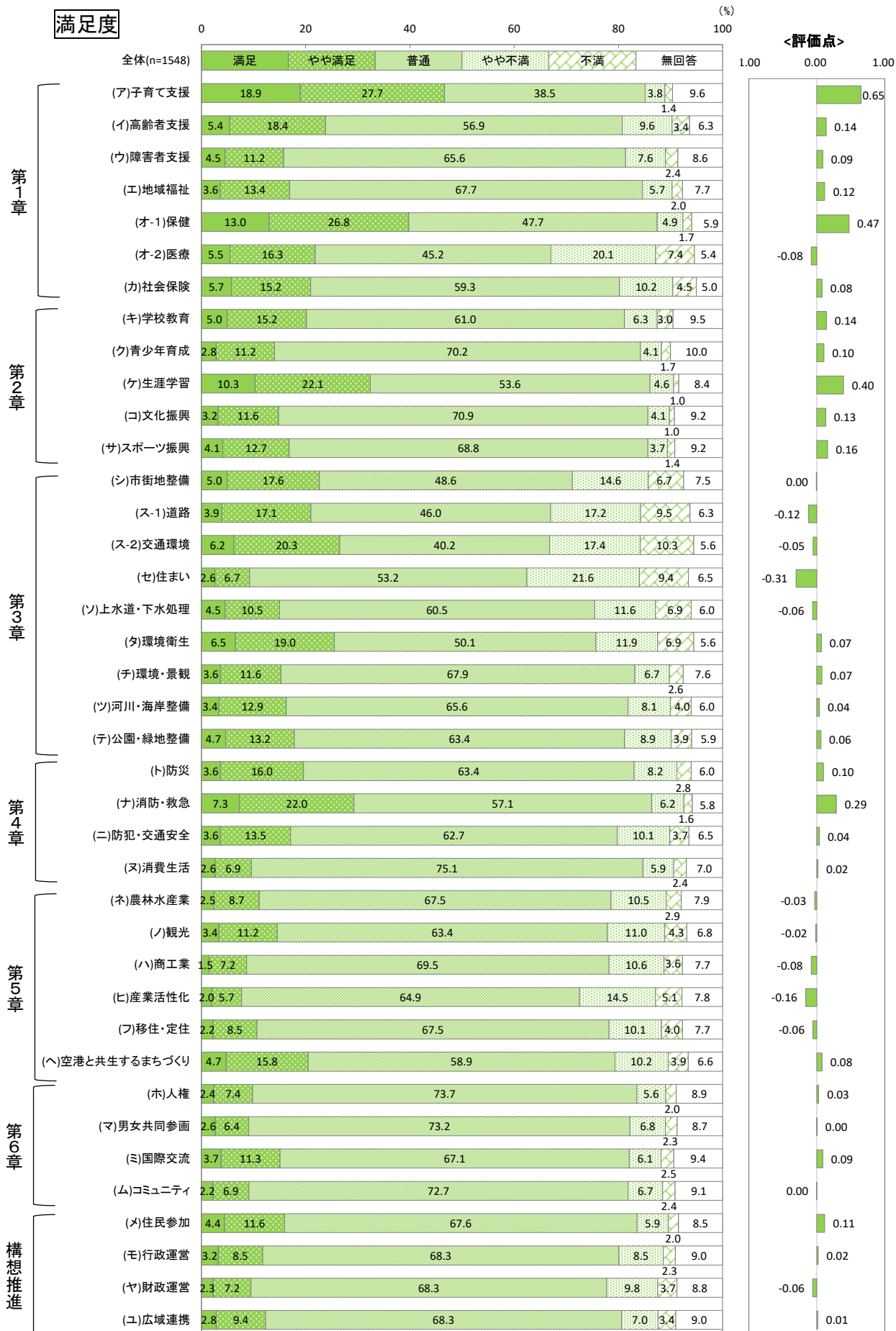
現在の満足度と重要度の結果を分かりやすく示すために、加重平均による分析で評価点を算出しました。満足度は、「満足・やや満足・普通・やや不満・不満」の回答数に、それぞれ「2・1・0・-1・-2」点を与え、その合計数を全回答数（「無回答」を除く）で除して評価点としました（重要度についても同様に算出）。したがって、評価点（加重平均値）が高いほど、その項目に対する評価が高いとみることができます。

※回答者が全員「満足」「重要」であれば、2.0 ポイントとなり、全員が「やや満足」「やや重要」であれば、1.0 ポイントとなります。

《各分野の分類について》

満足度と重要度は、「第2次横芝光町総合計画 後期基本計画」及び「第2期横芝光町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における分野ごとの施策項目に沿って伺っています。各分野は、以下のとおり、各章ごとにまとめています。

- 第1章 自分らしく生き生きと暮らせるまち
 - 第2章 豊かな心と郷土愛を育むまち
 - 第3章 自然と共生する住みやすいまち
 - 第4章 安全で安心して暮らせるまち
 - 第5章 地域の特性を活かした活力あるまち
 - 第6章 相互理解と協働による住民主体のまち
- 構想推進のために



<属性別> ※濃い網掛けは上位5位、薄い網掛けは下位5位を表す

		全体	年齢						
			16～ 19 歳	20～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60～ 69 歳	70 歳 以上
第1章	(ア)子育て支援	0.65	1.14	0.64	0.60	0.96	0.62	0.46	0.54
	(イ)高齢者支援	0.14	0.32	0.23	0.09	0.20	0.04	0.10	0.16
	(ウ)障害者支援	0.09	0.35	0.13	0.01	0.10	0.13	0.02	0.08
	(エ)地域福祉	0.12	0.28	0.18	0.09	0.07	0.07	0.07	0.17
	(オ-1)保健	0.47	0.61	0.46	0.39	0.63	0.36	0.39	0.57
	(オ-2)医療	-0.08	0.39	0.06	-0.20	-0.08	-0.22	-0.17	0.01
	(カ)社会保険	0.08	0.36	0.27	0.05	0.07	-0.01	-0.01	0.10
第2章	(キ)学校教育	0.14	0.31	0.22	0.14	0.09	0.12	0.09	0.16
	(ク)青少年育成	0.10	0.28	0.13	0.07	0.13	0.07	0.03	0.15
	(ケ)生涯学習	0.40	0.79	0.55	0.45	0.46	0.30	0.28	0.31
	(コ)文化振興	0.13	0.35	0.19	0.16	0.13	0.07	0.10	0.11
	(サ)スポーツ振興	0.16	0.42	0.23	0.09	0.16	0.15	0.10	0.16
第3章	(シ)市街地整備	0.00	0.28	0.11	0.00	0.05	-0.09	-0.10	-0.02
	(ス-1)道路	-0.12	0.27	0.04	-0.08	-0.10	-0.24	-0.20	-0.17
	(ス-2)交通環境	-0.05	0.25	0.11	-0.05	0.08	-0.16	-0.18	-0.10
	(セ)住まい	-0.31	-0.01	-0.13	-0.32	-0.27	-0.42	-0.35	-0.36
	(ソ)上下水道・下水処理	-0.06	0.39	0.11	-0.04	0.00	-0.18	-0.19	-0.10
	(タ)環境衛生	0.07	0.46	0.13	0.03	0.21	-0.07	-0.01	0.05
	(チ)環境・景観	0.07	0.28	0.18	0.06	0.08	0.03	0.01	0.08
	(ツ)河川・海岸整備	0.04	0.03	0.14	-0.01	0.10	-0.05	0.02	0.06
	(テ)公園・緑地整備	0.06	0.15	0.08	-0.08	0.18	0.06	0.01	0.08
第4章	(ト)防災	0.10	0.22	0.15	0.07	0.10	0.07	0.01	0.17
	(ナ)消防・救急	0.29	0.36	0.32	0.26	0.16	0.24	0.22	0.47
	(ニ)防犯・交通安全	0.04	0.19	0.08	-0.04	-0.06	-0.03	0.01	0.16
	(ヌ)消費生活	0.02	0.22	0.13	-0.02	0.00	-0.02	-0.02	0.00
第5章	(ネ)農林水産業	-0.03	0.17	0.11	-0.07	-0.03	-0.04	-0.07	-0.08
	(ノ)観光・交流	-0.02	0.13	0.13	-0.02	-0.02	-0.06	-0.04	-0.07
	(ハ)商工業	-0.08	0.04	-0.04	-0.06	-0.02	-0.15	-0.11	-0.11
	(ヒ)産業活性化	-0.16	0.01	-0.11	-0.21	-0.16	-0.22	-0.19	-0.13
	(フ)移住・定住	-0.06	0.14	-0.03	-0.02	-0.07	-0.14	-0.09	-0.04
	(ヘ)空港と共生するまちづくり	0.08	0.61	0.18	0.03	0.06	0.00	-0.01	0.09
第6章	(ホ)人権	0.03	0.38	0.15	0.02	-0.07	-0.03	-0.03	0.06
	(マ)男女共同参画	0.00	0.29	0.08	-0.02	0.00	-0.04	-0.05	-0.01
	(ミ)国際交流	0.09	0.43	0.23	0.06	0.02	0.02	0.05	0.07
	(ム)コミュニティ	0.00	0.28	0.11	-0.01	0.01	-0.06	-0.05	-0.04
構想推進	(メ)住民参加	0.11	0.40	0.24	0.04	0.17	0.04	0.03	0.12
	(モ)行政運営	0.02	0.28	0.14	-0.07	0.00	-0.04	0.02	0.02
	(ヤ)財政運営	-0.06	0.14	0.05	-0.13	-0.09	-0.11	-0.06	-0.05
	(ユ)広域連携	0.01	0.22	0.09	-0.07	-0.02	-0.03	0.00	0.05
	満足度平均値	0.06	0.31	0.16	0.03	0.08	0.00	0.00	0.07

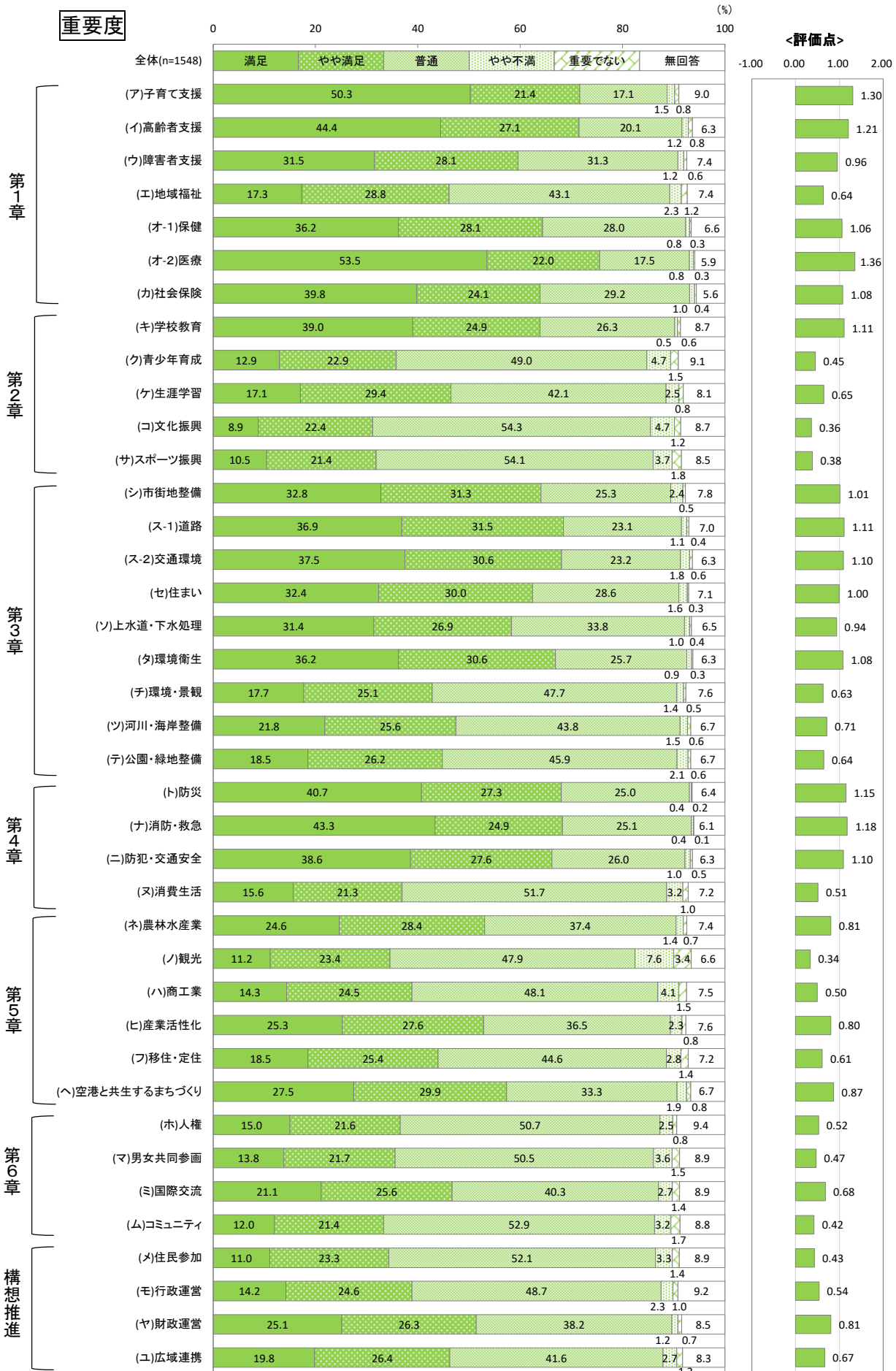
<属性別>つづき

		居住地区						
		横芝	大総	上塚	日吉	南条	東陽	白浜
第1章	(ア)子育て支援	0.63	0.44	0.61	0.72	0.74	0.67	0.80
	(イ)高齢者支援	0.11	0.00	0.09	0.25	0.18	0.18	0.24
	(ウ)障害者支援	0.09	-0.07	0.08	0.27	0.15	0.06	0.10
	(エ)地域福祉	0.12	-0.11	0.04	0.28	0.22	0.08	0.26
	(オ-1)保健	0.47	0.29	0.35	0.54	0.58	0.54	0.53
	(オ-2)医療	-0.08	-0.18	-0.25	0.15	0.15	-0.12	-0.02
	(カ)社会保険	0.10	-0.04	-0.06	0.16	0.18	0.06	0.12
第2章	(キ)学校教育	0.16	0.02	0.12	0.28	0.20	0.08	0.15
	(ク)青少年育成	0.12	0.06	0.09	0.19	0.09	0.04	0.18
	(ケ)生涯学習	0.34	0.26	0.31	0.48	0.52	0.50	0.51
	(コ)文化振興	0.13	0.05	0.06	0.26	0.10	0.15	0.16
	(サ)スポーツ振興	0.16	0.14	0.12	0.19	0.15	0.17	0.15
第3章	(シ)市街地整備	0.01	-0.05	-0.04	0.23	0.02	-0.11	0.04
	(ス-1)道路	-0.15	-0.23	-0.14	0.21	-0.08	-0.16	-0.01
	(ス-2)交通環境	0.02	-0.27	-0.16	-0.29	-0.05	0.03	-0.16
	(セ)住まい	-0.28	-0.35	-0.55	-0.23	-0.20	-0.32	-0.32
	(ソ)上下水道・下水処理	-0.08	-0.09	-0.12	0.08	0.05	-0.10	0.00
	(タ)環境衛生	0.09	-0.13	-0.04	0.19	0.33	-0.02	0.12
	(チ)環境・景観	0.07	-0.05	0.07	0.25	0.12	0.05	0.12
	(ツ)河川・海岸整備	0.02	-0.04	0.01	0.25	0.05	0.05	0.06
	(テ)公園・緑地整備	0.06	0.13	-0.04	0.20	0.15	0.04	0.04
第4章	(ト)防災	0.08	0.05	0.07	0.22	0.17	0.10	0.14
	(ナ)消防・救急	0.31	0.16	0.25	0.43	0.33	0.22	0.34
	(ニ)防犯・交通安全	0.04	-0.02	-0.02	0.16	0.08	-0.02	0.12
	(ヌ)消費生活	0.04	-0.13	-0.03	0.14	0.02	-0.02	0.03
第5章	(ネ)農林水産業	-0.03	-0.31	-0.05	0.10	0.06	0.00	-0.02
	(ノ)観光・交流	0.01	-0.16	0.12	0.00	0.08	-0.09	-0.09
	(ハ)商工業	-0.08	-0.23	-0.11	0.00	-0.06	-0.04	-0.10
	(ヒ)産業活性化	-0.13	-0.35	-0.16	-0.01	-0.13	-0.21	-0.19
	(フ)移住・定住	-0.04	-0.15	-0.14	0.08	0.03	-0.10	-0.07
	(ヘ)空港と共生するまちづくり	0.07	-0.08	0.03	0.21	0.25	0.08	0.09
第6章	(ホ)人権	0.03	-0.03	0.00	0.14	0.09	0.03	0.01
	(マ)男女共同参画	0.01	-0.03	-0.06	0.08	0.12	-0.04	0.01
	(ミ)国際交流	0.10	-0.02	0.02	0.21	0.21	0.03	0.10
	(ム)コミュニティ	0.02	-0.15	-0.02	0.06	0.04	0.00	-0.04
構想推進	(メ)住民参加	0.11	0.01	0.07	0.18	0.20	0.12	0.14
	(モ)行政運営	0.04	-0.14	0.01	0.08	0.06	-0.01	0.06
	(ヤ)財政運営	-0.04	-0.15	-0.07	0.06	-0.01	-0.13	-0.05
	(ユ)広域連携	0.03	-0.13	0.02	0.16	0.00	-0.02	0.04
	満足度平均値	0.07	-0.05	0.01	0.18	0.13	0.05	0.09

現在の満足度については、評価点を見ると、「子育て支援」が 0.65 で最も満足度が高く、次いで「保健」が 0.47、「生涯学習」が 0.40 となっています。一方で、「住まい」が-0.31 で最も満足度が低く、次いで「産業活性化」が-0.16、「道路」-0.12 となっており、都市基盤や産業に関する満足度が低い傾向が見られます。

年齢別にみると、全世代において「子育て支援」、「保健」、「生涯学習」の満足度が高い一方、概ね全世代において、「道路」、「住まい」、「産業活性化」の満足度が低くなっています。また、16～19 歳で、「環境衛生」と「空港と共生するまちづくり」が他の世代と比較して高くなっています。

居住地区別にみると、全地区において、「子育て支援」、「保健」、「生涯学習」、「消防・救急」の満足度が高い一方、全地区において、「住まい」と「産業活性化」の満足度が低く、マイナス評価となっています。このほか、南条地区では「環境衛生」の満足度が他の地区と比べて高く、大総地区では「農林水産業」の満足度が他の地区と比べて低くなっています。



<属性別> ※濃い網掛けは上位5位、薄い網掛けは下位5位を表す

		全体	年齢						
			16～ 19 歳	20～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60～ 69 歳	70 歳 以上
第1章	(ア)子育て支援	1.30	1.57	1.54	1.61	1.49	1.11	1.11	1.13
	(イ)高齢者支援	1.21	1.19	1.11	1.11	1.29	1.30	1.21	1.19
	(ウ)障害者支援	0.96	1.06	0.99	0.93	1.04	0.91	0.96	0.90
	(エ)地域福祉	0.64	0.81	0.71	0.52	0.66	0.64	0.61	0.63
	(オ-1)保健	1.06	1.24	1.15	1.15	1.10	1.11	0.98	0.94
	(オ-2)医療	1.36	1.37	1.46	1.46	1.49	1.39	1.30	1.18
	(カ)社会保険	1.08	1.24	1.17	0.96	1.15	1.05	1.06	1.08
第2章	(キ)学校教育	1.11	1.30	1.19	1.31	1.27	0.92	1.04	1.01
	(ク)青少年育成	0.45	0.62	0.39	0.49	0.34	0.33	0.47	0.59
	(ケ)生涯学習	0.65	0.99	0.73	0.74	0.75	0.42	0.54	0.67
	(コ)文化振興	0.36	0.48	0.47	0.36	0.36	0.25	0.32	0.41
	(サ)スポーツ振興	0.38	0.57	0.37	0.42	0.29	0.28	0.38	0.49
第3章	(シ)市街地整備	1.01	1.17	1.14	1.03	1.13	1.05	0.94	0.87
	(ス-1)道路	1.11	1.18	1.24	1.07	1.23	1.09	1.08	1.04
	(ス-2)交通環境	1.10	1.21	1.23	1.07	1.16	1.20	1.02	0.95
	(セ)住まい	1.00	1.00	1.13	0.97	1.10	1.04	0.87	0.97
	(ソ)上下水道・下水処理	0.94	0.97	1.10	0.85	1.04	0.93	0.82	0.95
	(タ)環境衛生	1.08	1.00	1.10	1.02	1.23	1.09	1.00	1.10
	(チ)環境・景観	0.63	0.81	0.63	0.60	0.71	0.62	0.57	0.62
	(ツ)河川・海岸整備	0.71	0.87	0.77	0.72	0.71	0.69	0.66	0.71
	(テ)公園・緑地整備	0.64	0.88	0.79	0.77	0.69	0.56	0.54	0.57
第4章	(ト)防災	1.15	1.22	1.18	1.11	1.19	1.18	1.15	1.10
	(ナ)消防・救急	1.18	1.23	1.19	1.10	1.25	1.15	1.22	1.15
	(ニ)防犯・交通安全	1.10	1.25	1.16	1.13	1.19	1.05	1.05	1.03
	(ヌ)消費生活	0.51	0.52	0.57	0.49	0.51	0.55	0.48	0.48
第5章	(ネ)農林水産業	0.81	0.90	0.90	0.68	0.79	0.74	0.84	0.87
	(ノ)観光・交流	0.34	0.51	0.50	0.25	0.32	0.32	0.34	0.28
	(ハ)商工業	0.50	0.49	0.50	0.44	0.52	0.46	0.50	0.55
	(ヒ)産業活性化	0.80	0.70	0.84	0.71	0.85	0.84	0.75	0.86
	(フ)移住・定住	0.61	0.67	0.69	0.68	0.56	0.61	0.55	0.60
	(ヘ)空港と共生するまちづくり	0.87	0.97	0.97	0.97	0.94	0.73	0.83	0.84
第6章	(ホ)人権	0.52	0.84	0.63	0.45	0.45	0.46	0.50	0.57
	(マ)男女共同参画	0.47	0.81	0.64	0.47	0.44	0.36	0.41	0.44
	(ミ)国際交流	0.68	0.88	0.70	0.66	0.73	0.52	0.65	0.78
	(ム)コミュニティ	0.42	0.68	0.43	0.33	0.37	0.29	0.42	0.58
構想推進	(メ)住民参加	0.43	0.67	0.56	0.37	0.42	0.35	0.39	0.45
	(モ)行政運営	0.54	0.57	0.64	0.53	0.50	0.48	0.52	0.57
	(ヤ)財政運営	0.81	0.83	0.77	0.87	0.80	0.81	0.82	0.79
	(ユ)広域連携	0.67	0.72	0.56	0.58	0.62	0.63	0.72	0.78
	重要度平均値	0.80	0.92	0.87	0.80	0.84	0.76	0.76	0.79

<属性別>つづき

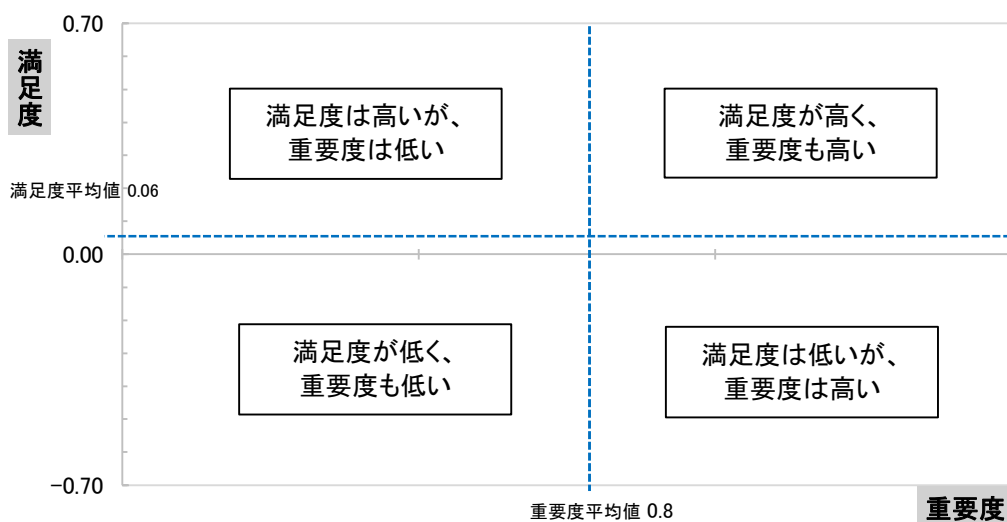
		居住地区						
		横芝	大総	上堺	日吉	南条	東陽	白浜
第1章	(ア)子育て支援	1.28	1.24	1.27	1.29	1.34	1.38	1.39
	(イ)高齢者支援	1.23	1.15	1.04	1.23	1.33	1.25	1.16
	(ウ)障害者支援	0.98	0.93	0.88	1.03	1.04	0.95	0.92
	(エ)地域福祉	0.64	0.58	0.64	0.75	0.69	0.68	0.51
	(オ-1)保健	1.07	1.12	1.00	1.04	1.11	1.13	0.93
	(オ-2)医療	1.36	1.46	1.23	1.27	1.42	1.37	1.36
	(カ)社会保険	1.12	1.10	0.88	1.13	1.19	1.13	0.94
第2章	(キ)学校教育	1.08	1.19	1.08	1.08	1.16	1.15	1.21
	(ク)青少年育成	0.42	0.55	0.44	0.50	0.46	0.47	0.48
	(ケ)生涯学習	0.67	0.57	0.56	0.62	0.74	0.69	0.58
	(コ)文化振興	0.39	0.38	0.30	0.40	0.36	0.37	0.26
	(サ)スポーツ振興	0.39	0.44	0.37	0.35	0.40	0.39	0.32
第3章	(シ)市街地整備	0.98	0.88	0.88	0.96	1.29	1.15	1.03
	(ス-1)道路	1.13	1.02	1.02	1.10	1.19	1.15	1.12
	(ス-2)交通環境	1.11	1.02	0.99	1.15	1.09	1.13	1.09
	(セ)住まい	1.06	1.00	0.94	0.96	0.80	1.01	0.96
	(ソ)上下水道・下水処理	1.01	0.95	0.73	0.78	0.88	0.95	0.96
	(タ)環境衛生	1.18	1.19	0.89	1.03	0.91	1.02	1.05
	(チ)環境・景観	0.68	0.67	0.52	0.53	0.59	0.66	0.55
	(ツ)河川・海岸整備	0.72	0.72	0.69	0.54	0.64	0.73	0.83
	(テ)公園・緑地整備	0.69	0.70	0.52	0.56	0.60	0.70	0.49
第4章	(ト)防災	1.17	1.15	1.20	1.10	1.00	1.14	1.23
	(ナ)消防・救急	1.18	1.24	1.10	1.15	1.15	1.23	1.20
	(ニ)防犯・交通安全	1.18	1.12	0.98	0.91	1.08	1.03	1.09
	(ヌ)消費生活	0.57	0.57	0.39	0.46	0.46	0.55	0.33
第5章	(ネ)農林水産業	0.78	0.94	0.88	0.91	0.76	0.83	0.76
	(ノ)観光・交流	0.36	0.38	0.41	0.38	0.39	0.29	0.17
	(ハ)商工業	0.52	0.51	0.53	0.51	0.45	0.47	0.45
	(ヒ)産業活性化	0.82	0.79	0.78	0.69	0.76	0.85	0.82
	(フ)移住・定住	0.64	0.66	0.69	0.59	0.55	0.53	0.60
	(ヘ)空港と共生するまちづくり	0.88	1.00	0.86	0.79	0.89	0.88	0.76
第6章	(ホ)人権	0.55	0.64	0.48	0.57	0.52	0.47	0.49
	(マ)男女共同参画	0.47	0.60	0.41	0.58	0.44	0.46	0.42
	(ミ)国際交流	0.66	0.80	0.70	0.82	0.71	0.69	0.61
	(ム)コミュニティ	0.42	0.55	0.47	0.51	0.40	0.41	0.31
構想推進	(メ)住民参加	0.43	0.45	0.40	0.45	0.48	0.47	0.36
	(モ)行政運営	0.53	0.64	0.52	0.57	0.62	0.52	0.51
	(ヤ)財政運営	0.85	0.77	0.77	0.70	0.80	0.82	0.75
	(ユ)広域連携	0.70	0.72	0.70	0.72	0.61	0.61	0.60
	重要度平均値	0.82	0.83	0.75	0.79	0.80	0.81	0.76

重要度については、評価点を見ると、すべての項目で高くなっており、「医療」が 1.36 で最も高く、次いで「子育て支援」(1.30)、「高齢者支援」(1.21)となっており、特に医療・福祉に関する分野が必要とされています。他方、最も評価点が低いのは、「観光・交流」(0.34)で、次いで「文化振興」(0.36)となっています。

年齢別にみると、10～40代では「子育て支援」、「医療」、「学校教育」の重要度が高くなっています。また、「高齢者支援」、「防災」、「消防・救急」に関しては、重要度の高い上位に上がっていない世代もありますが、各世代で評価点に大きな差はみられません。

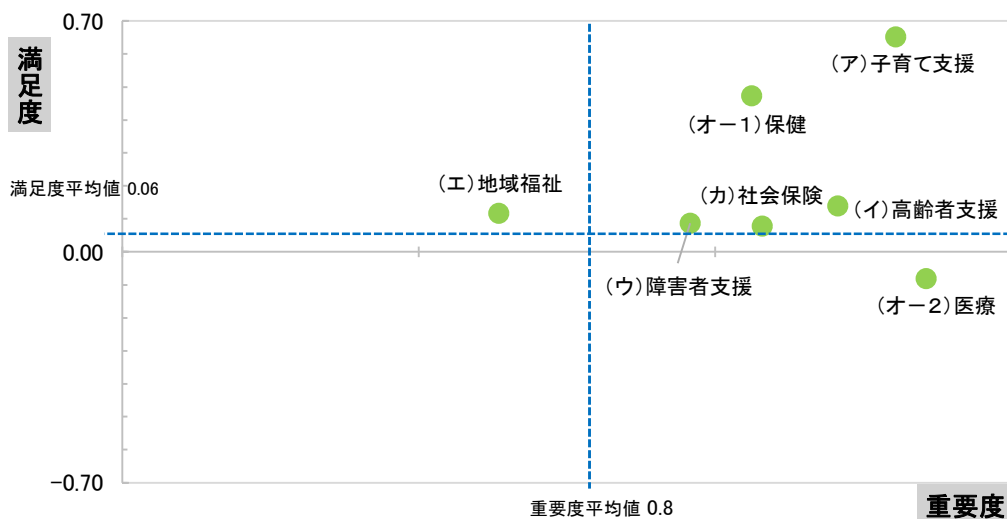
居住地区別にみると、概ね全地区において「子育て支援」、「医療」、「消防・救急」の重要度が高くなっています。また、「高齢者支援」や「学校教育」に関しては、重要度の高い上位に上がっていない地区もありますが、各地区で評価点に大きな差はみられません。

散布図

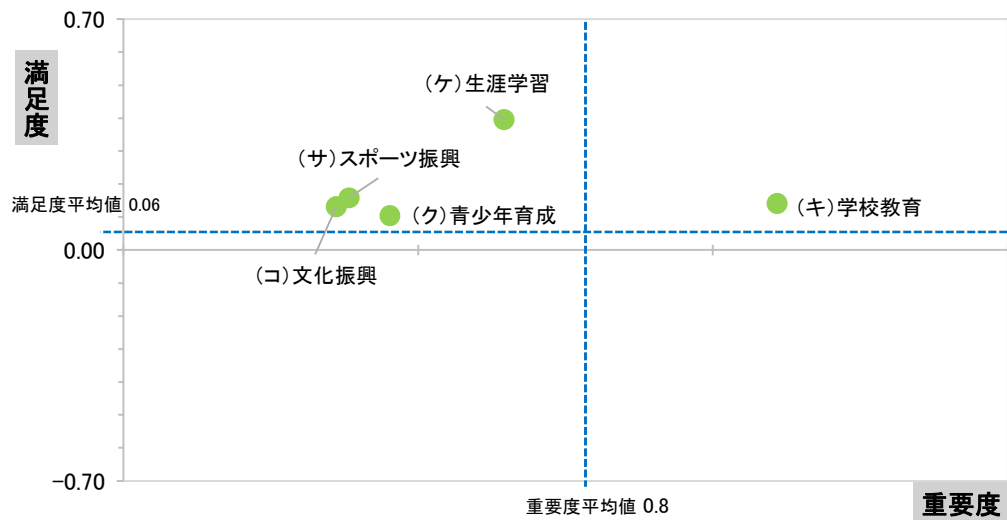


全体的な傾向を見ると、「第3章 自然と共生する住みやすいまち」は、「満足度は低い、重要度が高い」項目が多く、特に「道路」、「交通環境」、「住まい」、「上水道・下水処理」、「市街地整備」などの施策ニーズが高い傾向がみられます。また、「第1章 自分らしく生き生きと暮らせるまち」に分類される「医療」の施策ニーズも高いと言えます。

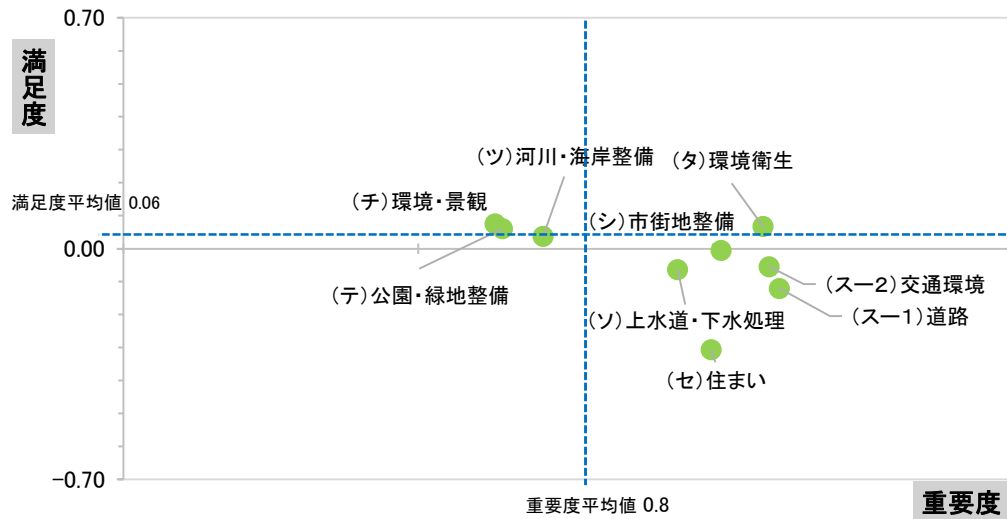
第1章 自分らしく生き生きと暮らせるまち



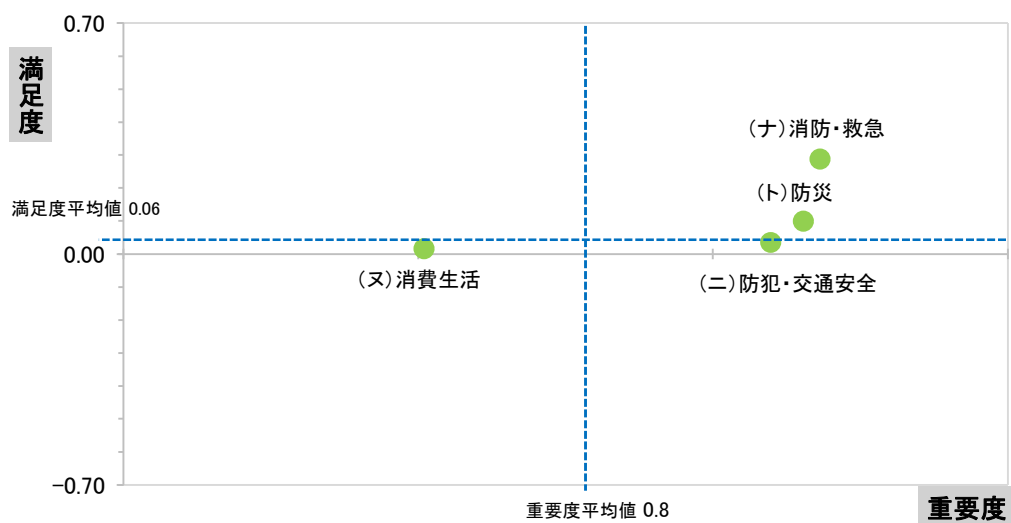
第2章 豊かな心と郷土愛を育むまち



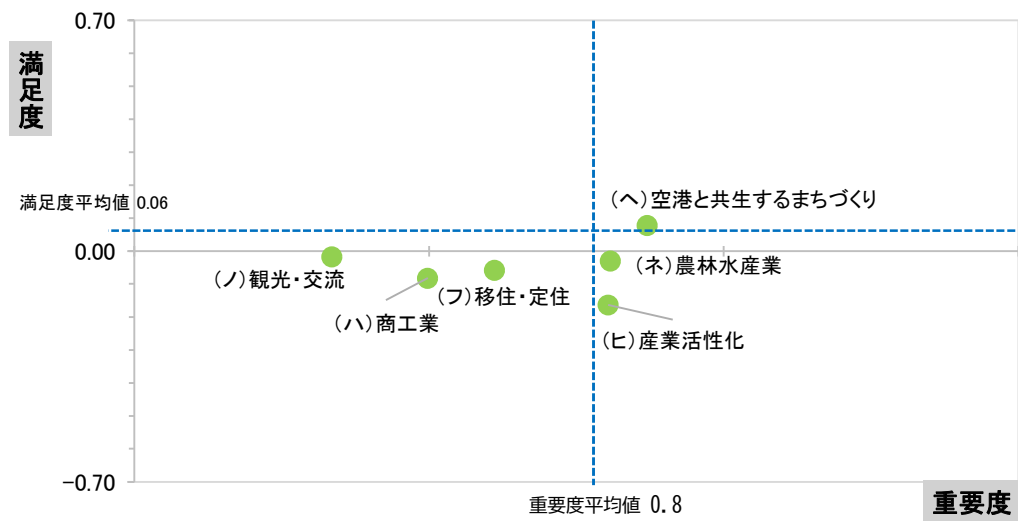
第3章 自然と共生する住みやすいまち



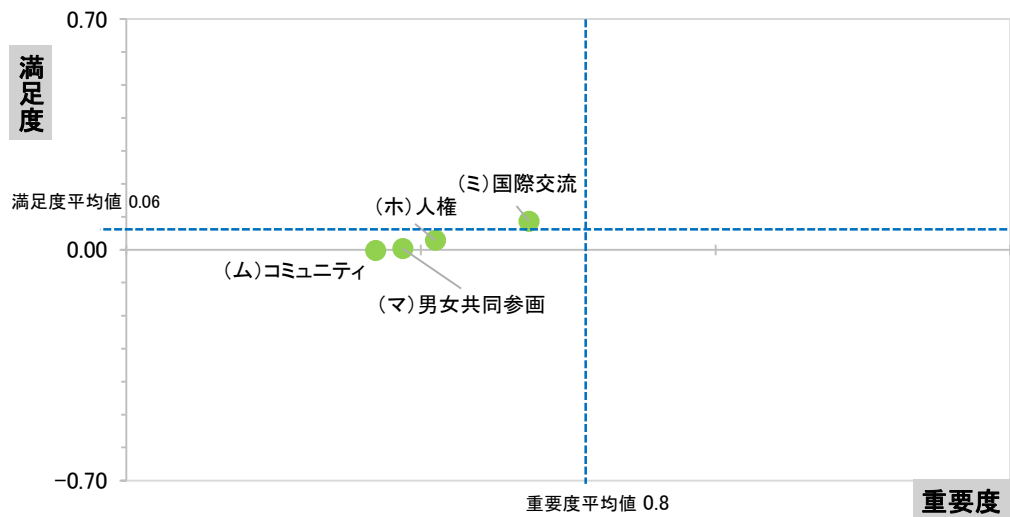
第4章 安全で安心して暮らせるまち



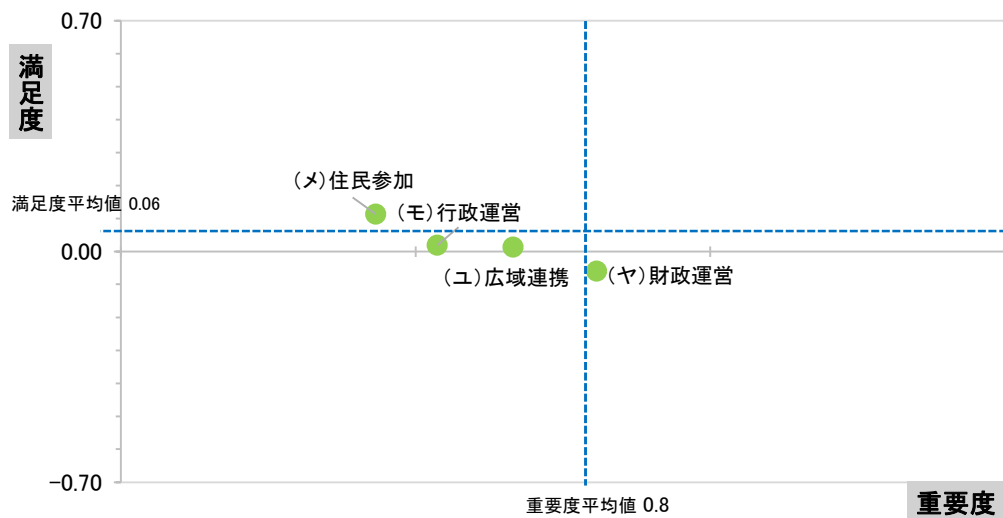
第5章 地域の特性を活かした活力あるまち



第6章 相互理解と協働による住民主体のまち



構想推進のために

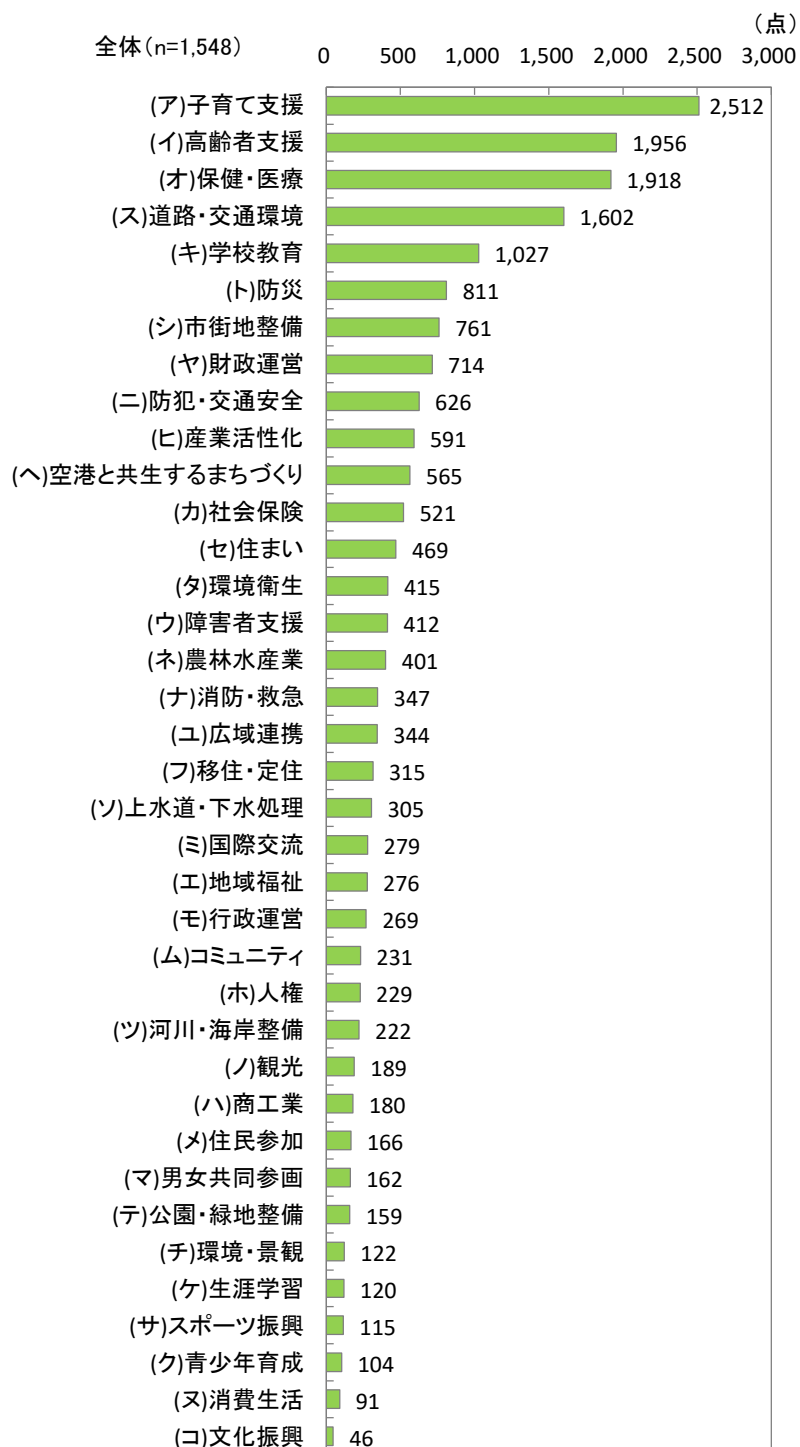


問 1 1. 未来の優先度 概ね 10 年後の横芝光町の未来を見据えて、町はどのような項目に優先的に取り組むとよいと思いますか。

(問 10 の (ア) ～ (コ) の番号から上位 5 つまで選んで記入)

《集計方法とグラフの見方》

未来の優先度の結果を分かりやすく示すために、優先度の「1 位・2 位・3 位・4 位・5 位」の回答数に、それぞれ「5・4・3・2・1」点を与え、その合計点をグラフで表しました。



未来を見据えて優先的に取り組む項目については、点数をみると、最多の「子育て支援」(2,512 点)、次いで「高齢者支援」(1,956 点)、「保健・医療」(1,918 点)となっています。また、「道路・交通環境」(1,602 点)や「学校教育」(1,027 点)も 1,000 点以上で、重視されています。他の回答は分散しており、子どもや高齢者への手厚い取り組みが期待されていることが分かります。

<属性別> (上位 3 位まで)

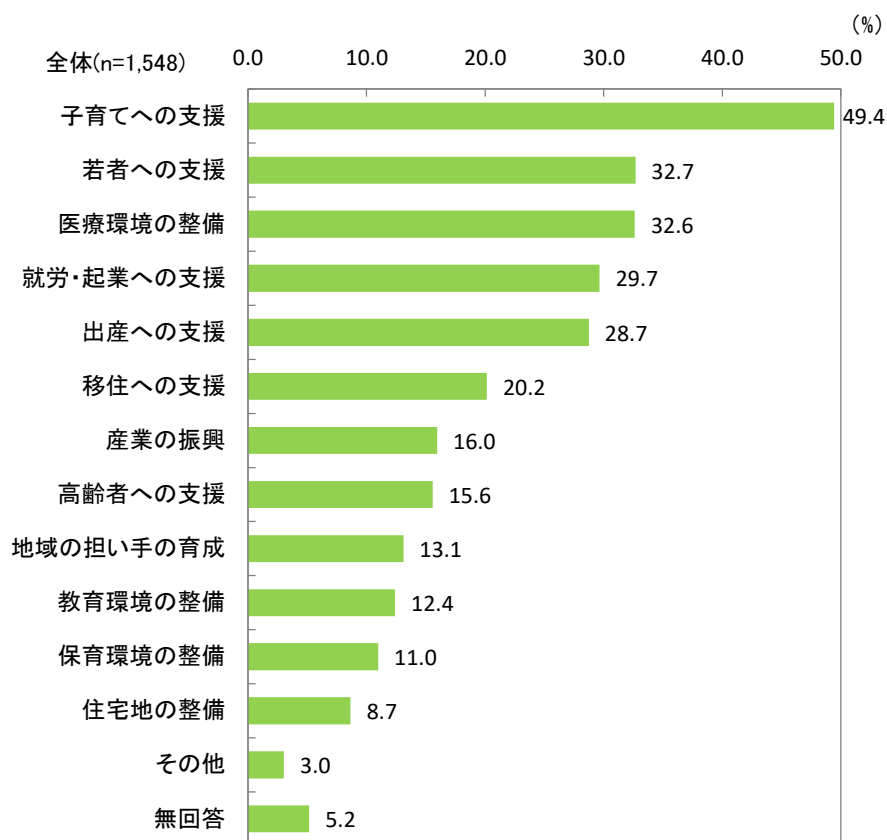
		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		(ア)子育て支援(2,512 点)	(イ)高齢者支援(1,956 点)	(オ)保健・医療(1,918 点)
年齢	16～19 歳 (n=74)	(ア)子育て支援(162 点)	(イ)高齢者支援(90 点)	(セ)住まい(88 点)
	20～29 歳 (n=166)	(ア)子育て支援(329 点)	(ス)道路・交通環境(227 点)	(オ)保健・医療(176 点)
	30～39 歳 (n=197)	(ア)子育て支援(453 点)	(オ)保健・医療(315 点)	(ス)道路・交通環境(240 点)
	40～49 歳 (n=217)	(ア)子育て支援(469 点)	(オ)保健・医療(238 点)	(イ)高齢者支援(230 点)
	50～59 歳 (n=255)	(イ)高齢者支援(399 点)	(ス)道路・交通環境(355 点)	(オ)保健・医療(350 点)
	60～69 歳 (n=300)	(イ)高齢者支援(450 点)	(ア)子育て支援(434 点)	(オ)保健・医療(384 点)
	70 歳以上 (n=332)	(イ)高齢者支援(417 点)	(オ)保健・医療(374 点)	(ア)子育て支援(361 点)
居住地区	横芝 (n=689)	(ア)子育て支援(1,159 点)	(イ)高齢者支援(901 点)	(オ)保健・医療(849 点)
	大総 (n=104)	(ア)子育て支援(143 点)	(ス)道路・交通環境(119 点)	(オ)保健・医療(117 点)
	上堺 (n=132)	(ア)子育て支援(221 点)	(オ)保健・医療(186 点)	(イ)高齢者支援(155 点)
	日吉 (n=85)	(イ)高齢者支援(138 点)	(ア)子育て支援(126 点)	(ス)道路・交通環境(120 点)
	南条 (n=91)	(ア)子育て支援(154 点)	(イ)高齢者支援(113 点)	(オ)保健・医療(112 点)
	東陽 (n=280)	(ア)子育て支援(400 点)	(イ)高齢者支援(368 点)	(オ)保健・医療(366 点)
	白浜 (n=153)	(ア)子育て支援(286 点)	(オ)保健・医療(162 点)	(ス)道路・交通環境(157 点)

年齢別にみると、10～40 歳代では、1 位が「子育て支援」ですが、50 代以上は「高齢者支援」が 1 位となっています。また、16～19 歳を除いた他の世代では、「保健・医療」が 2 位又は 3 位となっています。

居住地区別にみると、日吉地区を除いた他の地区では、1 位が「子育て支援」、2 位又は 3 位が「保健・医療」となっています。日吉地区で 1 位の「高齢者支援」は、横芝、上堺、南条、東陽地区において、2 位又は 3 位となっています。

6. これからのまちづくりについて

問1 2. **人口減少対策** 今後、全国的に人口減少・少子高齢化が進むことが予想されています。あなたは、人口減少対策として、どのような対策が重要だと思いますか。
(○印は3つまで)



人口減少への対策として、「子育てへの支援」が49.4%で最も多く、「若者への支援」(32.7%)、「医療環境の整備」(32.6%)、「就労・起業への支援」(29.7%)、「出産への支援」(28.7%)と続きます。その他も、「移住への支援」(20.2%)は20%を超えており、出産、子育て、就労も含めた若者への支援や、移住への支援が人口減少への対策として重要だと考えられています。

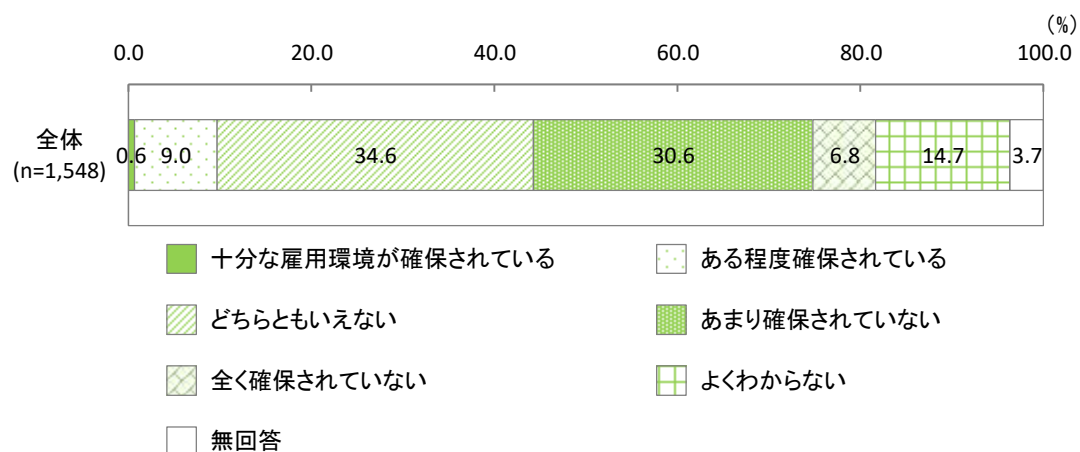
<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		子育てへの支援	若者への支援	医療環境の整備	就労・起業への支援	出産への支援	移住への支援	産業の振興	高齢者への支援	地域の担い手の育成	教育環境の整備	保育環境の整備	住宅地の整備	その他	無回答
全体 (n=1,548)		49.4	32.7	32.6	29.7	28.7	20.2	16.0	15.6	13.1	12.4	11.0	8.7	3.0	5.2
年齢	16～19 歳 (n=74)	60.8	48.6	23.0	28.4	37.8	14.9	8.1	6.8	10.8	13.5	13.5	12.2	1.4	2.7
	20～29 歳 (n=166)	62.7	50.0	21.1	25.3	33.1	10.2	7.8	14.5	10.2	16.9	11.4	6.6	4.2	5.4
	30～39 歳 (n=197)	59.9	39.6	22.8	24.4	40.1	17.3	7.6	11.7	6.6	10.2	11.2	8.1	2.5	8.6
	40～49 歳 (n=217)	53.9	34.1	26.7	29.5	32.7	18.9	16.1	13.4	8.3	16.1	7.8	13.8	4.1	5.1
	50～59 歳 (n=255)	46.3	21.2	37.3	32.2	25.5	23.1	19.6	20.0	12.2	12.9	11.4	8.2	2.4	4.3
	60～69 歳 (n=300)	42.3	25.3	38.0	33.7	21.3	23.0	17.3	16.0	18.0	11.7	12.0	7.0	3.3	6.0
	70 歳以上 (n=332)	40.1	31.0	41.9	30.4	24.4	23.8	22.3	17.5	18.7	9.3	11.1	7.8	2.1	3.6
居住地区	横芝 (n=689)	50.7	33.2	31.8	29.9	30.8	18.9	13.4	16.7	12.6	13.8	12.0	9.4	3.3	4.6
	大総 (n=104)	47.1	41.3	33.7	26.0	24.0	18.3	20.2	15.4	17.3	9.6	12.5	3.8	1.9	5.8
	上堺 (n=132)	52.3	26.5	31.8	35.6	25.8	30.3	15.2	13.6	15.9	8.3	12.1	6.8	1.5	3.8
	日吉 (n=85)	45.9	35.3	32.9	27.1	30.6	21.2	18.8	18.8	17.6	7.1	11.8	8.2	3.5	3.5
	南条 (n=91)	51.6	29.7	30.8	27.5	23.1	24.2	14.3	17.6	15.4	14.3	8.8	14.3	3.3	5.5
	東陽 (n=280)	46.4	31.8	36.1	31.8	26.4	19.3	17.1	13.6	9.6	12.5	8.2	9.3	3.2	7.5
	白浜 (n=153)	49.0	30.7	32.0	26.8	30.7	17.6	21.6	13.7	13.1	14.4	10.5	6.5	2.6	4.6

年齢別にみると、10～60 歳代では「子育てへの支援」が 1 位となっており、70 歳以上では「医療環境の整備」が 1 位となっています。次いで、10～40 歳代の比較的若い世代では、2 位と 3 位が「若者への支援」又は「出産への支援」である一方、50 歳以上では「医療環境の整備」と「就労・起業への支援」が高い割合を占めています。

居住地区別にみると、全地区で回答傾向は類似しており、1 位が「子育てへの支援」、2 位又は 3 位に「若者への支援」又は「医療環境の整備」が挙げられています。上堺地区においては、「就労・起業への支援」が高い割合を占めています。

問13. **雇用環境** あなたは、町内に雇用環境が確保されていると思いますか。
(○印は1つ)



町内の雇用環境について、「どちらともいえない」が34.6%で最多であり、「十分な雇用環境が確保されている」(0.6%)と「ある程度確保されている」(9.0%)を合わせて、雇用環境が確保されていると回答した人の割合は9.6%に留まっています。一方で、「あまり確保されていない」(30.6%)と「全く確保されていない」(6.8%)を合計すると37.4%を占めており、雇用環境が確保されていないと感じている人が多数を占めています。

<属性別> ※網掛けは各属性での最上位を表す

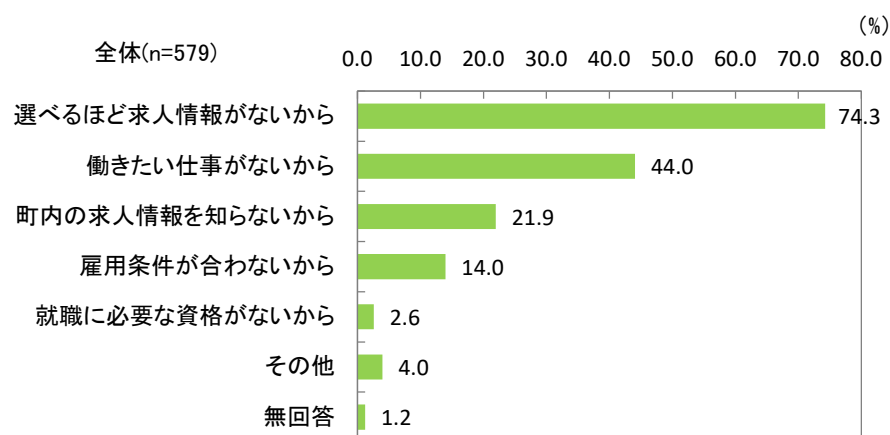
		十分な雇用環境が確保されている	ある程度確保されている	どちらともいえない	あまり確保されていない	全く確保されていない	よくわからない	無回答
全体 (n=1, 548)		0.6	9.0	34.6	30.6	6.8	14.7	3.7
年齢	16～19 歳 (n=74)	0.0	17.6	35.1	24.3	2.7	18.9	1.4
	20～29 歳 (n=166)	2.4	15.7	28.3	31.3	6.6	12.0	3.6
	30～39 歳 (n=197)	0.5	11.2	32.5	31.5	8.1	10.7	5.6
	40～49 歳 (n=217)	0.9	6.5	35.0	32.3	7.8	15.2	2.3
	50～59 歳 (n=255)	0.0	7.1	31.4	35.7	10.2	12.2	3.5
	60～69 歳 (n=300)	1.0	5.3	32.0	33.7	7.3	16.7	4.0
	70 歳以上 (n=332)	0.0	9.3	42.8	23.2	3.3	17.5	3.9
居住地区	横芝 (n=689)	0.4	10.3	35.8	27.9	6.2	15.7	3.6
	大総 (n=104)	0.0	14.4	34.6	26.0	9.6	12.5	2.9
	上堺 (n=132)	2.3	5.3	34.1	31.1	6.1	18.9	2.3
	日吉 (n=85)	2.4	12.9	36.5	27.1	2.4	15.3	3.5
	南条 (n=91)	1.1	4.4	40.7	30.8	7.7	13.2	2.2
	東陽 (n=280)	0.4	7.5	30.4	35.4	7.5	14.3	4.6
	白浜 (n=153)	0.0	6.5	32.7	37.3	9.8	9.2	4.6

年齢別にみると、いずれの世代においても「あまり確保されていない」又は「どちらともいえない」が高い割合を占めています。他の世代と比較して雇用されている割合が低い16～19歳と70歳以上では、10ポイント以上の差で「どちらとも言えない」が多いが、他の世代では、「あまり確保されていない」と「どちらとも言えない」の差は極わずかであることがわかります。

居住地区別にみると、横芝、大総、上堺、日吉、南条地区では「どちらとも言えない」が、東陽、白浜地区では「あまり確保されていない」が最も高くなっています。

問 13.で「あまり確保されていない」または「全く確保されていない」と回答した方

問 14. **確保されていない理由** 町内に雇用環境が確保されていないと思う理由は何ですか。(○印は2つまで)



町内の雇用環境が確保されていない理由として、「選べるほど求人情報がないから」が74.3%で突出して多く、「働きたい仕事がないから」(44.0%)、「町内の求人情報を知らないから」(21.9%)、「雇用条件が合わないから」(14.0%)が続きます。

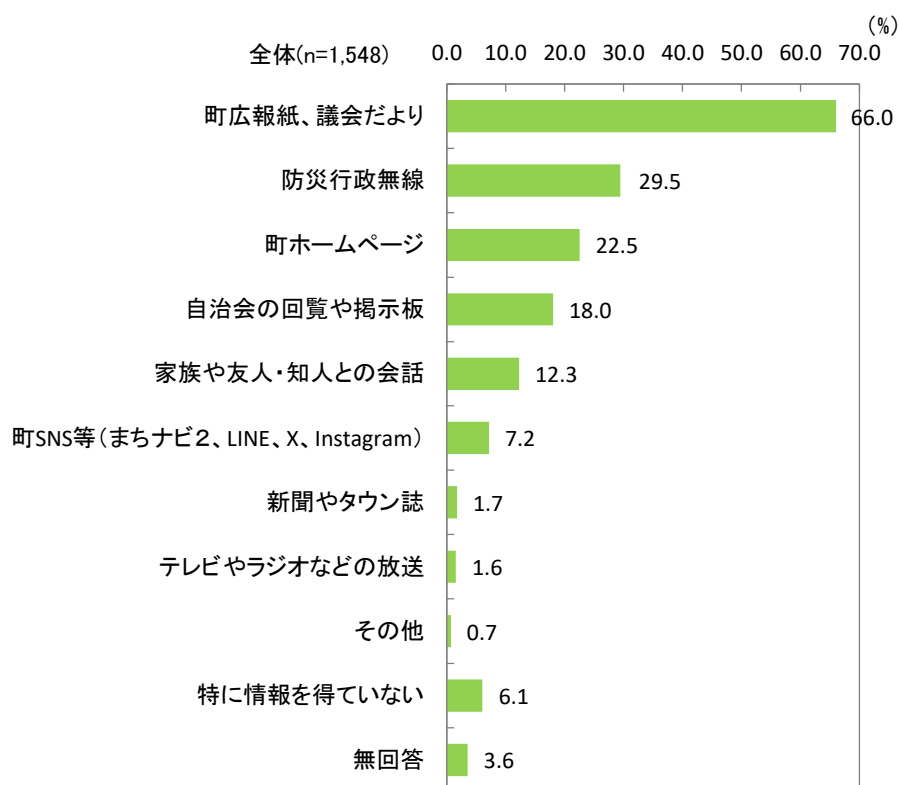
<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		選べるほど求人情報がないから	働きたい仕事がないから	町内の求人情報を知らないから	雇用条件が合わないから	就職に必要な資格がないから	その他	無回答
全体 (n=579)		74.3	44.0	21.9	14.0	2.6	4.0	1.2
年齢	16～19 歳 (n=20)	65.0	75.0	20.0	5.0	0.0	0.0	0.0
	20～29 歳 (n=63)	71.4	49.2	17.5	20.6	4.8	1.6	0.0
	30～39 歳 (n=78)	71.8	46.2	24.4	17.9	0.0	3.8	3.8
	40～49 歳 (n=87)	77.0	41.4	17.2	16.1	2.3	4.6	2.3
	50～59 歳 (n=117)	72.6	40.2	21.4	9.4	5.1	5.1	0.0
	60～69 歳 (n=123)	74.0	40.7	21.1	15.4	1.6	5.7	0.8
	70 歳以上 (n=88)	79.5	44.3	30.7	9.1	2.3	2.3	1.1
居住地区	横芝 (n=235)	73.6	40.0	23.4	14.5	1.7	4.7	2.1
	大総 (n=37)	64.9	40.5	29.7	18.9	2.7	2.7	0.0
	上堺 (n=49)	79.6	34.7	30.6	2.0	4.1	0.0	2.0
	日吉 (n=25)	80.0	44.0	28.0	12.0	0.0	4.0	0.0
	南条 (n=35)	71.4	45.7	17.1	22.9	5.7	5.7	0.0
	東陽 (n=120)	72.5	55.8	14.2	10.8	4.2	5.8	0.8
	白浜 (n=72)	79.2	47.2	18.1	19.4	1.4	1.4	0.0

年齢別にみると、全世代において概ね同様の回答傾向で、1位が「選べるほど求人情報がないから」、2位が「働きたい仕事がないから」、3位が「町内の求人情報を知らないから」となっています。16～19歳は、「働きたい仕事がないから」が最多となっています。

居住地区別にみると、いずれの地区も「選べるほど求人情報がないから」が最多で、次いで「働きたい仕事がないから」となっています。年齢や居住地区の属性に関わらず、同様の回答傾向であることがわかります。

問15. **行政情報** あなたは、町の行政情報をどのような方法で入手していますか。
(〇印は2つまで)



行政情報の入手方法については、「町広報紙、議会だより」が66.0%で突出して多く、「防災行政無線」(29.5%)、「町ホームページ」(22.5%)、「自治会の回覧や掲示板」(18.0%)と続きます。一方で、「町SNS等(まちナビ2、LINE、X、Instagram)」は7.2%と低く、SNSを通じて、住民に十分な情報が届いていないことが読み取れます。

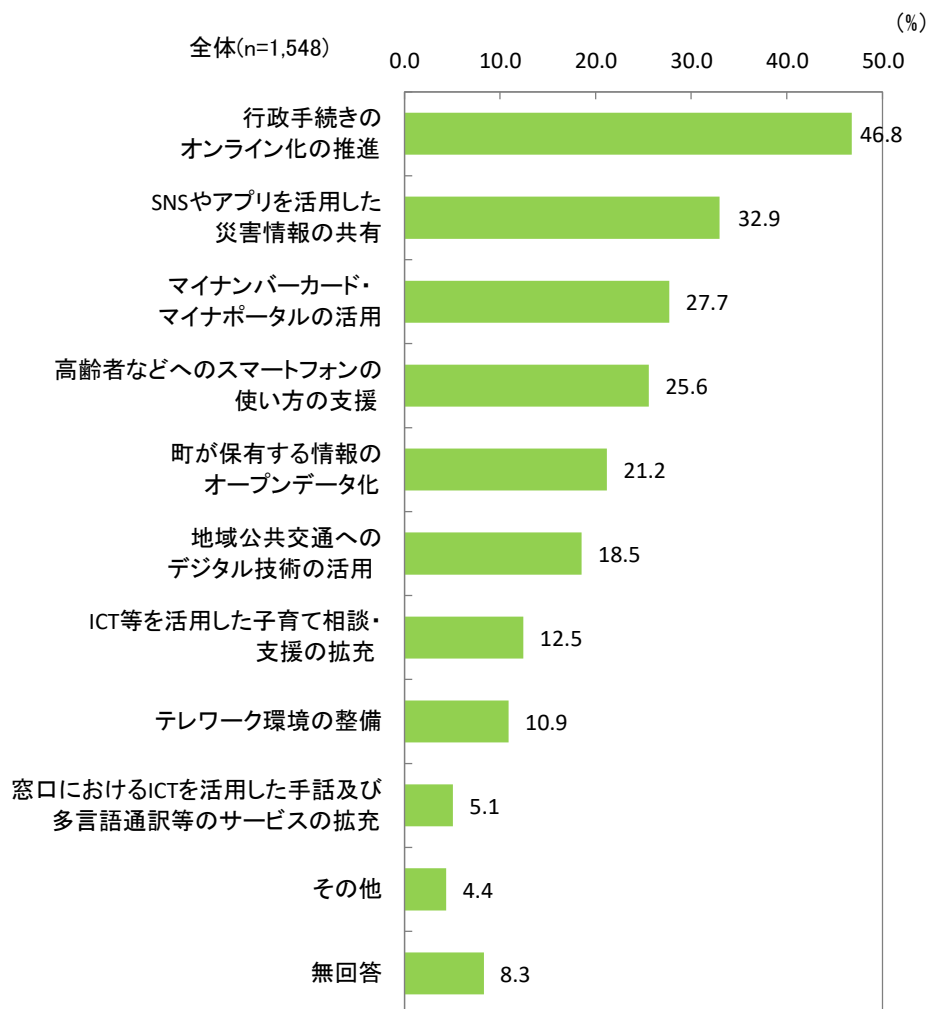
<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		町広報紙、議会だより	防災行政無線	町ホームページ	自治会の回覧や掲示板	家族や友人・知人との会話	町SNS等（まちナビ2、LINE、X、Instagram）	新聞やタウン誌	テレビやラジオなどの放送	その他	特に情報を得ていない	無回答
全体 (n=1,548)		66.0	29.5	22.5	18.0	12.3	7.2	1.7	1.6	0.7	6.1	3.6
年齢	16～19 歳 (n=74)	41.9	27.0	18.9	10.8	24.3	8.1	1.4	4.1	1.4	18.9	1.4
	20～29 歳 (n=166)	44.6	21.7	22.9	8.4	19.9	13.9	0.6	4.2	0.0	15.7	3.0
	30～39 歳 (n=197)	52.3	17.3	32.5	9.6	15.2	11.2	3.0	0.5	0.0	12.7	5.6
	40～49 歳 (n=217)	63.1	24.9	28.6	17.1	11.5	6.0	0.9	0.5	1.4	4.1	4.6
	50～59 歳 (n=255)	66.7	27.5	25.9	18.4	11.4	10.2	0.8	1.6	0.8	3.9	3.5
	60～69 歳 (n=300)	76.7	34.3	21.7	21.7	6.0	5.3	2.3	1.0	0.7	2.3	3.7
	70 歳以上 (n=332)	82.2	41.9	10.8	26.5	10.8	1.5	2.1	1.5	0.6	0.9	2.4
居住地区	横芝 (n=689)	61.1	24.7	24.8	20.2	12.3	7.8	1.9	1.6	0.9	7.7	3.6
	大総 (n=104)	73.1	38.5	13.5	25.0	11.5	4.8	1.0	1.9	0.0	6.7	1.9
	上堺 (n=132)	63.6	34.8	25.8	15.9	11.4	9.1	0.0	0.8	1.5	5.3	2.3
	日吉 (n=85)	68.2	38.8	15.3	15.3	15.3	5.9	1.2	3.5	0.0	2.4	4.7
	南条 (n=91)	73.6	39.6	14.3	16.5	13.2	11.0	1.1	3.3	0.0	3.3	1.1
	東陽 (n=280)	72.5	27.5	23.6	13.6	15.0	5.0	1.8	0.7	0.7	3.6	5.4
	白浜 (n=153)	69.3	33.3	22.2	17.0	5.9	7.2	2.6	1.3	0.0	7.2	2.6

年齢別にみると、いずれの世代においても、「町広報紙、議会だより」が最多となっており、次いで、「防災行政無線」も全世代において高い割合を占めています。このほか、「町ホームページ」は、20～60 歳代では2位又は3位を占めている一方、16～19 歳と70 歳以上では、上位を占めていないことがわかります。16～19 歳は「家族や友人・知人との会話」、60 歳以上は「自治会の回覧や掲示板」が他の世代と比べ高くなっています。

居住地区別にみると、全体的に同様の回答傾向で、「町広報紙、議会だより」が最多で、次いで、「防災行政無線」、「町ホームページ」、「自治会の回覧や掲示板」が高い割合を占めています。

問16. **デジタル化の推進** デジタル技術を活用して、住民サービスをより便利に、利用しやすくするために、今後優先的に取り組んでほしいものは何ですか。
(〇印は3つまで)



デジタル化の推進に関しては、「行政手続きのオンライン化の推進」が46.8%で最も多く、「SNSやアプリを活用した災害情報の共有」(32.9%)、「マイナンバーカード・マイナポータル」の活用」(27.7%)、「高齢者などへのスマートフォンの使い方の支援」(25.6%)と続き、すべて25%を超えています。町に対するデジタル化推進の期待が高いことがうかがえます。

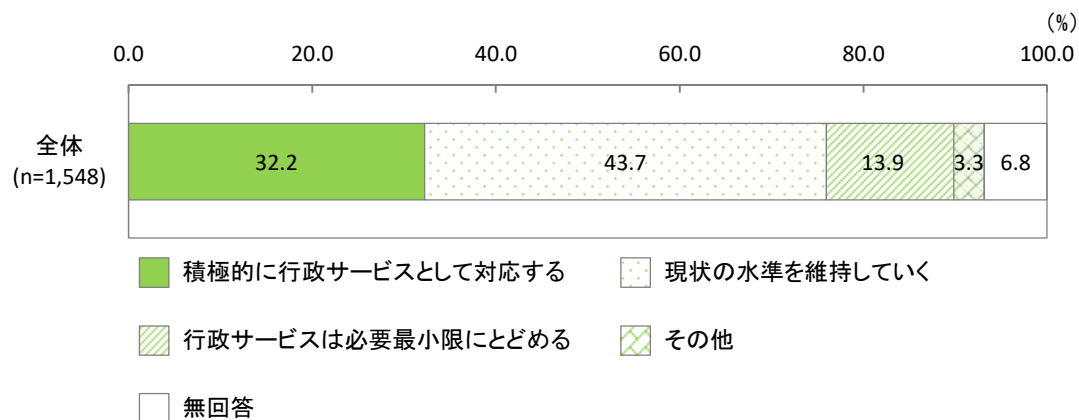
<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		行政手続きのオンライン化の推進	SNSやアプリを活用した災害情報の共有	マイナンバーカード・マイナポータルの活用	高齢者などへのスマートフォンの使い方の支援	町が保有する情報のオープンデータ化	地域公共交通へのデジタル技術の活用	ICT等を活用した子育て相談・支援の拡充	テレワーク環境の整備	窓口におけるICTを活用した手話及び多言語通訳等のサービスの拡充	その他	無回答
全体 (n=1,548)		46.8	32.9	27.7	25.6	21.2	18.5	12.5	10.9	5.1	4.4	8.3
年齢	16～19 歳 (n=74)	37.8	39.2	25.7	20.3	27.0	17.6	20.3	17.6	12.2	5.4	5.4
	20～29 歳 (n=166)	46.4	49.4	27.1	16.9	16.9	15.7	18.1	19.9	3.0	2.4	6.0
	30～39 歳 (n=197)	54.8	38.1	32.0	11.2	18.8	19.3	22.3	12.2	4.6	3.0	6.1
	40～49 歳 (n=217)	61.3	42.4	24.9	13.4	21.7	16.1	15.7	10.6	6.5	4.1	5.5
	50～59 歳 (n=255)	48.2	36.1	30.6	22.7	18.8	22.7	3.9	11.0	3.9	6.3	8.2
	60～69 歳 (n=300)	50.0	26.7	23.3	33.3	24.3	20.3	12.0	11.3	4.0	6.3	6.3
	70 歳以上 (n=332)	31.3	17.5	29.8	42.5	22.6	16.3	6.9	3.6	6.0	2.4	15.4
居住地区	横芝 (n=689)	47.5	34.4	28.9	26.1	22.4	16.3	12.8	9.9	5.2	4.2	7.3
	大総 (n=104)	48.1	32.7	26.9	32.7	18.3	18.3	16.3	7.7	6.7	3.8	8.7
	上堺 (n=132)	49.2	34.8	24.2	27.3	26.5	20.5	15.9	8.3	6.8	3.0	5.3
	日吉 (n=85)	50.6	25.9	23.5	23.5	22.4	18.8	12.9	5.9	7.1	5.9	9.4
	南条 (n=91)	52.7	29.7	30.8	30.8	18.7	24.2	8.8	13.2	2.2	4.4	7.7
	東陽 (n=280)	42.9	34.3	27.9	22.9	20.0	17.1	10.7	13.9	4.6	3.9	10.7
	白浜 (n=153)	44.4	30.7	25.5	19.0	17.0	25.5	10.5	15.0	3.9	5.2	11.1

年齢別にみると、いずれの世代においても「行政手続きのオンライン化の推進」は1位又は2位の高い割合を占めています。「SNSやアプリを活用した災害情報の共有」は、特に10～20歳代での割合が高く、70歳以上では、SNSやアプリで情報を得るための準備として、「高齢者などへのスマートフォンの使い方の支援」が最多となっています。

居住地区別にみると、全地区において、「行政手続きのオンライン化の推進」が最多となっています。次いで、「SNSやアプリを活用した災害情報の共有」と「マイナンバーカード・マイナポータル」の活用が高い割合を占めています。また、大総、上堺、日吉、南条地区では、「高齢者などへのスマートフォンの使い方の支援」も2位又は3位と上位に挙げられている一方、白浜地区では、「地域公共交通へのデジタル技術の活用」が同率3位となっています。

問17. **持続可能なまちづくり** 人口減少に伴い、町の財政状況がより厳しくなっていくことが予想されます。現在、町が提供している行政サービスの維持・充実について、今後どのように対応すべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを選んでください。（○印は1つ）



行政サービスについては、「現状の水準を維持していく」が43.7%で最も多くなっています。また、「行政サービスは必要最小限にとどめる」（13.9%）と比較して、「積極的に行政サービスとして対応する」（32.2%）は2倍以上多く、住民が行政サービスの維持・充実を望んでいることが読み取れます。

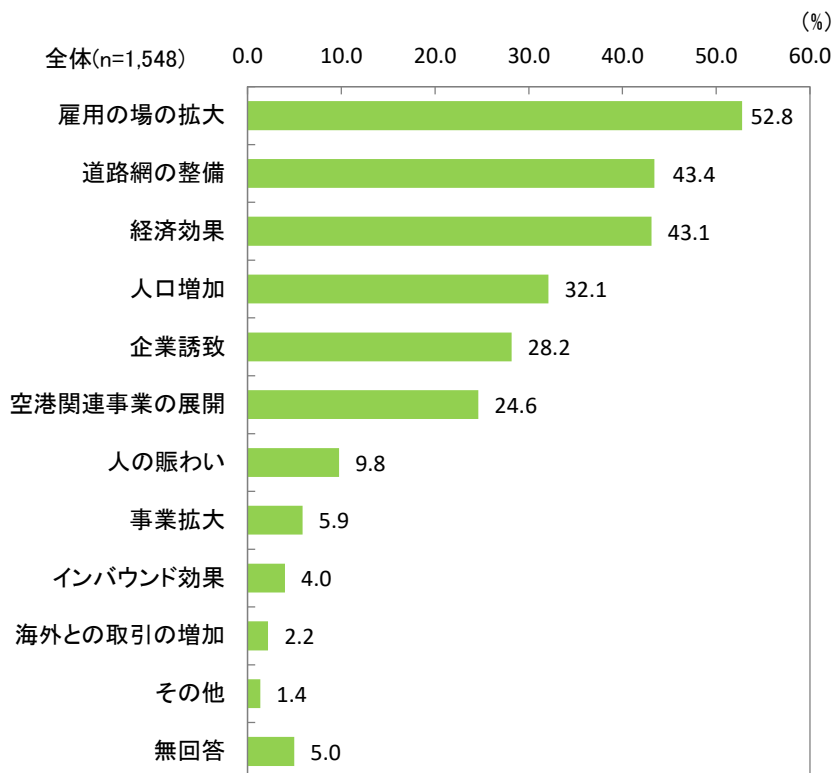
<属性別> ※網掛けは各属性での最上位を表す

		積極的に行政サービスとして対応する	現状の水準を維持していく	行政サービスは必要最小限にとどめる	その他	無回答
全体 (n=1,548)		32.2	43.7	13.9	3.3	6.8
年齢	16～19 歳 (n=74)	33.8	43.2	17.6	1.4	4.1
	20～29 歳 (n=166)	32.5	47.6	9.0	4.8	6.0
	30～39 歳 (n=197)	31.0	40.1	17.8	3.6	7.6
	40～49 歳 (n=217)	30.9	41.9	18.4	4.6	4.1
	50～59 歳 (n=255)	30.2	46.7	10.6	4.3	8.2
	60～69 歳 (n=300)	30.7	46.3	14.7	4.0	4.3
	70 歳以上 (n=332)	36.1	40.7	12.0	0.6	10.5
居住地区	横芝 (n=689)	33.8	43.3	13.5	3.2	6.2
	大総 (n=104)	43.3	34.6	11.5	2.9	7.7
	上堺 (n=132)	29.5	44.7	17.4	2.3	6.1
	日吉 (n=85)	28.2	52.9	11.8	1.2	5.9
	南条 (n=91)	30.8	53.8	8.8	3.3	3.3
	東陽 (n=280)	31.4	40.0	15.7	3.9	8.9
	白浜 (n=153)	25.5	46.4	15.0	4.6	8.5

年齢別にみると、いずれの世代においても、「現状の水準を維持していく」が最多となっています。また、20 歳代では「行政サービスは必要最小限にとどめる」が 9.0%で最も低いのに対して、30～40 歳代では 18%前後とおおよそ 2 倍の差があります。

居住地区別にみると、大総地区では、「積極的に行政サービスとして対応する」が最多であるのに対し、他の地区では、「現状の水準を維持していく」が最多となっています。

問18. **空港機能強化と圏央道開通** あなたが、成田国際空港との共生・共栄、圏央道の開通に対して期待することは何ですか。(〇印は3つまで)



成田空港機能強化と圏央道の開通に対して期待することとして、「雇用の場の拡大」が52.8%で最も多く、次いで「道路網の整備」(43.4%)、「経済効果」(43.1%)が同程度、「人口増加」(32.1%)が続いています。その他、「企業誘致」(28.2%)と「空港関連事業の展開」(24.6%)も、ともに20%を超えており、全体として、雇用が拡大し、道路が整備され、人や企業などが増え、産業が活性化することが期待されてます。

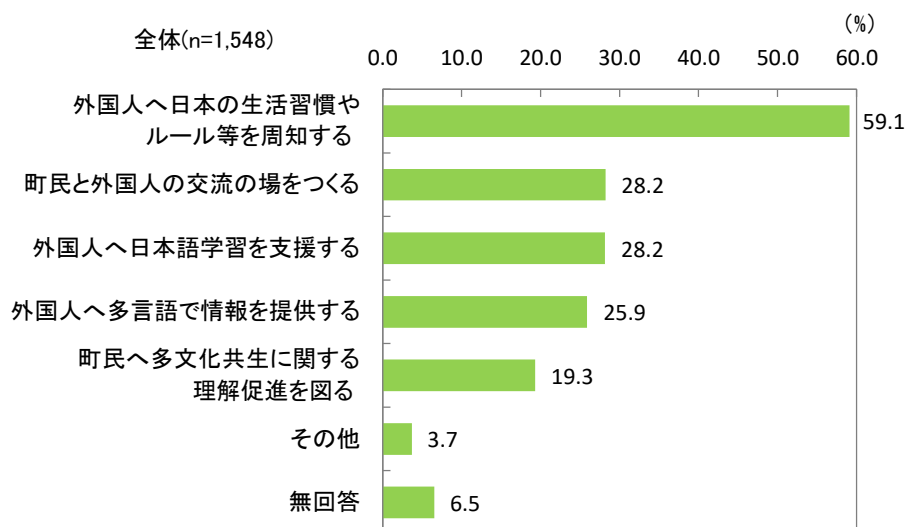
<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		雇用の場の拡大	道路網の整備	経済効果	人口増加	企業誘致	空港関連事業の展開	人の賑わい	事業拡大	インバウンド効果	海外との取引の増加	その他	無回答
全体 (n=1, 548)		52.8	43.4	43.1	32.1	28.2	24.6	9.8	5.9	4.0	2.2	1.4	5.0
年齢	16～19 歳 (n=74)	29.7	60.8	41.9	33.8	10.8	27.0	17.6	8.1	4.1	6.8	0.0	1.4
	20～29 歳 (n=166)	46.4	42.8	51.2	28.9	19.3	21.1	13.3	12.0	5.4	4.2	1.8	4.8
	30～39 歳 (n=197)	48.2	45.2	43.1	30.5	21.8	20.8	11.2	6.1	6.1	3.6	2.0	5.6
	40～49 歳 (n=217)	48.8	46.5	44.7	32.3	32.3	24.4	12.4	7.4	2.8	1.8	0.9	4.6
	50～59 歳 (n=255)	53.7	37.6	43.9	27.1	30.2	27.1	9.4	3.5	6.3	2.0	2.7	5.9
	60～69 歳 (n=300)	61.0	44.7	46.0	34.7	27.3	23.7	5.3	4.0	2.0	1.3	0.7	4.0
	70 歳以上 (n=332)	58.7	40.1	34.9	36.1	36.7	26.8	7.8	4.5	2.7	0.6	0.9	6.0
居住地区	横芝 (n=689)	50.7	42.8	43.3	33.2	25.8	23.8	10.0	6.7	3.8	3.0	1.9	5.2
	大総 (n=104)	57.7	40.4	51.0	26.9	27.9	24.0	6.7	4.8	1.9	1.9	1.0	3.8
	上堺 (n=132)	44.7	41.7	49.2	34.8	34.1	25.8	9.1	4.5	7.6	2.3	2.3	3.0
	日吉 (n=85)	51.8	41.2	38.8	32.9	24.7	35.3	9.4	4.7	3.5	2.4	0.0	3.5
	南条 (n=91)	58.2	52.7	38.5	30.8	31.9	30.8	13.2	7.7	4.4	1.1	2.2	3.3
	東陽 (n=280)	58.6	45.7	43.9	31.8	27.9	21.8	7.1	6.1	1.8	1.8	0.7	6.1
	白浜 (n=153)	55.6	41.8	37.9	28.8	35.3	22.9	11.8	3.3	6.5	0.0	0.0	5.9

年齢別にみると、30 歳代以上では、「雇用の場の拡大」、16～19 歳では「道路網の整備」、20 歳代では「経済効果」が最多となっています。全世代において、概ねこれらいずれかの選択肢が上位を占めています。このほか、70 歳以上では「企業誘致」が 36.7%と他の世代と比較して高い割合となっています。

居住地区別にみると、全体的に回答傾向は類似しており、「雇用の場の拡大」が最多で、「道路網の整備」と「経済効果」が高い割合を占めています。

問19. **外国人住民との共生** あなたは、外国人住民との共生に必要な対策は何だと思えますか。(〇印は2つまで)



外国人住民との共生に必要な対策として、「外国人へ日本の生活習慣やルール等を周知する」が59.1%と突出して多く、「町民と外国人の交流の場をつくる」(28.2%)、「外国人へ日本語学習を支援する」(28.2%)、「外国人へ多言語で情報を提供する」(25.9%)が25%を超えています。外国人住民との共生に対して、外国人への情報提供のみならず、日本語学習を含め、交流する場が必要だと考えている人が多いことが読み取れます。

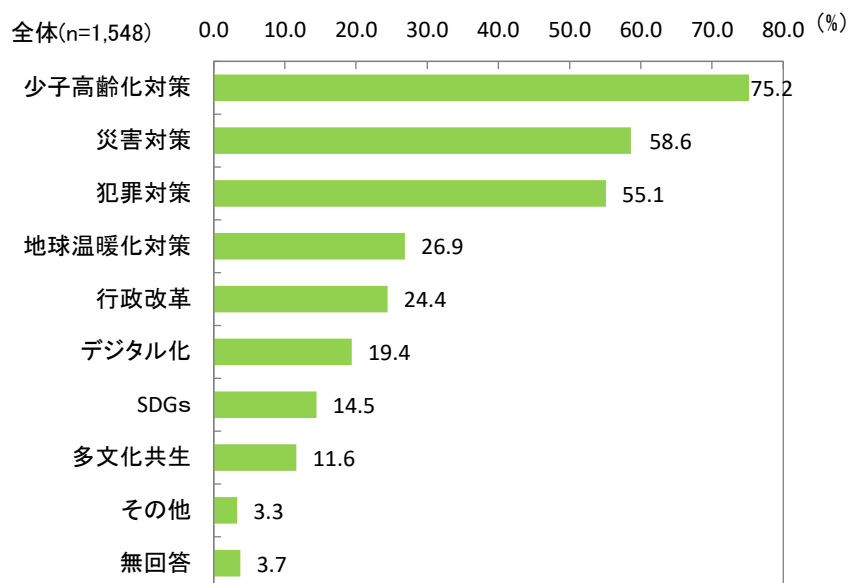
<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		外国人へ日本の生活習慣やルール等を周知する	町民と外国人の交流の場をつくる	外国人へ日本語学習を支援する	外国人へ多言語で情報を提供する	町民へ多文化共生に関する理解促進を図る	その他	無回答
全体 (n=1,548)		59.1	28.2	28.2	25.9	19.3	3.7	6.5
年齢	16～19 歳 (n=74)	58.1	21.6	33.8	36.5	20.3	2.7	1.4
	20～29 歳 (n=166)	60.8	26.5	29.5	29.5	15.1	4.8	4.8
	30～39 歳 (n=197)	55.8	23.9	26.4	34.0	19.3	5.1	6.6
	40～49 歳 (n=217)	56.2	24.0	28.1	32.3	19.8	4.6	5.1
	50～59 歳 (n=255)	56.1	24.7	28.2	28.2	19.6	3.5	7.8
	60～69 歳 (n=300)	62.7	33.3	28.7	20.3	19.0	4.0	5.0
	70 歳以上 (n=332)	60.8	34.3	26.8	15.7	21.1	1.5	9.9
居住地区	横芝 (n=689)	59.5	26.7	29.2	27.3	18.0	3.9	6.7
	大総 (n=104)	54.8	27.9	33.7	21.2	26.0	1.9	3.8
	上堺 (n=132)	58.3	28.8	24.2	22.7	24.2	3.0	6.8
	日吉 (n=85)	57.6	35.3	21.2	23.5	23.5	3.5	5.9
	南条 (n=91)	67.0	33.0	30.8	27.5	22.0	3.3	2.2
	東陽 (n=280)	58.2	28.6	28.6	26.4	15.7	2.9	8.6
	白浜 (n=153)	59.5	26.8	25.5	25.5	19.0	5.9	6.5

年齢別にみると、全世代において「外国人へ日本の生活習慣やルール等を周知する」が最多となっています。次いで10～50歳代では「外国人へ多言語で情報を提供する」、「外国人へ日本語学習を支援する」が上位を占めている一方、60歳以上では「町民と外国人の交流の場をつくる」が2位となっています。

居住地区別にみると、全地区において「外国人へ日本の生活習慣やルール等を周知する」が最多となっています。次いで、「町民と外国人の交流の場をつくる」と「外国人へ日本語学習を支援する」が上位を占めています。

問20. **新たな社会課題** 社会を取り巻く新たな課題のうち、今後10年間で、町が積極的に取り組むべきと思うものは何ですか。(〇印はいくつでも)



町が積極的に取り組むべき新たな社会課題として、「少子高齢化対策」が75.2%で最も多く、「災害対策」(58.6%)、「犯罪対策」(55.1%)が半数を超えています。住民一人ひとりの日常生活に密接に関連した社会課題が上位を占めています。

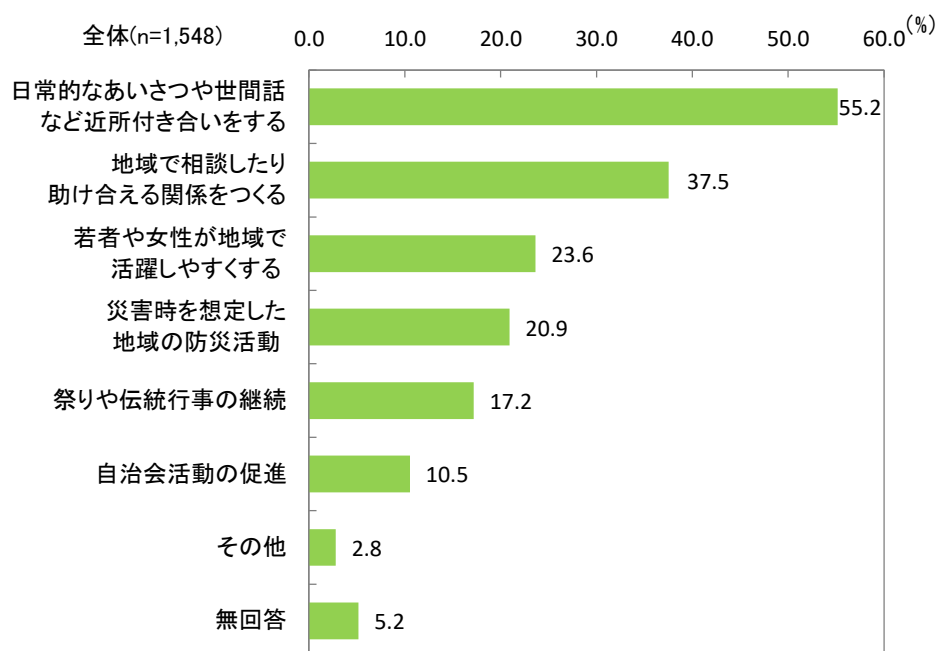
<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		少 子 高 齢 化 対 策	災 害 対 策	犯 罪 対 策	地 球 温 暖 化 対 策	行 政 改 革	デ ジ タ ル 化	SDGs	多 文 化 共 生	そ の 他	無 回 答
全体 (n=1,548)		75.2	58.6	55.1	26.9	24.4	19.4	14.5	11.6	3.3	3.7
年 齢	16～19 歳 (n=74)	77.0	40.5	44.6	25.7	17.6	35.1	21.6	13.5	1.4	1.4
	20～29 歳 (n=166)	78.9	56.6	50.6	22.3	25.9	22.9	18.7	12.0	4.8	3.0
	30～39 歳 (n=197)	78.7	51.3	54.8	17.8	24.4	27.4	12.2	14.7	4.1	5.1
	40～49 歳 (n=217)	73.3	59.9	53.9	24.4	21.2	25.3	16.1	12.0	3.7	4.1
	50～59 歳 (n=255)	67.8	59.2	58.8	25.5	27.8	18.8	14.9	12.5	3.1	4.7
	60～69 歳 (n=300)	76.0	61.0	58.7	32.3	25.0	18.0	14.7	12.0	4.0	2.7
	70 歳以上 (n=332)	77.1	64.5	54.8	32.8	24.4	7.5	10.5	8.1	1.5	3.9
居 住 地 区	横芝 (n=689)	72.3	58.3	56.7	26.4	25.7	20.6	14.4	11.2	3.2	4.2
	大総 (n=104)	80.8	60.6	60.6	28.8	26.9	14.4	10.6	8.7	3.8	1.9
	上堺 (n=132)	74.2	64.4	59.1	31.8	25.8	18.9	14.4	10.6	2.3	1.5
	日吉 (n=85)	76.5	56.5	55.3	22.4	17.6	22.4	15.3	17.6	0.0	3.5
	南条 (n=91)	84.6	69.2	64.8	33.0	22.0	18.7	13.2	15.4	3.3	1.1
	東陽 (n=280)	75.0	53.9	49.3	26.1	25.7	16.4	13.6	11.1	4.3	5.4
	白浜 (n=153)	79.1	59.5	48.4	24.2	20.3	21.6	19.6	12.4	3.9	3.3

年齢別にみると、全体として回答傾向は類似しており、「少子高齢化対策」が1位、「災害対策」と「犯罪対策」が2位又は3位の上位を占めています。特に、10～30歳代の若い世代では、「少子高齢化対策」と2位の差が20ポイント以上あり、少子高齢化対策は、町が積極的に取り組むべき課題だと多くの人が感じていると読み取れます。

居住地区別にみると、全地区において回答傾向は類似しており、「少子高齢化対策」が70%を超え1位、「災害対策」が2位、「犯罪対策」が3位となっています。

問21. **コミュニティ** あなたは、近所や地域における「人と人とのつながり」を維持していくために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇印は2つまで)



コミュニティの人と人とのつながりを維持していくために必要なこととして、「日常的なあいさつや世間話など近所付き合いをする」が 55.2%で最も多く、「地域で相談したり助け合える関係をつくる」(37.5%)、「若者や女性が地域で活躍しやすくする」(23.6%)、「災害時を想定した地域の防災活動」(20.9%)が続きます。日常的な交流・助け合いや、若者や女性が参加しやすい地域づくりが必要だと認識されていることが分かります。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		所付き合いをする	日常的なあいさつや世間話など近	地域で相談したり助け合える関係をつくる	若者や女性が地域で活躍しやすくする	災害時を想定した地域の防災活動	祭りや伝統行事の継続	自治会活動の促進	その他	無回答
全体 (n=1, 548)		55.2	37.5	23.6	20.9	17.2	10.5	2.8	5.2	
年齢	16～19 歳 (n=74)	58.1	29.7	28.4	12.2	32.4	4.1	2.7	2.7	
	20～29 歳 (n=166)	47.6	26.5	33.7	20.5	32.5	4.2	3.0	4.8	
	30～39 歳 (n=197)	50.3	25.4	27.9	26.9	22.8	5.6	4.1	7.1	
	40～49 歳 (n=217)	53.5	35.0	23.5	20.3	19.4	6.5	3.2	5.5	
	50～59 歳 (n=255)	56.5	42.0	17.6	20.4	11.0	12.9	2.7	6.7	
	60～69 歳 (n=300)	56.7	45.3	22.0	19.7	10.7	12.3	3.3	3.7	
	70 歳以上 (n=332)	60.2	43.1	20.8	21.7	11.7	16.9	1.2	4.8	
居住地区	横芝 (n=689)	53.8	38.6	23.5	21.0	17.1	11.0	3.2	5.1	
	大総 (n=104)	52.9	40.4	27.9	26.0	14.4	10.6	1.0	2.9	
	上堺 (n=132)	56.1	41.7	23.5	23.5	15.9	9.8	3.8	2.3	
	日吉 (n=85)	58.8	43.5	23.5	17.6	9.4	17.6	0.0	4.7	
	南条 (n=91)	57.1	39.6	27.5	20.9	17.6	12.1	3.3	3.3	
	東陽 (n=280)	54.6	32.9	20.4	20.4	20.7	8.6	2.9	7.9	
	白浜 (n=153)	60.1	32.7	26.1	19.6	17.0	5.9	2.0	5.9	

年齢別にみると、全世代において「日常的なあいさつや世間話など近所付き合いをする」が最多となっています。2位以降は、各世代で回答傾向に違いがみられ、16～19歳では「祭りや伝統行事の継続」、20～30歳代では「若者や女性が地域で活躍しやすくする」、40歳以上では「地域で相談したり助け合える関係をつくる」が次に高くなっています。

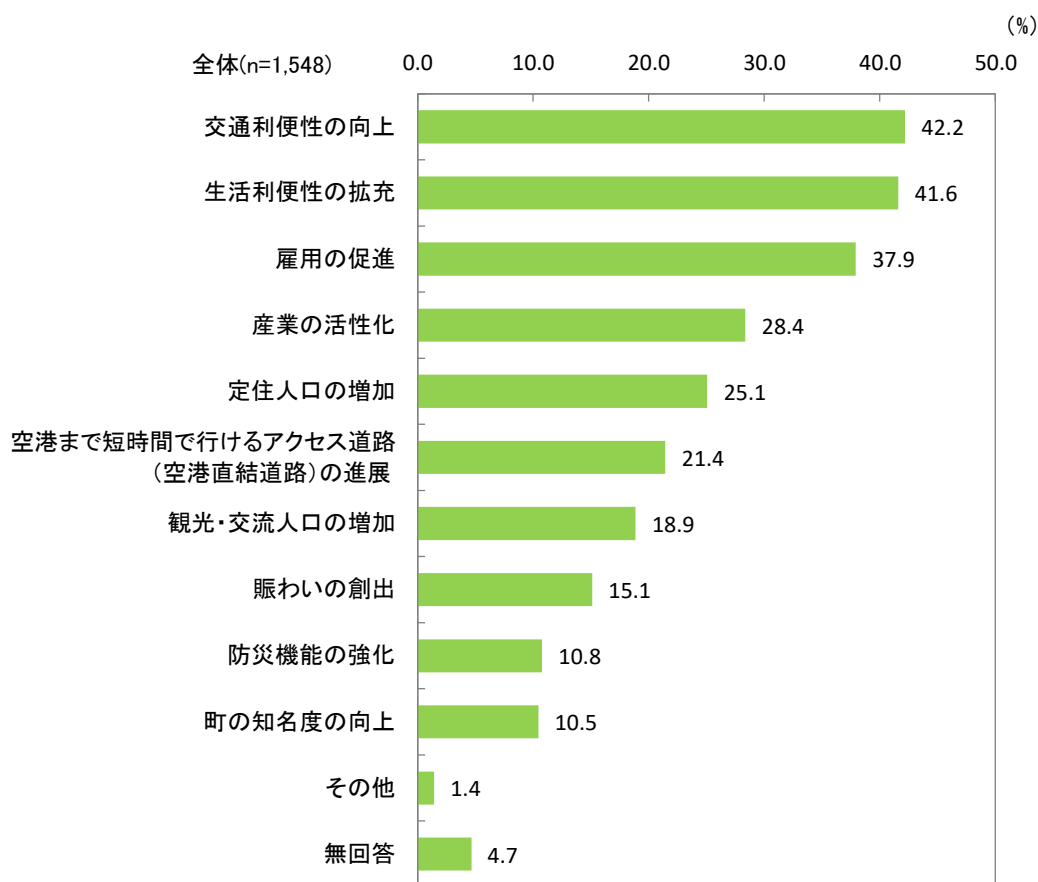
居住地区別にみると、全世代において「日常的なあいさつや世間話など近所付き合いをする」が最多で、次いで、「地域で相談したり助け合える関係をつくる」、「若者や女性が地域で活躍しやすくする」が上位を占めています。

7. 横芝光インターチェンジ周辺開発について

問22. 横芝光町では、銚子連絡道路の横芝光インターチェンジ周辺に産業拠点※を整備するため現在調査を進めています。次の（１）と（２）にお答えください。

（※産業拠点とは、商業施設・観光施設・工場などが集積するエリア）

（１）**期待する項目** 「横芝光インターチェンジ周辺開発」が進められた場合、あなたはどのような効果を期待しますか。（○印は3つまで）



期待する効果として、「交通利便性の向上」（42.2%）と「生活利便性の拡充」（41.6%）が40%を超えて多く、「雇用の促進」（37.9%）、「産業の活性化」（28.4%）が続きます。生活のしやすさや、まちの産業の活性化といった効果が望まれています。

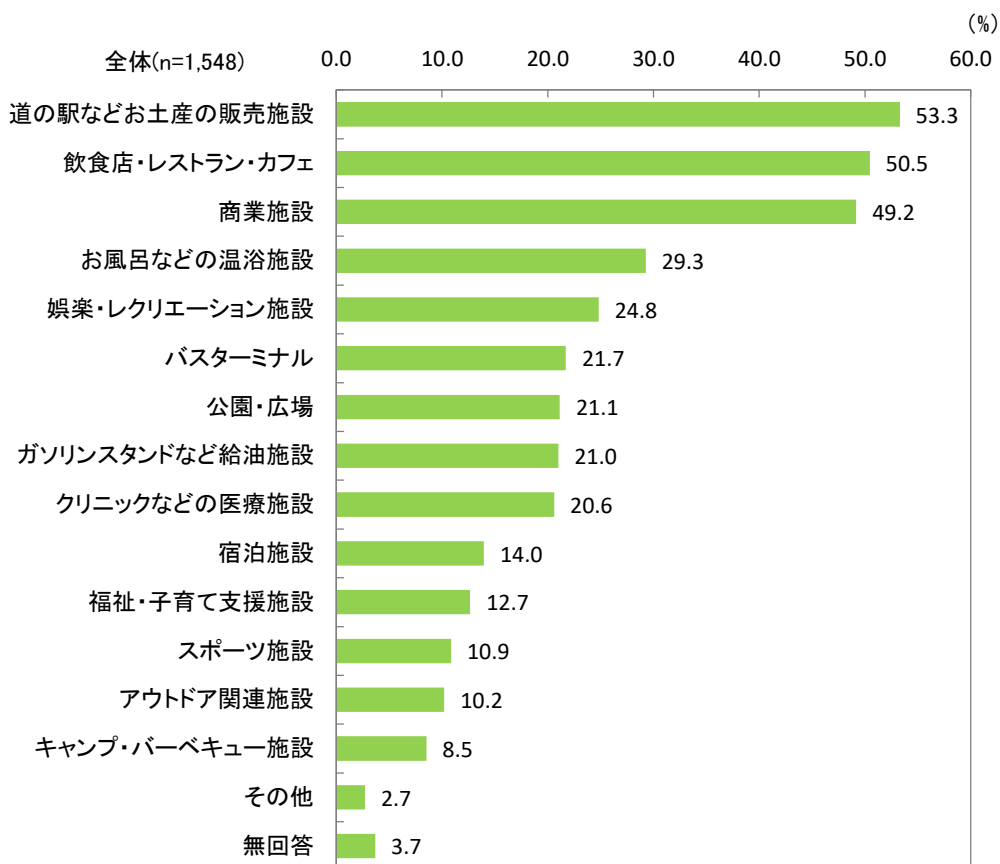
<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		交通利便性の向上	生活利便性の拡充	雇用の促進	産業の活性化	定住人口の増加	道路（空港直結道路）の進展	空港まで短時間で行けるアクセス	観光・交流人口の増加	賑わいの創出	防災機能の強化	町の知名度の向上	その他	無回答
全体 (n=1, 548)		42. 2	41. 6	37. 9	28. 4	25. 1	21. 4	18. 9	15. 1	10. 8	10. 5	1. 4	4. 7	
年齢	16～19 歳 (n=74)	55. 4	44. 6	23. 0	21. 6	14. 9	25. 7	14. 9	14. 9	12. 2	17. 6	4. 1	2. 7	
	20～29 歳 (n=166)	43. 4	41. 0	31. 9	18. 7	22. 3	29. 5	22. 9	18. 7	10. 2	12. 7	1. 8	4. 2	
	30～39 歳 (n=197)	40. 1	50. 3	28. 9	23. 9	21. 8	21. 3	21. 3	18. 8	11. 2	11. 2	2. 0	5. 6	
	40～49 歳 (n=217)	37. 8	42. 9	37. 8	29. 0	20. 3	26. 7	22. 6	16. 6	10. 1	11. 5	1. 4	4. 1	
	50～59 歳 (n=255)	48. 6	41. 6	39. 6	26. 3	23. 1	18. 4	20. 4	12. 2	9. 4	8. 2	0. 8	5. 9	
	60～69 歳 (n=300)	43. 3	43. 0	44. 0	34. 0	30. 7	20. 3	13. 3	13. 3	8. 3	6. 3	1. 3	2. 3	
	70 歳以上 (n=332)	37. 0	34. 3	42. 2	32. 8	30. 7	16. 6	17. 8	14. 5	13. 9	11. 7	0. 9	6. 3	
居住地区	横芝 (n=689)	43. 3	40. 9	37. 2	28. 0	25. 4	21. 0	18. 9	14. 7	10. 4	11. 9	1. 7	4. 6	
	大総 (n=104)	44. 2	43. 3	42. 3	35. 6	22. 1	16. 3	11. 5	18. 3	7. 7	11. 5	0. 0	4. 8	
	上堺 (n=132)	41. 7	39. 4	31. 8	30. 3	26. 5	22. 7	20. 5	15. 2	15. 2	9. 8	3. 0	0. 8	
	日吉 (n=85)	31. 8	43. 5	37. 6	25. 9	21. 2	21. 2	18. 8	21. 2	5. 9	7. 1	0. 0	3. 5	
	南条 (n=91)	42. 9	48. 4	40. 7	23. 1	27. 5	24. 2	14. 3	15. 4	13. 2	14. 3	1. 1	3. 3	
	東陽 (n=280)	45. 7	42. 5	39. 6	28. 9	22. 9	24. 3	19. 3	12. 9	10. 4	8. 2	1. 1	6. 8	
	白浜 (n=153)	35. 3	39. 2	39. 2	26. 8	29. 4	20. 3	24. 2	17. 0	12. 4	7. 8	1. 3	5. 2	

年齢別にみると、最多の項目については、各世代で回答傾向に違いがみられ、10～20 歳代および 50 歳代では「交通利便性の向上」、30～40 歳代では「生活利便性の拡充」、60 歳以上では「雇用の促進」が最も多くなっています。一方で、2 位、3 位の項目も含めた上位の回答は、概ね「交通利便性の向上」、「生活利便性の拡充」、「雇用の促進」のいずれかとなっています。

居住地区別にみると、いずれの地区においても、「交通利便性の向上」、「生活利便性の拡充」、「雇用の促進」が上位を占めており、それぞれの回答割合は 30～40% 台であり、いずれも同程度に効果を期待していることが読み取れます。日吉地区においては、1 位の「生活利便性の拡充」と 3 位の「交通利便性の向上」の間に 10 ポイント以上の差があり、より「生活利便性の拡充」に期待していることがわかります。

- (2) **必要だと思われる施設** 工場や物流関連施設のほか、横芝光インターチェンジ周辺に必要なと思われる施設（店舗の種類等）を選んでください。（〇印はいくつでも）



必要だと思われる施設として、「道の駅などお土産の販売施設」（53.3%）、「飲食店・レストラン・カフェ」（50.5%）、「商業施設」（49.2%）が50%程度で多く、次いで「お風呂などの温浴施設」（29.3%）、「娯楽・レクリエーション施設」（24.8%）となっています。道の駅など住民だけでなく、町外からの来訪者も利用できるような施設が望まれています。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		道の駅などお土産の販売施設	飲食店・レストラン・カフェ	商業施設	お風呂などの温浴施設	娯楽・レクリエーション施設	バスターミナル	公園・広場	ガソリンスタンドなど給油施設
全体 (n=1,548)		53.3	50.5	49.2	29.3	24.8	21.7	21.1	21.0
年齢	16～19 歳 (n=74)	41.9	67.6	40.5	29.7	40.5	23.0	17.6	25.7
	20～29 歳 (n=166)	42.8	57.8	48.8	39.8	33.7	20.5	19.9	31.3
	30～39 歳 (n=197)	51.3	51.3	55.8	31.0	29.4	19.3	32.0	27.9
	40～49 歳 (n=217)	51.2	57.1	57.1	33.6	29.0	23.0	21.7	23.5
	50～59 歳 (n=255)	60.8	51.8	47.8	31.8	25.9	23.9	21.2	22.0
	60～69 歳 (n=300)	52.7	41.3	48.0	25.3	17.3	21.7	20.0	16.7
	70 歳以上 (n=332)	58.4	44.6	44.3	21.7	17.8	20.8	16.9	12.0
居住地区	横芝 (n=689)	54.4	49.5	47.6	32.8	27.4	21.5	22.4	18.4
	大総 (n=104)	53.8	48.1	50.0	33.7	15.4	32.7	24.0	17.3
	上堺 (n=132)	57.6	52.3	55.3	25.0	25.0	21.2	16.7	23.5
	日吉 (n=85)	50.6	50.6	49.4	21.2	25.9	15.3	22.4	24.7
	南条 (n=91)	57.1	49.5	58.2	29.7	19.8	25.3	24.2	27.5
	東陽 (n=280)	50.4	50.4	48.9	26.1	23.2	20.0	21.8	21.8
	白浜 (n=153)	51.6	55.6	46.4	23.5	25.5	19.6	14.4	27.5

年齢別にみると、世代によって最多の項目が異なっており、10～20 歳代と 40 歳代では「飲食店・レストラン・カフェ」、30～40 歳代では「商業施設」、50 歳以上では「道の駅などお土産の販売施設」となっています。各世代の 2 位、3 位も概ね「飲食店・レストラン・カフェ」、「商業施設」、「道の駅などお土産の販売施設」のいずれかであり、順位は異なるものの、同じ項目が高い割合を占めています。このほか、子育て世帯である 30 歳代では「公園・広場」が全体回答と比較して、約 10 ポイント高くなっています。

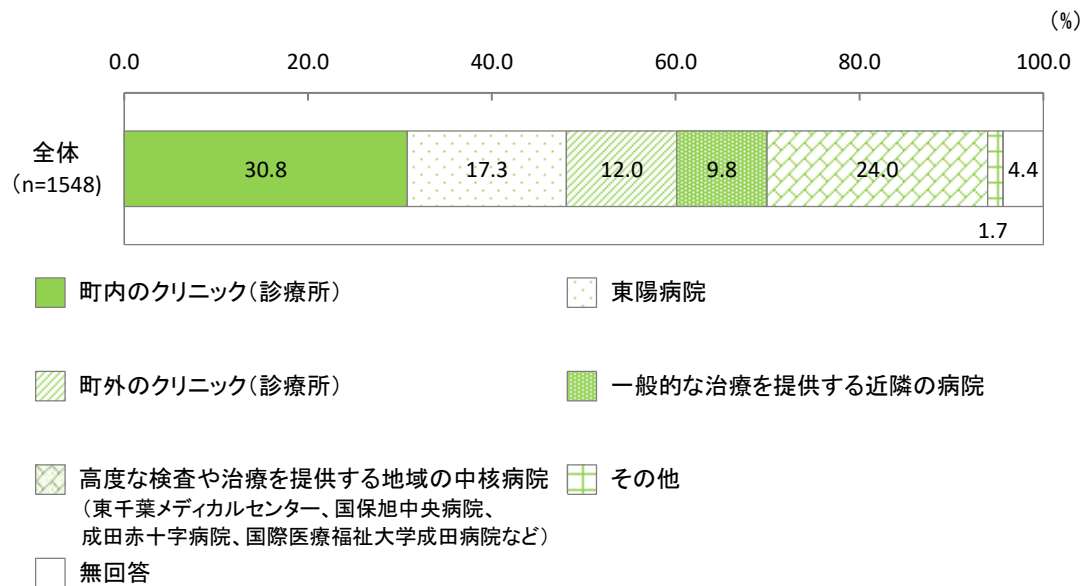
居住地区別にみると、横芝、大総、上堺、日吉、東陽地区では「道の駅などお土産の販売施設」、日吉（同率）、東陽（同率）、白浜地区では「飲食店・レストラン・カフェ」、南条地区では「商業施設」が最多となっています。各地区において順位は異なるものの、同じ項目が高い割合を占めています。

<属性別> つづき

		クリニックなどの医療施設	宿泊施設	福祉・子育て支援施設	スポーツ施設	アウトドア関連施設	キャンプ・バーベキュー施設	その他	無回答
全体 (n=1, 548)		20. 6	14. 0	12. 7	10. 9	10. 2	8. 5	2. 7	3. 7
年齢	16～19 歳 (n=74)	20. 3	14. 9	13. 5	17. 6	14. 9	5. 4	4. 1	2. 7
	20～29 歳 (n=166)	15. 1	20. 5	14. 5	14. 5	13. 3	14. 5	3. 6	3. 6
	30～39 歳 (n=197)	21. 8	17. 3	13. 7	11. 2	11. 7	8. 6	3. 0	5. 1
	40～49 歳 (n=217)	19. 8	17. 5	10. 6	9. 2	10. 1	12. 0	3. 2	2. 3
	50～59 歳 (n=255)	20. 0	17. 6	11. 0	9. 4	9. 8	8. 2	1. 6	4. 7
	60～69 歳 (n=300)	22. 0	8. 7	13. 3	10. 0	11. 3	7. 7	4. 3	2. 3
	70 歳以上 (n=332)	22. 3	8. 4	13. 0	10. 2	6. 3	4. 8	0. 9	4. 5
居住地区	横芝 (n=689)	20. 3	16. 3	13. 4	11. 6	10. 9	8. 4	3. 6	3. 6
	大総 (n=104)	20. 2	15. 4	13. 5	13. 5	11. 5	11. 5	1. 9	3. 8
	上堺 (n=132)	24. 2	18. 2	11. 4	11. 4	9. 1	10. 6	1. 5	0. 8
	日吉 (n=85)	14. 1	9. 4	14. 1	5. 9	7. 1	8. 2	2. 4	2. 4
	南条 (n=91)	15. 4	15. 4	17. 6	9. 9	6. 6	5. 5	1. 1	2. 2
	東陽 (n=280)	23. 2	8. 6	10. 0	11. 4	10. 0	6. 8	2. 5	5. 0
	白浜 (n=153)	20. 9	9. 8	11. 1	7. 2	11. 1	9. 8	2. 0	5. 2

8. 地域医療について

問23. **受診したい医療機関** あなたご自身や家族が病気やケガ等で受診が必要となった場合、最初にかかりたい医療機関はどこですか。(〇印は1つ)



最初に受診したい医療機関として、「町内のクリニック (診療所)」が 30.8%で最も多く、「高度な検査や治療を提供する地域の中核病院」(24.0%)、「東陽病院」(17.3%)、「町外のクリニック (診療所)」(12.0%)と続きます。

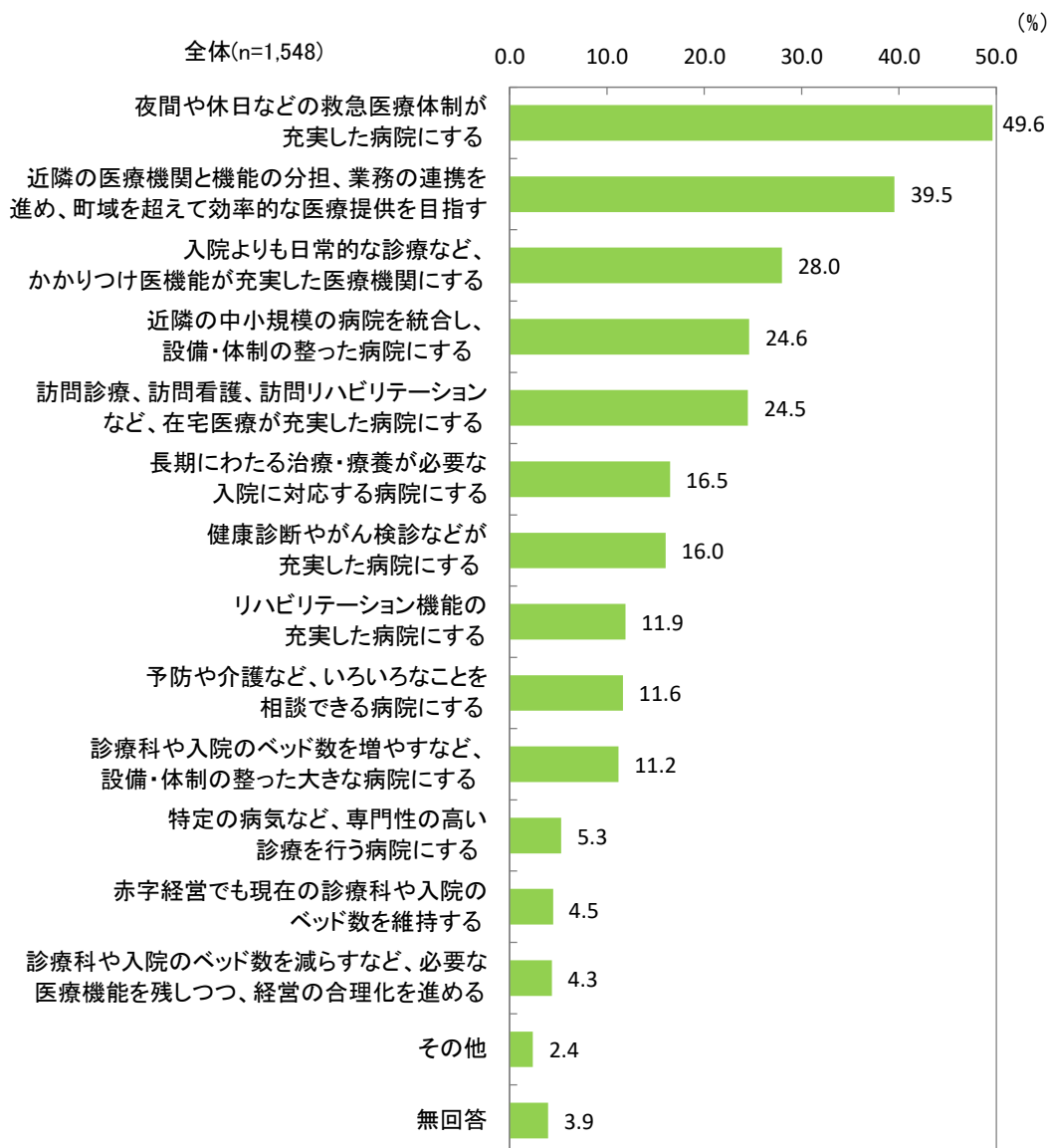
<属性別> ※網掛けは各属性での最上位を表す

		町内のクリニック (診療所)	東陽病院	町外のクリニック (診療所)	一般的な治療を提供する近隣の病院	高度な検査や治療を提供する地域の中核病院	その他	無回答
全体 (n=1,548)		30.8	17.3	12.0	9.8	24.0	1.7	4.4
年齢	16～19 歳 (n=74)	44.6	12.2	17.6	8.1	16.2	0.0	1.4
	20～29 歳 (n=166)	33.7	11.4	15.7	14.5	18.1	2.4	4.2
	30～39 歳 (n=197)	34.0	8.1	23.9	10.7	15.7	1.5	6.1
	40～49 歳 (n=217)	35.0	9.2	17.5	11.5	21.7	2.3	2.8
	50～59 歳 (n=255)	29.0	15.7	10.6	9.4	26.7	2.0	6.7
	60～69 歳 (n=300)	27.3	21.7	6.0	10.0	30.0	1.0	4.0
	70 歳以上 (n=332)	26.2	29.5	4.5	6.6	27.7	1.5	3.9
居住地区	横芝 (n=689)	31.5	17.1	12.0	9.6	23.2	2.0	4.5
	大総 (n=104)	34.6	10.6	4.8	12.5	31.7	0.0	5.8
	上堺 (n=132)	24.2	14.4	21.2	11.4	25.0	0.8	3.0
	日吉 (n=85)	31.8	21.2	4.7	18.8	21.2	0.0	2.4
	南条 (n=91)	29.7	17.6	8.8	7.7	30.8	1.1	4.4
	東陽 (n=280)	34.6	19.3	10.7	7.9	20.7	1.8	5.0
	白浜 (n=153)	24.8	20.3	15.7	8.5	24.2	2.6	3.9

年齢別にみると、10～50 歳代では、「町内のクリニック（診療所）」が最多となっており、60 歳代では「高度な検査や治療を提供する地域の中核病院」、70 歳以上では「東陽病院」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、上堺、南条地区では「高度な検査や治療を提供する地域の中核病院」の割合が比較的高く、他の地区では「町内のクリニック（診療所）」が最も多くなっています。

問2 4. 地方の病院に期待すること 持続可能な医療提供体制を確保するために、地方の病院に期待することは何ですか。（〇印は3つまで）



地方の病院に期待することとして、「夜間や休日などの救急医療体制が充実した病院にする」が 49.6%で最も多く、「近隣の医療機関と機能の分担、業務の連携を進め、町域を超えて効率的な医療提供を目指す」(39.5%)、「入院よりも日常的な診療など、かかりつけ医機能が充実した医療機関にする」(28.0%)、「近隣の中小規模の病院を統合し、設備・体制の整った病院にする」(24.6%)が続きます。救急医療体制の充実や、町域を超えた医療提供等、地方であっても、充実した医療体制を望んでいることがわかります。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

		夜間や休日などの救急医療体制が 充実した病院にする	近隣の医療機関と機能の分担、業務 の連携を進め、町域を超えて効率的 な医療提供を目指す	入院よりも日常的な診療など、かか りつけ医機能が充実した医療機関 にする	近隣の中小規模の病院を統合し、設 備・体制の整った病院にする	訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ テーションなど、在宅医療が充実し た病院にする	長期にわたる治療・療養が必要な入 院に対応する病院にする	健康診断やがん検診などが充実し た病院にする	リハビリテーション機能の充実し た病院にする
全体 (n=1, 548)		49.6	39.5	28.0	24.6	24.5	16.5	16.0	11.9
年 齢	16～19 歳 (n=74)	48.6	29.7	31.1	24.3	23.0	5.4	23.0	13.5
	20～29 歳 (n=166)	47.6	33.1	33.7	25.9	14.5	10.8	23.5	8.4
	30～39 歳 (n=197)	53.3	37.1	30.5	25.9	13.7	10.2	21.8	14.7
	40～49 歳 (n=217)	53.0	41.0	30.4	32.3	22.1	16.1	14.3	10.1
	50～59 歳 (n=255)	49.8	37.6	23.9	18.0	28.6	17.3	15.3	12.5
	60～69 歳 (n=300)	48.0	45.0	29.0	24.0	29.3	17.3	12.7	10.0
	70 歳以上 (n=332)	47.9	42.2	24.1	23.5	30.4	24.4	12.0	13.9
居 住 地 区	横芝 (n=689)	48.5	40.2	28.0	25.7	24.5	15.4	16.3	11.3
	大総 (n=104)	52.9	41.3	23.1	26.0	27.9	13.5	17.3	9.6
	上堺 (n=132)	56.8	43.2	32.6	22.0	28.0	15.9	13.6	10.6
	日吉 (n=85)	41.2	42.4	30.6	30.6	28.2	21.2	14.1	14.1
	南条 (n=91)	56.0	37.4	26.4	20.9	18.7	19.8	20.9	18.7
	東陽 (n=280)	48.9	34.6	30.0	25.0	23.9	17.5	18.9	11.1
	白浜 (n=153)	49.7	42.5	25.5	18.3	22.2	19.0	9.8	13.7

年齢別でみると、全世代において、「夜間や休日などの救急医療体制が充実した病院にする」が50%前後で最多となっています。次いで、「近隣の医療機関と機能の分担、業務の連携を進め、町域を超えて効率的な医療提供を目指す」も高い割合を占めています。このほか、10～30歳代では、「入院よりも日常的な診療など、かかりつけ医機能が充実した医療機関にする」、40歳代では「近隣の中小規模の病院を統合し、設備・体制の整った病院にする」、50歳以上では「訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーションなど、在宅医療が充実した病院にする」の割合が他の年齢と比べ高くなっています。

居住地区別にみると、全地区において、「夜間や休日などの救急医療体制が充実した病院にする」と「近隣の医療機関と機能の分担、業務の連携を進め、町域を超えて効率的な医療提供を目指す」が上位を占めています。

<属性別>つづき

		予防や介護など、いろいろなことを相談できる病院にする	診療科や入院のベッド数を増やすなど、設備・体制の整った大きな病院にする	特定の病気など、専門性の高い診療を行う病院にする	赤字経営でも現在の診療科や入院のベッド数を維持する	診療科や入院のベッド数を減らすなど、必要な医療機能を残しつつ、経営の合理化を進める	その他	無回答
全体 (n=1, 548)		11.6	11.2	5.3	4.5	4.3	2.4	3.9
年齢	16～19 歳 (n=74)	6.8	9.5	5.4	5.4	9.5	2.7	1.4
	20～29 歳 (n=166)	13.3	11.4	6.6	5.4	3.6	3.6	3.6
	30～39 歳 (n=197)	10.2	7.1	6.1	1.5	3.6	4.6	6.1
	40～49 歳 (n=217)	8.3	9.7	2.8	3.2	3.2	2.8	2.8
	50～59 歳 (n=255)	12.2	11.0	5.5	3.1	4.3	2.7	5.9
	60～69 歳 (n=300)	14.3	10.7	6.0	5.0	5.7	1.7	3.3
	70 歳以上 (n=332)	12.3	14.8	4.8	6.6	3.3	0.6	3.3
居住地区	横芝 (n=689)	13.6	12.3	4.8	4.1	3.6	2.3	4.1
	大総 (n=104)	13.5	15.4	4.8	5.8	5.8	1.9	3.8
	上堺 (n=132)	7.6	11.4	8.3	4.5	4.5	2.3	0.8
	日吉 (n=85)	8.2	9.4	2.4	4.7	1.2	0.0	2.4
	南条 (n=91)	12.1	8.8	4.4	5.5	2.2	1.1	2.2
	東陽 (n=280)	10.4	10.7	5.7	3.9	5.4	3.2	5.0
	白浜 (n=153)	9.8	5.9	6.5	4.6	6.5	3.3	5.9

9. 横芝光町のまちづくりへの提案について

横芝光町の未来のまちづくりについて、ご意見やご提案をご自由にお書きください。

420 人から以下のご意見をいただきました。

《主な意見》

1. 自分らしく生き生きと暮らせるまち（子育て支援、高齢者支援、障害者支援、地域福祉、保健、医療、社会保険）（78 件）
 - 個人的にはクラブ活動、ボランティア活動をしたいと思いますが、入りたいものが無いので増やしてほしい。
 - 病児保育や休日保育のある保育園を作してほしい。
 - 小児科専門の病院がないため、作してほしい。
 - 特別養護老人ホームを町に増やしてほしい。町内で要介護認定を受けた人が待たずに入所できるようにしてほしいです。
 - 車いすの友人と楽しめる飲食店が町にありません。昼のあるお店では、車いすでは断られたと言います。誰でも、皆が楽しんで過ごせるような店づくり、町づくりの補助金や呼びかけをお願いしたいです。
 - 高齢化とともに身体の不具合が感じられる。病気として診断されるわけではないが、病気になる前の予防が出来るのであれば、指導してもらいたい。山武市の元気館みたいな所で運動と指導があると嬉しい。骨密度の低下は食事や運動を見直すきっかけになると思うので大腿骨と腰椎で骨密度測定をしてもらいたい。
2. 豊かな心と郷土愛を育むまち（学校教育、青少年育成、生涯学習、文化振興、スポーツ振興）（32 件）
 - パソコンやスマホなどの知識について講習会や大学生などに教えていただく機会を作っていたけると幸いです。
 - 横芝光町は、周辺の市より教育に力を入れてくださっており、給食費の無償化等の先進的な取り組みも評価に値すると思っております。
 - 教育についても部活動の廃止によりスポーツに触れる機会の低減が見込まれるが、教育以外の外部講師などを登用してのクラブ活動などの検討をしていただきたい。
 - 町民の健康促進の為にスポーツなどが出来るスポーツジムが出来ると良い。
 - 小さくても良いので、文化ホールが欲しいです。文化祭、敬老会、各種イベントで利用できる。
 - 図書館の閉館時間を遅くしてほしい。

3. 自然と共生する住みやすいまち（市街地整備、道路、交通環境、住まい、上水道・下水処理、環境衛生、環境・景観、河川・海岸整備、公園・緑地整備）（154 件）

- 財政的に難しいかもしれないが、公共交通機関の運行本数や運行ルートを選択肢が増えるなど利用の幅が広がれば運転免許返納後の不安も多少和らぐのではないかと思います。
- 子ども達、大人が楽しめるような公園を作ってほしい。
- 横芝光町では、野焼きが認められているようだが、早朝や夜間に庭のドラム缶でゴミ燃やしをしていて大変迷惑である。
- ゴミ袋高すぎ問題。
- 道路脇や空地の雑草がとても汚い。定期的に雑草刈をして欲しい。栗山川の岸も雑木・雑草が伸び放題で他地区（多古）に比べて美しくない。空屋※空家の放置もアライグマやハクビシンの増加の温床になっている様子なので持主に注意喚起して欲しい。
- 近所で多数の空き家が目に付きます。行政側が積極的に介入し対策を講じる必要を感じます。法的な制約が色々あると思うが、借家化とか移住者への斡旋等、地域がゴーストタウン化になる前に対策を望みます。
- 大規模にはなりますが汲み取りを無くして下水道の整備をしてほしい。
- 河川敷の草やゴミが気になるので、きれいにするとサイクリングに訪れた人たちにも魅力を感じられると思います。
- 子ども達の通学路があまりにも危険な環境すぎて心配です。横断歩道は消えそうで、知らない人はそこに横断歩道があることに気付かないと思います。
- 横芝光インターチェンジ周辺開発により、雇用の促進と生活利便性の拡充を大きく期待しています。

4. 安全で安心して暮らせるまち（防災、消防・救急、防犯・交通安全、消費生活）（65 件）

- 町全域に防犯カメラを設置していただきたいです。
- 踏み切りを安全に歩行できるように、拡充するか歩道橋等が必要。子供やお年寄りが安全に歩けるとうれしい。
- 街灯が増えたら良い。
- 小中学生のバス通学をお願いします。各地区通学路も危険な場所が有り、下校時の不審者もいるため。
- 山東会館の前の新しい道路の歩道が暗すぎて危険、外灯を希望します。
- 災害、地震対策はしっかりとしてほしいです。町民から信頼してもらえる行動をとってほしいです。もしもの時のごはん、水、ブランケット、避難場所の安全性など、まだまだあると思いますが、ご準備宜しくお願い致します。
- 信号機の無い危険な交差点に早く信号機をつけてほしい。
- 消防団などボランティア活動に強制力があり抜けられない。
- 災害時、避難場所について、1ヶ所でもいいのでペット同行ができる避難場所を作してほしい。毎回、避難したくてもペットがいるため避難できない。千葉市などはペット同行可の場所があるようなので、横芝光町でもぜひ作ってほしい。

5. 地域の特性を活かした活力あるまち（農林水産業、観光・交流、商工業、産業活性化、移住・定住、空港と共生するまちづくり）（153 件）
- 町の中、商店も少なくなり、遠く買い物に行くのも大変。町内で買い物も済ませるようにはしていただきたいと思います。
 - 他市町村が色々な移住政策をやっているように町も早急に子育て世代が住みやすい町づくり及び町への移住促進をするべき。
 - 空家対策を積極的に行い新規移住者に提供する。
 - 都内への利便性、温暖な気候、海を中心とした豊富な観光資源、米・野菜・肉・魚それら全てを生産しているなどストロングポイントを生かしきれていない。
 - 自然を生かしたレジャーと平行して、雨天や荒天時でも 1 年中楽しめる施設を誘致する。（グランピング施設やスパ、ペットと過ごせる施設など。）
 - 観光振興にもう少し力を入れても、いいと思います。
 - 農業従事者が多いにも関わらず、直接農産物を購入できる施設（道の駅・直売所など）が少ない。
 - 未来のまちづくりとしては、やはり雇用の問題が大きいと思います。田舎では専門職や資格がないと労働条件の良い所では働けない。
 - 当町は、空港の裏側になり、3 本の滑走路が上空を通過するので騒音対策の強化。
6. 相互理解と協働による住民主体のまち（人権、男女共同参画、国際交流、コミュニティ）（19 件）
- 住民の高齢化が進み、各地域、部落での行事（祭り、集金、書類配布）を担う役員を担当する者の選出が困難。
 - 身体障害者が気持ち良く働ける企業の誘致。差別的扱いをなくす企業。多職種を扱う企業を望む。
 - 多額の予算を使って、箱物を作るよりも、教育や地域コミュニティの活性化にお金をかけてほしい。
 - 若い世代が定住し、周りとのコミュニケーションを取っていくためには、地区の集まりなどをもっと気軽に参加できるものにしてもらいたいと思います。
 - ここ最近、ヨコシバテラスなどの移住支援や、国際交流が盛んになり、町外へのアピールが多くなっているイメージです。横芝光町が有名になっていく反面、もともと定住している若者や町民に寄り添った施策・支援を充実させていただけると大変助かります。
7. 構想推進のために（住民参加、行政運営、財政運営、広域連携）（34 件）
- 廃校もしくは廃校予定の幼稚園、学校の跡地をそのまま放置状態にせず専門分野の皮膚科、胃腸科のクリニックを誘致すれば近隣の市町村からも人が集まり、町の税収アップに繋がると考える。
 - 行政サービスを月に数回でも良いので、土日や 20 時位まで対応してほしい。
 - 町外で働き広報誌・ホームページも見ない。第 2 次総合計画も知りませんでした。

- 坂田池の陸上競技場の利用料を下げてほしい。

8. その他（131 件）

- よこぴーが大好きなので色々な人に知って欲しいです。
- この先横芝光町が、若い人たちに住みやすい町になることを願っています。
- 住んで 30 年以上になりますが今現在に至るまで、なかなか近代的になってきたなと思います。雰囲気、明るくなりました（それなりに歳月もありますが…）。駅前、横芝小学校前の道路、その他道路など。今後も暮らしやすく安全なまちづくりを継続して頂きたいと存じます。

第3次横芝光町総合計画策定のための 住民アンケートご協力をお願い

日頃より、町政にご理解とご協力をいただきまして、厚く御礼申し上げます。

横芝光町では、平成30年度から「第2次横芝光町総合計画」をもとに、まちづくりを進めて参りましたが、この計画は、令和7年度に終了となります。

このため、令和8年度から令和15年度を計画期間とする「第3次横芝光町総合計画」を策定いたします。

つきましては、町民の皆さまから、町の取り組みに対する評価と今後のまちづくりに対するお考えをうかがうため、このアンケートを実施させていただきますので、ご多用のところ誠に恐縮ですが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、アンケート調査票は町内にお住まいの満16歳以上の方から5,000人を無作為に選び送らせていただきました。

アンケートは無記名により行い、アンケート結果については、全て統計的に処理されますので、率直なご意見をお聞かせください。

令和6年12月
横芝光町長 佐藤晴彦

ご回答にあたって

- ・この調査票は、あて名のご本人がご回答ください。
- ・次のいずれかの方法でご回答ください。
 - 1 アンケート調査票にご記入いただき同封の返信用封筒にて返送
 - ①ご回答は、質問欄の番号に○印をつけてください。なお、「その他」を選ばれた場合は、カッコの中にその内容をお書きください。(代筆も可能です。)
 - ②ご記入いただいた調査票は、**令和7年1月20日(月)まで**に、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにご返送ください。
 - ③返信用封筒や調査票にご住所、お名前をご記入いただく必要はありません。
 - 2 右の二次元コードを読み取り Web フォームへ入力して回答
 - ①**令和7年1月20日(月)まで**に Web フォームからご回答ください。
【Web フォーム URL】

【お問い合わせ先】

〒289-1793 千葉県山武郡横芝光町宮川 11902

横芝光町役場 企画空港課 企画政策班

電 話 0479-84-1279

E-mail kikakuko@town.yokoshibahikari.chiba.jp

1.あなたご自身について

以下のア～クについて、当てはまるものを選んでください。(それぞれ○印は1つ)

設 問	回 答 欄
ア. 性 別	1. 男性 2. 女性 3. どちらともいえない
イ. 年 齢	1. 16 歳～19 歳 2. 20 歳～29 歳 3. 30 歳～39 歳 4. 40 歳～49 歳 5. 50 歳～59 歳 6. 60 歳～69 歳 7. 70 歳以上
ウ. 居住地区	1. 横芝 2. 大総 3. 上堺 4. 日吉 5. 南条 6. 東陽 7. 白浜
エ. 職業	1. 会社員 2. 公務員 3. 自営業（商工業、農林漁業含む） 4. パート・アルバイト 5. 学生 6. 家事専従 7. 無職 8. その他()
オ. 通勤・通学地	1. 町内 2. 山武市 3. 匝瑳市 4. 成田市 5. 千葉市 6. 左記2～5以外の県内市町村 7. 県外(東京都) 8. 県外(東京都以外) 9. 通勤・通学はしていない
カ. 町内の居住年数	1. 5 年未満 2. 5 年以上 10 年未満 3. 10 年以上20年未満 4. 20 年以上30年未満 5. 30 年以上
キ. 居住形態	1. 持ち家(戸建住宅) 2. 持ち家(集合住宅) 3. 借家(戸建住宅) 4. 借家(集合住宅) 5. その他()
ク. 世帯構成	1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親と子(2世代) 4. 祖父母と親と子(3世代) 5. その他()

2.横芝光町での暮らしについて

問1. **住みやすさ** あなたは、横芝光町は住みやすいまちだと思いますか。(○印は1つ)

1. 住みやすい
2. どちらかといえば住みやすい
3. どちらかというに住みにくい
4. 住みにくい
5. どちらともいえない

問2. **定住意向** あなたは、これからも横芝光町に住み続けたいと思いますか。(○印は1つ)

1. ずっと住み続けたい
2. 当分は住みたい
3. できれば町外に移り住みたい
4. すぐにでも町外に移り住みたい
5. どちらともいえない

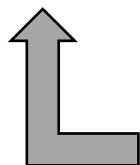
問3. **住み続けたいまちとは** あなたは、どのようなまちに住み続けたいと思いますか。(○印は3つまで)

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 医療や介護が充実している | 14. リサイクルなど環境への取組が充実している |
| 2. 買い物や飲食に不便がない | 15. 防災対策がしっかりしている |
| 3. 住宅の価格や家賃が手頃 | 16. 治安がよく、道路が安全 |
| 4. 公共交通で移動しやすい | 17. 近所付き合いなど、地域とのつながりがある |
| 5. 娯楽施設がある | 18. 多様性や寛容性がある |
| 6. 子育て環境が充実している | 19. 住民は自分を信じ、行動に移すことができる |
| 7. 義務教育の環境が整っている | 20. 住民が心身ともに健康である |
| 8. 行政サービスが整っている | 21. 文化・芸術が充実している |
| 9. デジタル化が進んでいる | 22. 教育や生涯学習の機会が豊富である |
| 10. 街なかや公園など公共空間が利用しやすい | 23. 雇用機会や働く場がある |
| 11. 街並みがよい | 24. ものごとに挑戦し、成長できる環境がある |
| 12. 自然の風景がよい | 25. その他() |
| 13. 緑や海・川などの自然に恵まれている | |

3.横芝光町のあるべき姿について

問4. **将来のまち** あなたは、以前の横芝光町と比較して充実してきたと思うまちづくり分野は何ですか。また、今後10年間で横芝光町が特に力を入れるべきだと思うまちづくりの分野は何ですか。(1)と(2)について、あなたのイメージに近いものを1～6の中から、それぞれ2つまで選んでください。

(1)以前と比較して充実してきたと思う分野		
(2)今後10年間で特に力を入れるべきだと思う分野		



1. 誰もが自分らしく生き生きと暮らせるまち
2. 豊かな心と郷土愛を育むまち
3. 自然と共生する住みやすいまち
4. 安全で安心して暮らせるまち
5. 地域の特性を活かした活力あるまち
6. 相互理解と協働による住民主体のまち

問5. **横芝光町の強み** あなたは、未来に活かしたい横芝光町の強みは何だと思いますか。

(○印は2つまで)

1. 田園風景や景観
2. 栗山川
3. 九十九里浜・海
4. 自然を活かした観光(海水浴、釣り、カヌー、サーフィンなど)
5. 成田国際空港への近接性
6. 圏央道へのアクセスの良さ
7. 歴史・文化的資源(鬼来迎、成田山上陸地など)
8. 特産物・地元の食べ物(ねぎ、とうもろこし、もつなど)
9. 祭り・イベント(祇園祭、梅まつり、産業まつりなど)
10. 人と人の結びつきの強さ
11. その他()

4. まちづくりへの参加・協働について

問6. **まちづくりへの参加意向** あなたは、町政やまちづくり活動への参加についてどう思いますか。

(○印は1つ)

- | | |
|-------------------------|--------|
| 1. 現在参加していて、今後も参加したい | → 問7.へ |
| 2. 現在参加していないが、今後は参加したい | |
| 3. 現在参加しているが、今後は参加したくない | → 問8.へ |
| 4. 現在参加しておらず、今後も参加したくない | |
| 5. どちらともいえない | → 問9.へ |

問6.で1または2と回答した方

問7. **参加したい活動** どのような活動に参加したいと思いますか。(○印は2つまで)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 行政の計画づくり | 7. 高齢者・障害者の支援に関する活動 |
| 2. 町内会・自治会の活動 | 8. 文化・芸術・スポーツ活動 |
| 3. まちの清掃や環境保全に関する活動 | 9. まちの歴史や伝統を承継する活動 |
| 4. 交通事故や犯罪の防止に関する活動 | 10. 祭りやイベントなど地域の行事 |
| 5. 防災に関する活動 | 11. その他() |
| 6. 子育て支援に関する活動 | |

問6.で3または4と回答した方

問8. **参加したくない理由** 町政やまちづくり活動に参加したくない理由は何ですか。(○印は1つ)

- | |
|---|
| 1. 町政・まちづくりに関する情報が少なく、どのような活動があるのかわからないから |
| 2. 興味ある取り組みがないから |
| 3. 町政・まちづくりは行政に任せているから |
| 4. 町政・まちづくりに対して不満や意見がないから |
| 5. 仕事や子育て、学業などが忙しく、時間がないから |
| 6. 年齢や健康に不安があるから |
| 7. その他() |

問9. 協働のまちづくり あなたは、まちづくり活動に参加しやすくし、住民と行政による協働のまちづくりをより一層進めるために、どのようなことが必要だと思いますか。(○印は2つまで)

1. 町政情報をわかりやすく住民に伝え、共有すること
2. 時間や場所などを工夫し、多様な参加の機会を確保すること
3. 住民や町職員の意識改革を促すこと
4. 地域のリーダーやまちづくりの担い手を育成すること
5. 町内会や自治会、NPOなどの組織を活性化すること
6. 住民のまちづくり活動への資金補助をすること
7. 住民と行政の信頼関係を強化すること
8. その他 (

)

5. 町の取り組みへの評価について

- 問 10. **現在の満足度・重要度** 「第2次横芝光町総合計画 後期基本計画」及び「第2期横芝光町まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、分野ごとの施策項目を計画してまちづくり及び地方創生に取り組んできました。あなたは、次のような町の取り組みに、現在どの程度満足していますか。
- また、それぞれの取り組みについて、どの程度重要と考えていますか。

(A. 満足度と B. 重要度それぞれについて、(ア)～(ユ)の項目ごとに○印は1つ)

「第2次横芝光町総合計画 後期基本計画」 「第2期横芝光町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 施策項目 ※()内は評価を考えていただくための 主な取り組みです。		A. 満足度					B. 重要度				
		5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 普通	2 あまり重要でない	1 重要でない
	(記入例)子育て支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
第1章 自分らしく生き生きと暮らせるまち	(ア) 子育て支援 (給食費無償化、子ども医療費助成、 放課後児童クラブ、子育て相談体制)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(イ) 高齢者支援 (地域包括支援センター、介護予防、 認知症総合支援)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(ウ) 障害者支援 (地域生活支援、療育支援、就労支援)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(エ) 地域福祉 (社会福祉協議会の活動支援、ボラン ティア育成・活動強化)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(オー1) 保健 (健康診査・各種検診)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(オー2) 医療 (医療体制)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(カ) 社会保険 (国民健康保険制度、介護保険制度、 後期高齢者医療制度)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

「第2次横芝光町総合計画 後期基本計画」 「第2期横芝光町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 施策項目 ※()内は評価を考えていただくための 主な取り組みです。		A. 満足度					B. 重要度				
		5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 普通	2 あまり重要でない	1 重要でない
第2章 豊かな心と郷土愛を育むまち	(キ) 学校教育 (学力向上推進、情報教育推進、英語教育推進、教育環境の整備)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(ク) 青少年育成 (ジュニアリーダー、スポーツ少年団普及)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(ケ) 生涯学習 (図書館の充実、生涯学習環境の充実)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(コ) 文化振興 (文化資産の保全・活用、芸術文化活動の振興)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(サ) スポーツ振興 (スポーツ・レクリエーションの振興、社会体育施設の維持管理)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
第3章 自然と共生する住みやすいまち	(シ) 市街地整備 (都市計画の見直し、横芝光IC周辺の整備促進)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(スー1) 道路 (幹線道路の整備、生活道路の充実)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(スー2) 交通環境 (町内バス・乗合タクシー・成田便の運行、自動運転バスの実証走行)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(セ) 住まい (耐震診断・改修の促進、空き家対策)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(ソ) 上水道・下水処理 (上水道の整備、下水処理対策の推進)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(タ) 環境衛生 (ごみの減量化、資源リサイクル促進、合併処理浄化槽の設置推進、航空機騒音対策)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(チ) 環境・景観 (町内環境教育の推進、環境保全活動の充実)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(ツ) 河川・海岸整備 (栗山川・九十九里海岸の保全・活用)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(テ) 公園・緑地整備 (公園・緑地の保全)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

「第2次横芝光町総合計画 後期基本計画」 「第2期横芝光町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 施策 ※()内は評価を考えていただくための 主な取り組みです。		A. 満足度					B. 重要度				
		5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 普通	2 あまり重要でない	1 重要でない
安全で安心して暮らせるまち 第4章	(ト) 防災 (防災意識の普及、防災基盤の充実)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(ナ) 消防・救急 (消防機能の向上、救急体制の充実)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(ニ) 防犯・交通安全 (防犯指導員・交通安全指導員による意識啓発活動、防犯灯の設置・修繕)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(ヌ) 消費生活 (消費生活相談体制の強化)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
地域の特性を活かした活力あるまち 第5章	(ネ) 農林水産業 (地産地消と食育の推進、農林業の振興、経営体・担い手の育成)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(ノ) 観光・交流 (観光情報の発信、駅前情報交流館「ヨリドコロ」の有効活用、ニューツーリズムの振興、マスコットキャラクターの活用)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(ハ) 商工業 (商工会活動の支援、地域ブランドづくりの支援、企業立地の促進)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(ヒ) 産業活性化 (新たな事業展開や起業の促進、就業・雇用の促進)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(フ) 移住・定住 (移住定住サポートセンターの充実、地域情報発信、住宅取得奨励金の交付)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(ヘ) 空港と共生するまちづくり (空港へのアクセス充実、土地・河川等の整備、空港人材の育成)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

「第2次横芝光町総合計画 後期基本計画」 「第2期横芝光町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 施策項目 ※()内は評価を考えていただくための 主な取り組みです。		A. 満足度					B. 重要度				
		5 満足	4 やや満足	3 普通	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 普通	2 あまり重要でない	1 重要でない
第6章 住民主体のまち 相互理解と協働による	(ホ) 人権 (人権に対する意識の啓発、人権相談の充実)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(マ) 男女共同参画 (男女共同参画の意識づくり、女性が活躍できる環境づくり、ワーク・ライフ・バランスの意識啓発)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(ミ) 国際交流 (異文化交流、町立小中学校での英語講師による語学学習)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(ム) コミュニティ (自主的な地域活動を行う組織の育成)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
構想推進のために	(メ) 住民参加 (広報紙・ホームページ等情報発信の充実、協働のまちづくりの推進)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(モ) 行政運営 (総合計画の進行管理、自治体デジタル・トランスフォーメーションの推進、窓口業務の利便性向上)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(ヤ) 財政運営 (公共施設の見直し、積極的な財源確保やコストの削減)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	(ユ) 広域連携 (山武郡市広域市町・成田空港圏自治体における連携、千葉大学との連携)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問11. 未来の優先度 概ね 10 年後の横芝光町の未来を見据えて、町はどのような項目に優先的に取り組むとよいと思いますか。

(問 10 の(ア)～(ユ)の中から上位5つまで選んで記入)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
記入欄					

6. これからのまちづくりについて

問 12. **人口減少対策** 今後、全国的に人口減少・少子高齢化が進むことが予想されています。あなたは、人口減少対策として、どのような対策が重要だと思いますか。(○印は3つまで)

- | | | |
|--------------|------------|---------------|
| 1. 若者への支援 | 6. 高齢者への支援 | 11. 地域の担い手の育成 |
| 2. 出産への支援 | 7. 保育環境の整備 | 12. 産業の振興 |
| 3. 子育てへの支援 | 8. 教育環境の整備 | 13. その他() |
| 4. 就労・起業への支援 | 9. 医療環境の整備 | |
| 5. 移住への支援 | 10. 住宅地の整備 | |

問 13. **雇用環境** あなたは、町内に雇用環境が確保されていると思いますか。(○印は1つ)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 十分な雇用環境が確保されている | } → 問 14.へ |
| 2. ある程度確保されている | |
| 3. どちらともいえない | |
| 4. あまり確保されていない | |
| 5. 全く確保されていない | |
| 6. よくわからない | |

問 13.で 4 または 5 と回答した方

問 14. **確保されていない理由** 町内に雇用環境が確保されていないと思う理由は何ですか。(○印は2つまで)

- | |
|-------------------|
| 1. 働きたい仕事がないから |
| 2. 町内の求人情報を知らないから |
| 3. 就職に必要な資格がないから |
| 4. 雇用条件が合わないから |
| 5. 選べるほど求人情報がないから |
| 6. その他() |

問 15. **行政情報** あなたは、町の行政情報をどのような方法で入手していますか。(○印は2つまで)

- | | |
|------------------------------------|-----------------|
| 1. 町広報紙、議会だより | 6. 新聞やタウン誌 |
| 2. 町ホームページ | 7. テレビやラジオなどの放送 |
| 3. 町 SNS 等(まちナビ2、LINE、X、Instagram) | 8. 家族や友人・知人との会話 |
| 4. 防災行政無線 | 9. その他() |
| 5. 自治会の回覧や掲示板 | 10.特に情報を得ていない |

問 16. **デジタル化の推進** デジタル技術を活用して、住民サービスをより便利に、利用しやすくするために、今後優先的に取り組んでほしいものは何ですか。(○印は3つまで)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 行政手続きのオンライン化の推進 |
| 2. マイナンバーカード・マイナポータルの活用 |
| 3. ICT 等を活用した子育て相談・支援の拡充 |
| 4. 高齢者などへのスマートフォンの使い方の支援 |
| 5. 窓口における ICT を活用した手話及び多言語通訳等のサービスの拡充 |
| 6. 地域公共交通へのデジタル技術の活用 |
| 7. SNS やアプリを活用した災害情報の共有 |
| 8. 町が保有する情報のオープンデータ化 |
| 9. テレワーク環境の整備 |
| 10.その他() |

問 17. **持続可能なまちづくり** 人口減少に伴い、町の財政状況がより厳しくなっていくことが予想されます。現在、町が提供している行政サービスの維持・充実について、今後どのように対応すべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを選んでください。(○印は1つ)

- | |
|----------------------|
| 1. 積極的に行政サービスとして対応する |
| 2. 現状の水準を維持していく |
| 3. 行政サービスは必要最小限にとどめる |
| 4. その他() |

問18. **空港機能強化と圏央道開通** あなたが、成田国際空港との共生・共栄、圏央道の開通に対して期待することとは何ですか。(○印は3つまで)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 人口増加 | 7. 雇用の場の拡大 |
| 2. 空港関連事業の展開 | 8. 事業拡大 |
| 3. 道路網の整備 | 9. 経済効果 |
| 4. 海外との取引の増加 | 10.人の賑わい |
| 5. インバウンド効果 | 11.その他() |
| 6. 企業誘致 | |

問19. **外国人住民との共生** あなたは、外国人住民との共生に必要な対策は何だと思われますか。

(○印は2つまで)

1. 外国人へ多言語で情報を提供する
2. 外国人へ日本の生活習慣やルール等を周知する
3. 外国人へ日本語学習を支援する
4. 町民と外国人の交流の場をつくる
5. 町民へ多文化共生に関する理解促進を図る
6. その他()

問 20. **新たな社会課題** 社会を取り巻く新たな課題のうち、今後 10 年間で、町が積極的に取り組むべきと思うものは何ですか。(○印はいくつでも)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 少子高齢化対策 | 6. 地球温暖化対策 |
| 2. 多文化共生 | 7. SDGs |
| 3. デジタル化 | 8. 行政改革 |
| 4. 災害対策 | 9. その他() |
| 5. 犯罪対策 | |

問 21. **コミュニティ** あなたは、近所や地域における「人と人とのつながり」を維持していくために、どのようなことが必要だと思いますか。(○印は2つまで)

1. 日常的なあいさつや世間話など近所付き合いをする
2. 自治会活動の促進
3. 祭りや伝統行事の継続
4. 災害時を想定した地域の防災活動
5. 若者や女性が地域で活躍しやすくする
6. 地域で相談したり助け合える関係をつくる
7. その他()

7. 横芝光インターチェンジ周辺開発について

問 22. 横芝光町では、銚子連絡道路の横芝光インターチェンジ周辺に産業拠点※を整備するため現在調査を進めています。次の(1)と(2)にお答えください。

(※産業拠点とは、商業施設・観光施設・工場などが集積するエリア)

(1) **期待する項目** 「横芝光インターチェンジ周辺開発」が進められた場合、あなたはどのような効果を期待しますか。(○印は3つまで)

1. 賑わいの創出	7. 定住人口の増加
2. 観光・交流人口の増加	8. 防災機能の強化
3. 雇用の促進	9. 交通利便性の向上
4. 生活利便性の拡充	10. 空港まで短時間で行けるアクセス道路 (空港直結道路)の進展
5. 産業の活性化	
6. 町の知名度の向上	11. その他()

(2) **必要だと思われる施設** 工場や物流関連施設のほか、横芝光インターチェンジ周辺に必要だと思われる施設(店舗の種類等)を選んでください。(○印はいくつでも)

1. 商業施設	9. 飲食店・レストラン・カフェ
2. 道の駅などお土産の販売施設	10. アウトドア関連施設
3. 宿泊施設	11. キャンプ・バーベキュー施設
4. お風呂などの温浴施設	12. クリニックなどの医療施設
5. ガソリンスタンドなど給油施設	13. スポーツ施設
6. バスターミナル	14. 福祉・子育て支援施設
7. 娯楽・レクリエーション施設	15. その他()
8. 公園・広場	

8. 地域医療について

問 23. 受診したい医療機関 あなたご自身や家族が病気やケガ等で受診が必要となった場合、最初にかかりたい医療機関はどこですか。(○印は1つ)

1. 市内のクリニック(診療所)
2. 東陽病院
3. 市外のクリニック(診療所)
4. 一般的な治療を提供する近隣の病院
5. 高度な検査や治療を提供する地域の中核病院(東千葉メディカルセンター、国保旭中央病院、成田赤十字病院、国際医療福祉大学成田病院など)
6. その他()

問 24. 地方の病院に期待すること 持続可能な医療提供体制を確保するために、地方の病院に期待することは何ですか。(○印は3つまで)

1. 近隣の中小規模の病院を統合し、設備・体制の整った病院にする
2. 近隣の医療機関と機能の分担、業務の連携を進め、町域を超えて効率的な医療提供を目指す
3. 赤字経営でも現在の診療科や入院のベッド数を維持する
4. 診療科や入院のベッド数を減らすなど、必要な医療機能を残しつつ、経営の合理化を進める
5. 診療科や入院のベッド数を増やすなど、設備・体制の整った大きな病院にする
6. 長期にわたる治療・療養が必要な入院に対応する病院にする
7. リハビリテーション機能の充実した病院にする
8. 訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーションなど、在宅医療が充実した病院にする
9. 健康診断やがん検診などが充実した病院にする
10. 入院よりも日常的な診療など、かかりつけ医機能が充実した医療機関にする
11. 特定の病気など、専門性の高い診療を行う病院にする
12. 夜間や休日などの救急医療体制が充実した病院にする
13. 予防や介護など、いろいろなことを相談できる病院にする
14. その他()

9. 横芝光町のまちづくりへの提案について

横芝光町の未来のまちづくりについて、ご意見やご提案をご自由にお書きください。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

※記入いただいた調査票は、**1月20日(月)まで**に、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにご返送ください。なお、Web フォームからご回答いただいた場合は、調査票のご返送は不要です。

